



## 目次

## I. 高齢者の環境行動に関するヒアリング調査

1. 調査概要
2. 一人暮らしの高齢者の住居内部・「座」、モノ、行為の状況
  - 2・1 1992年度調査
  - 2・2 1994年度調査
3. 高齢者の夫婦世帯の住居内部・「座」、モノ、行為の状況
  - 3・1 1992年度調査
  - 3・2 1994年度調査
4. 一人暮らしの高齢者の「常座」の周辺のモノの分布
  - 4・1 「コレ」領域、「ソレ」領域内にあるモノの種類
  - 4・2 「常座」の周りに分布するモノの数の一覧表
5. 日常生活状況のまとめ -1992年、1994年度の比較-

## II. 核家族世帯への個人空間に関するアンケート調査

1. 調査概要
  2. 調査データ一覧
    - 2・1 住居内部図面
    - 2・2 成員別「座」、行為内容、モノの分布
- (参考) 「核家族の住居内に形成された「場」に関する研究」

## III. 「家族が集まる空間」での行動場面調査

1. 調査概要
2. 調査データ一覧
3. 「家具配置から見た住宅の公的空間の考察」

## IV. 実大空間における日常の生活行為に関する実験

1. 実験の概要
2. 「室の中にある小さな空間における行為動作に関する研究」

## V. 学生の自室における日常生活行為に関するアンケート調査

1. 調査概要
2. 調査原因集

## I. 高齢者の環境行動に関するヒアリング調査

## 1. 調査概要

## □調査期間

- 第1回 1992年5月から12月  
第2回 1994年5月から9月

## □調査対象地区

- 東京都北区赤羽台1、2丁目(赤羽台団地)  
東京都文京区根津1、2丁目

## □調査対象者

第1回調査(1992年)

このヒアリング調査は、両地区の65歳以上の男女全員に対して先行して行ったアンケート調査に際し、次の段階であるヒアリング調査に応じると回答を寄せた人を対象に改めて依頼をして承諾を得ることができた人に対して行った。

(アンケート調査概要)

根津地区：1992年2月実施

全数 1019通

回答者 475名(回収率44.8%)

赤羽台地区：1992年6月実施

全数 1021通

回答者 433名(回収率42.4%)

## □アンケート調査時点でのヒアリング調査承諾者

根津地区 174名

赤羽台地区 55名

## □ヒアリング調査被験者内訳

<根津地区>

男 12人

女 14人

一人暮らし世帯 15人

夫婦のみ世帯 10人

その他 1人

分析はこのうち住居内部のデータを得ることのできたものについて行った。SN4はSN3の家に下宿しているが、これは、今回は「一人暮らし」として扱った。また、SN9は、新聞点の宿舎で共同生活の準世帯であるがこれも「一人暮らし」とした。

## &lt;居住形態&gt;

戸建て持家	11人
戸建て借家	3人
長屋建て	7人
マンション	3人
間借り、社宅	2人

## &lt;赤羽台地区&gt;

男	11人
女	12人
一人暮らし世帯	12人
夫婦のみ世帯	9人
その他	2人

赤羽台地区についても分析は住居内部のデータを得ることができたものが対象である。尚、赤羽台地区については夫婦のみ世帯の所へ病気になった妹が同居している例があった（P A 8）が、今回は夫婦のみ世帯のデータとして扱った。

## 居住形態

赤羽台地区は全て赤羽台団地の居住者である。

## □第2回調査（1994年） ヒアリング調査対象者内

第2回目のヒアリングは、先のヒアリング調査対象者について行った。調査を行えた人数の内訳を以下に示す。

## &lt;赤羽台地区&gt;

一人暮らし	4人
夫婦世帯	3人

## &lt;根津地区&gt;

一人暮らし	11人
夫婦世帯	2人

今回の分析では、根津地区の夫婦世帯1件についてはデータが不十分なため、分析を行わなかった。

## 2. 一人暮らし高齢者の住居内部・「座」、モノ、行為の状況

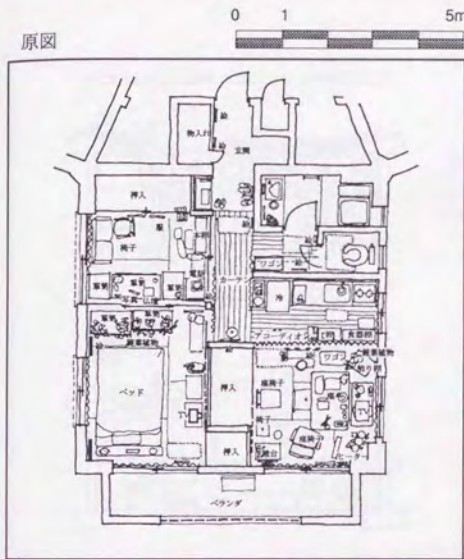
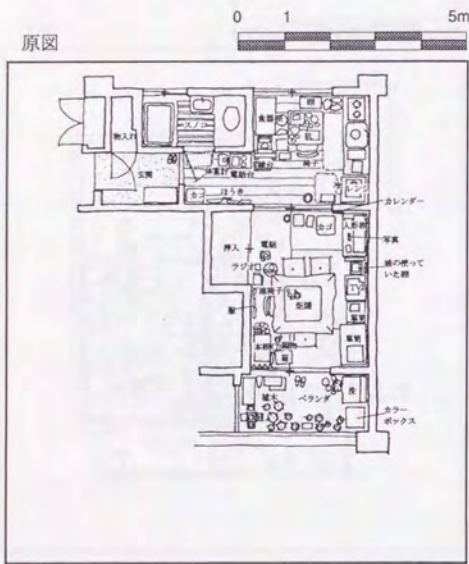
## 2・1 1992年度調査（一人暮らし高齢者）

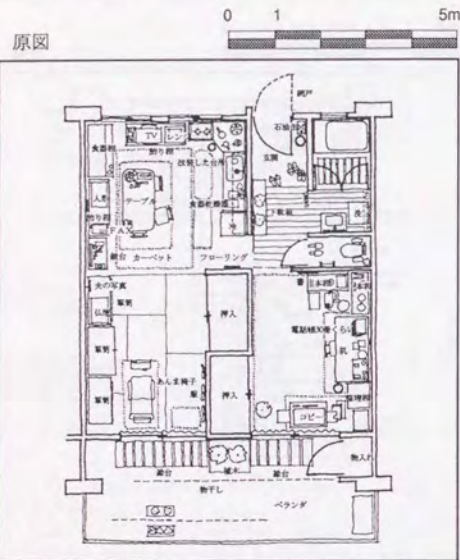
調査対象者 全25名

SA1-SA11 赤羽台団地地区 調査時期：1992年11月から12月

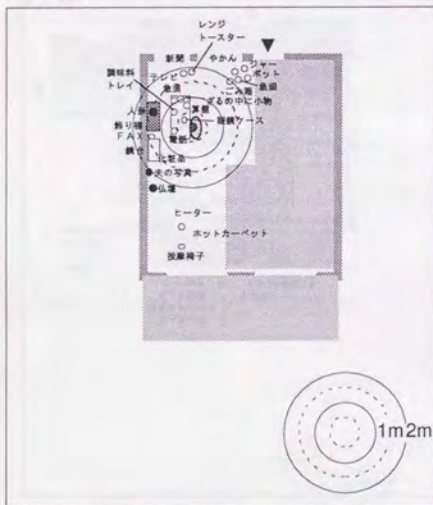
SN1-SN14 根津地区 調査時期：1992年6月から9月



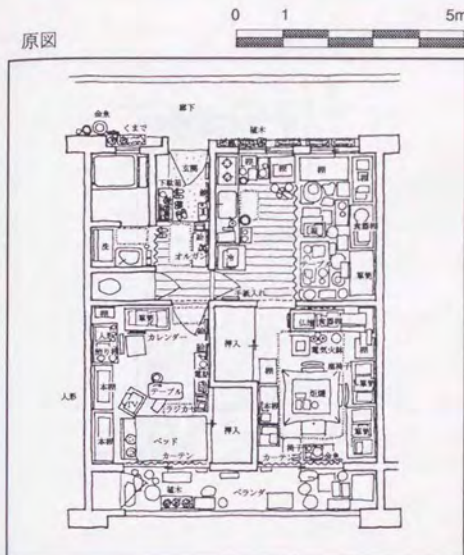




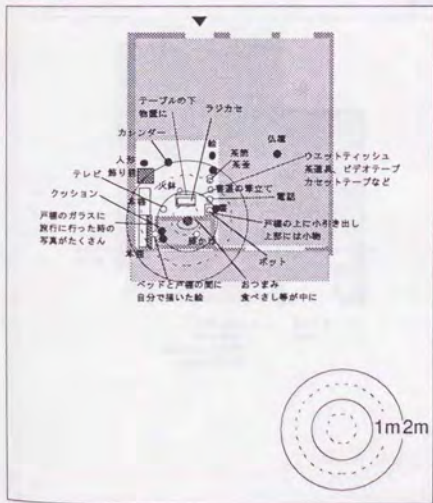
モノ図



行為図

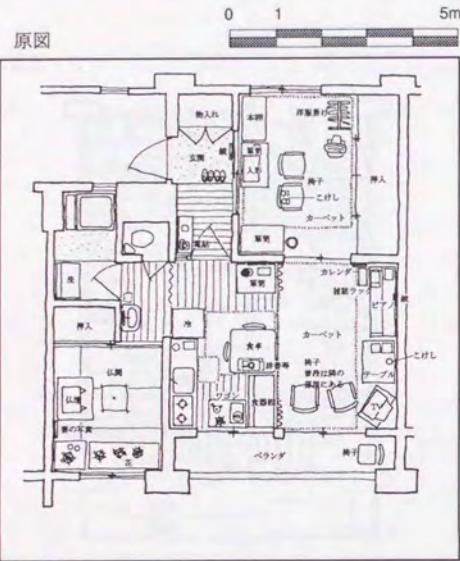


モノ図

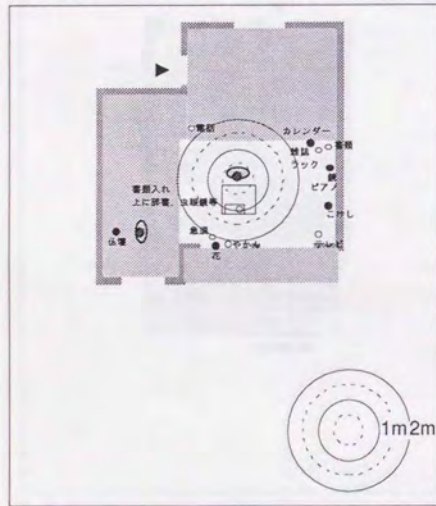


行為図

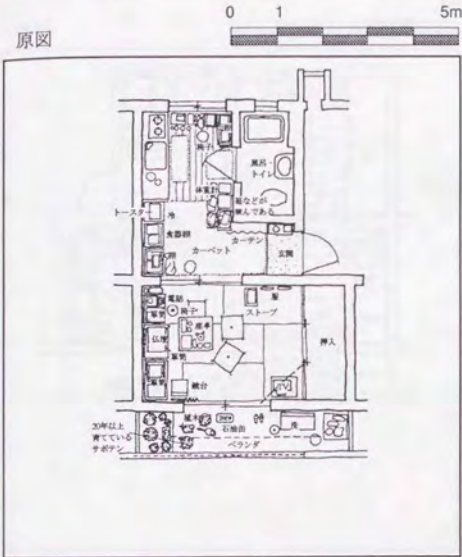




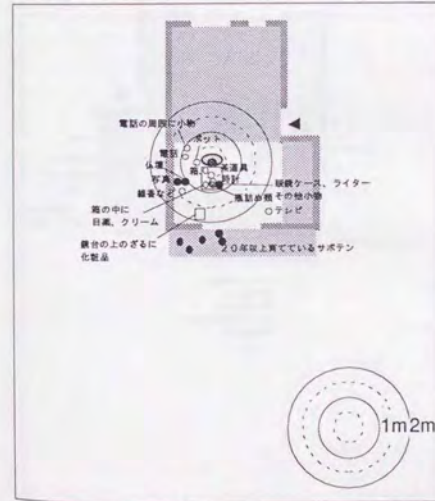
モノ図



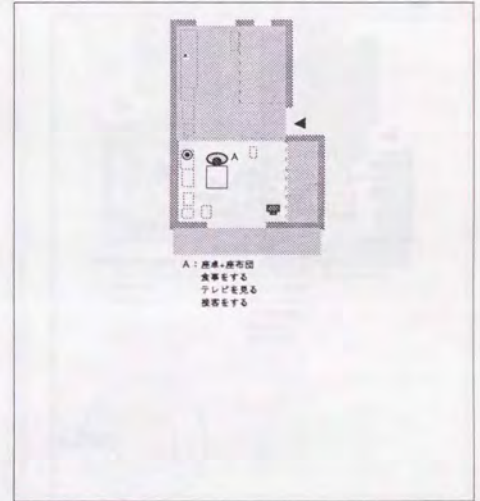
行為図



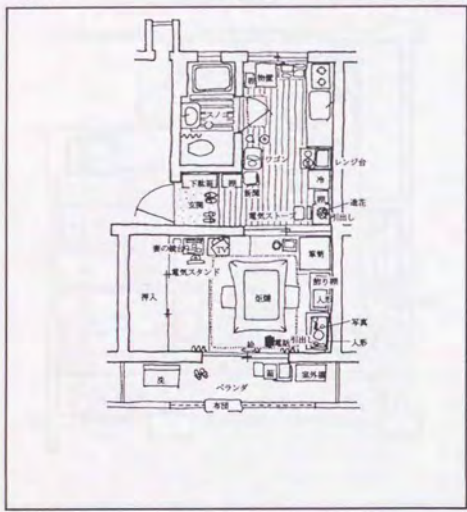
モノ図



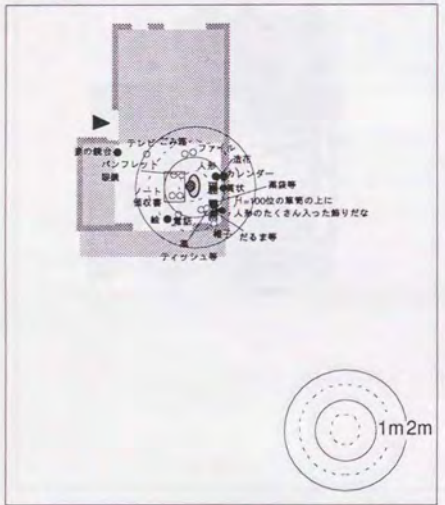
行為図



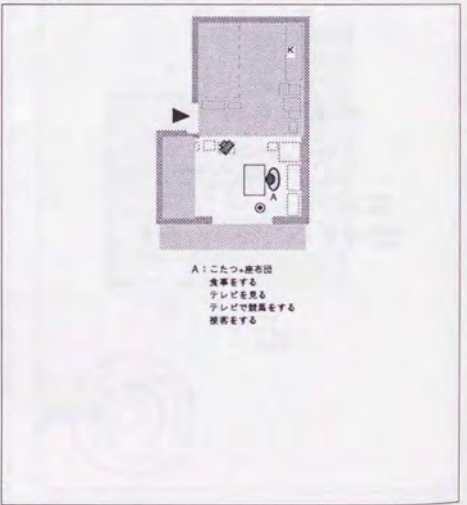
原図



モノ図

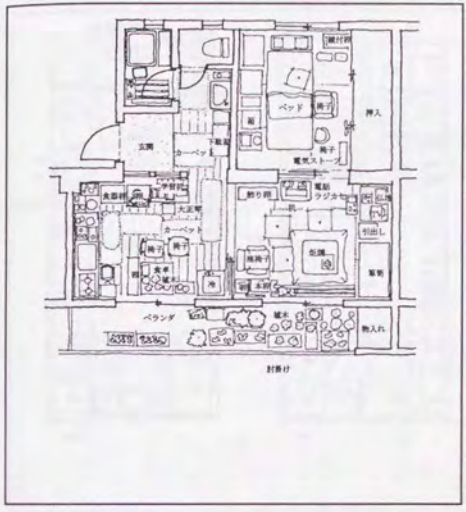


行為図

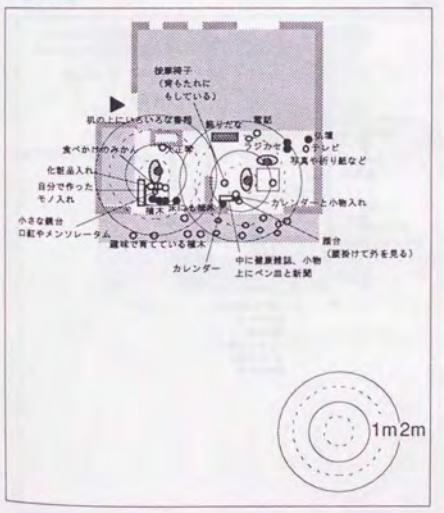


A: こたつ・座布団  
食事を  
テレビを見る  
テレビで録画をする  
録音をする

原図



モノ図



行為図



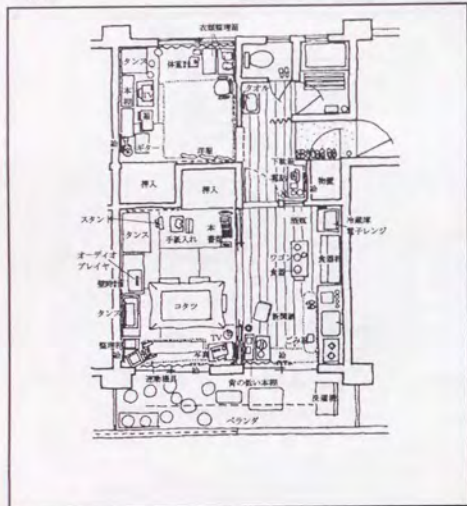
A: 食卓・椅子・椅子  
(椅子の一つは反台)  
食事を  
一室する

B: こたつ・座布団  
(背後に按摩椅子: 寄りかかれる)  
食事を  
テレビを見る  
大正琴の練習  
録音する  
録音をする

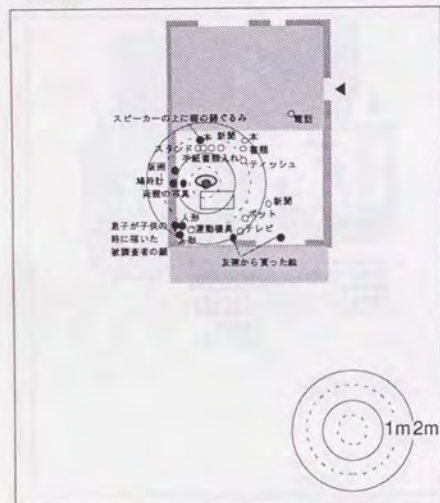
C: こたつ・座布団  
テレビを見る  
大正琴の練習  
録音する  
録音をする



原図



モノ図



行為図



原図

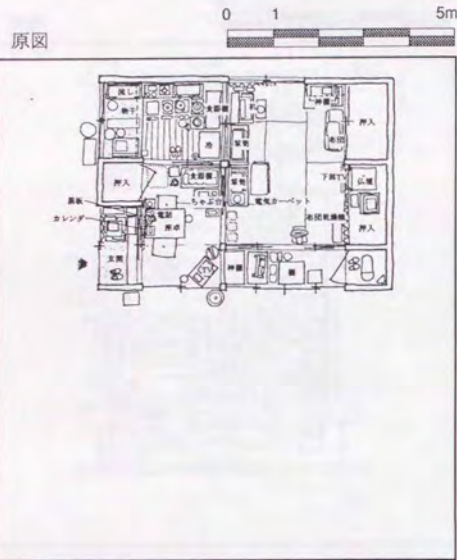


モノ図



行為図

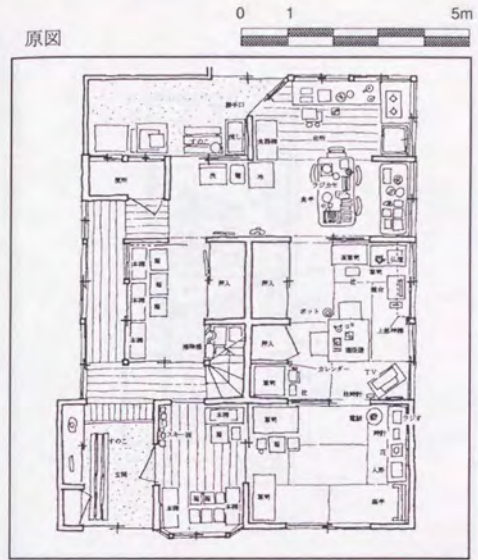




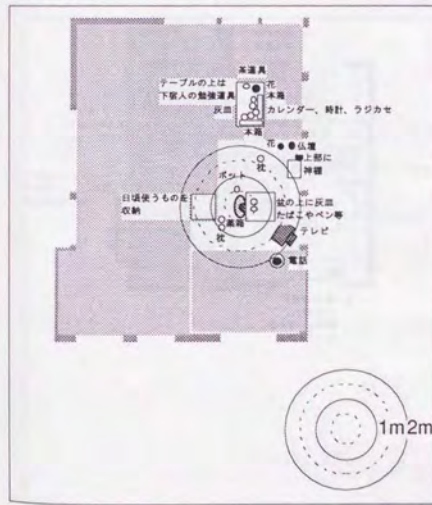
モノ図



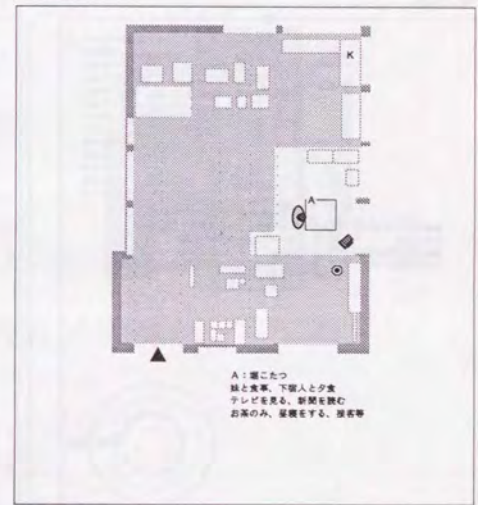
行為図

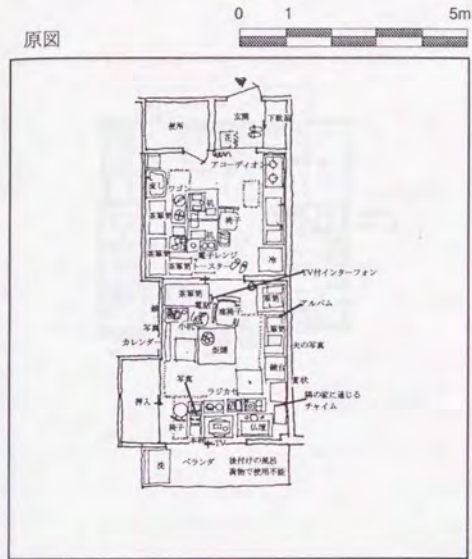
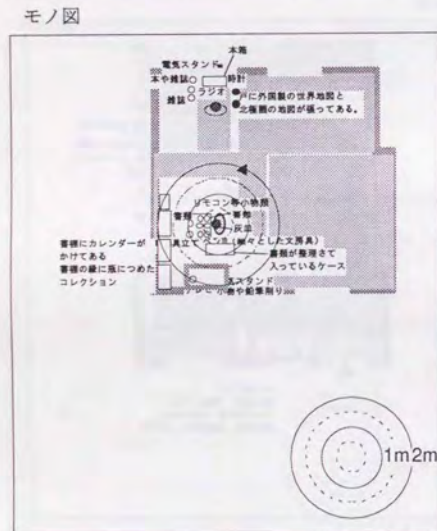
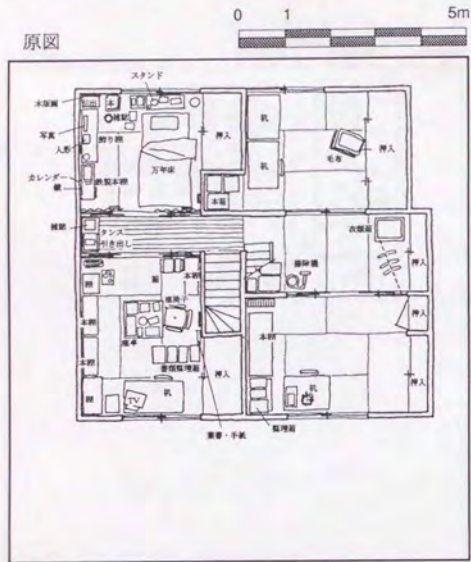


モノ図



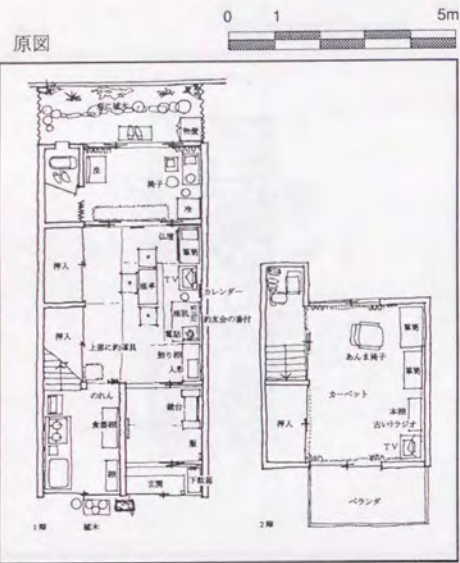
行為図



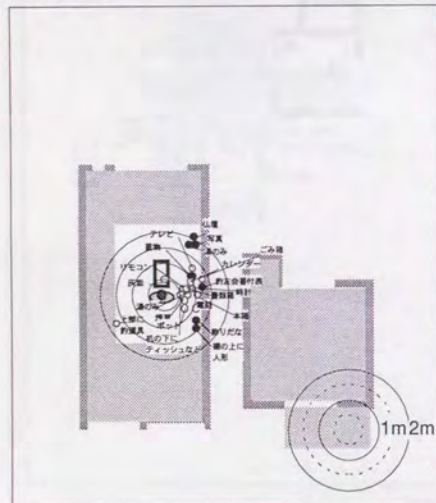




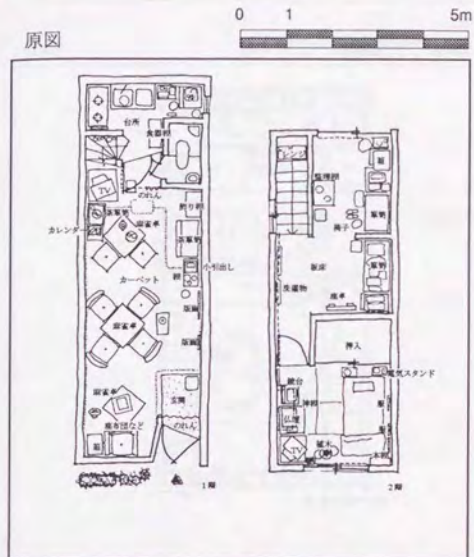




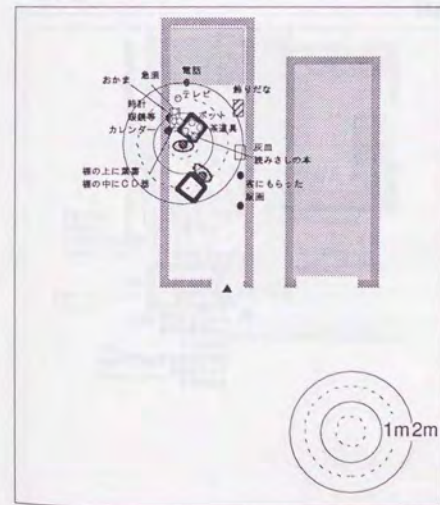
モノ図



行為図

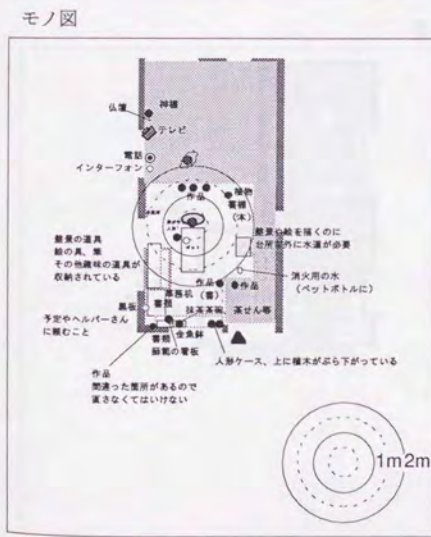
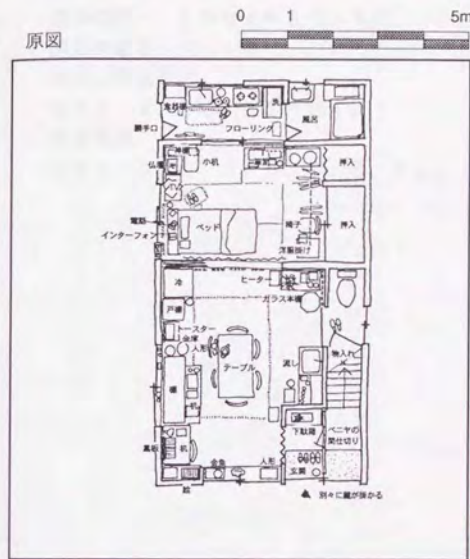
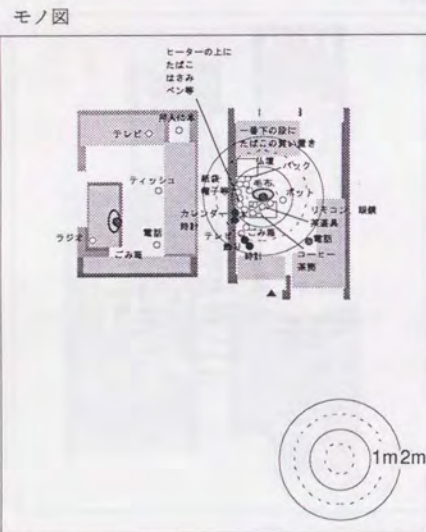
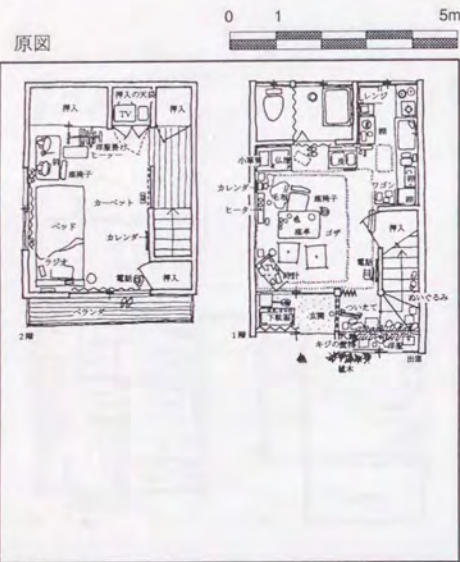


モノ図



行為図





SN14 女性 67歳 独り暮らし

調査年 92年

2・2 1994年度調査(一人暮らし高齢者)

調査時期 1994年6月~8月

調査対象者 全14名

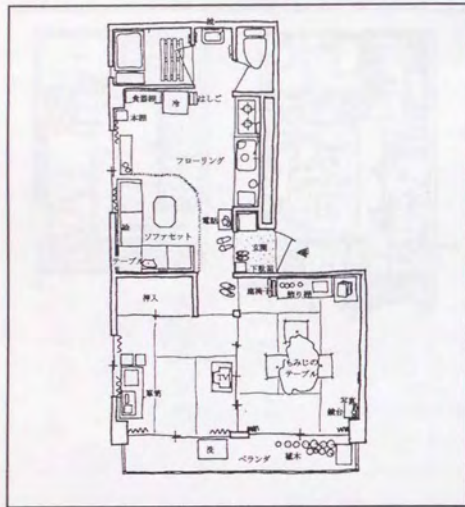
赤羽台団地地区

SA3、4、10、11 計4名

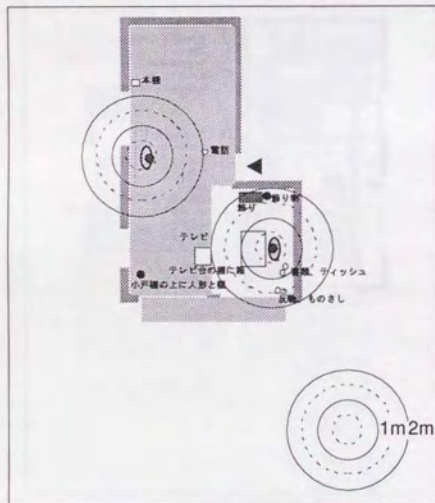
根津地区

SN1、3、4、5、6、7、8、11、12、13 計10名

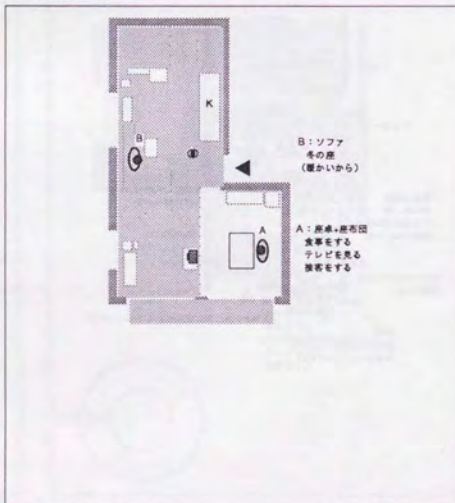
原図



モノ図

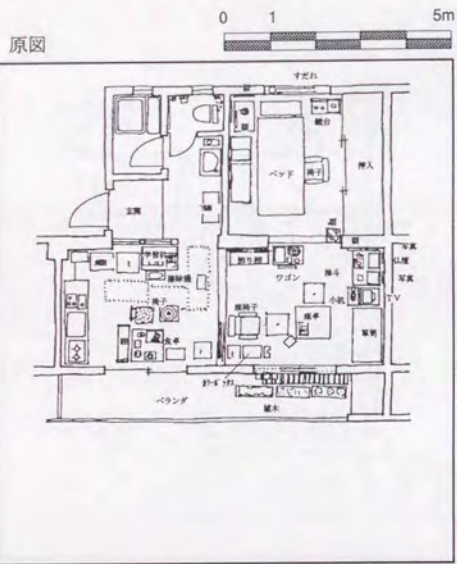


行為図

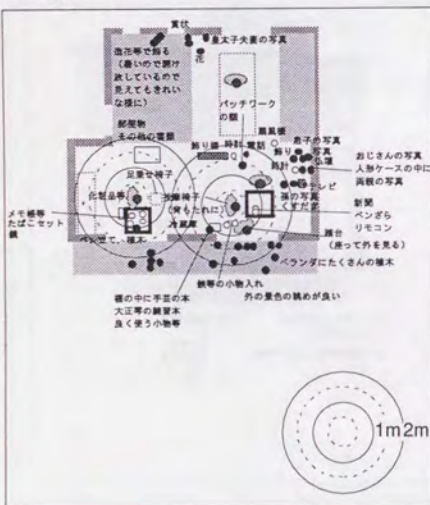




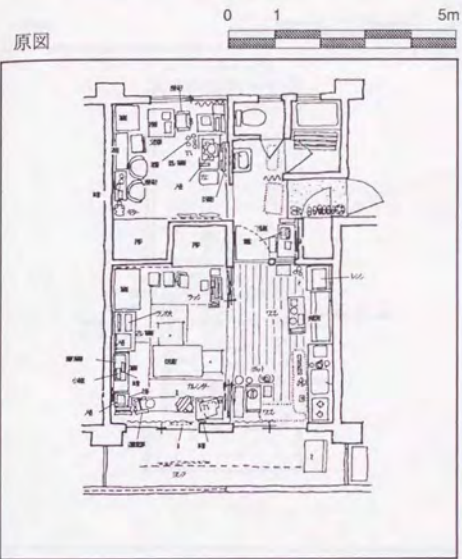




モノ図



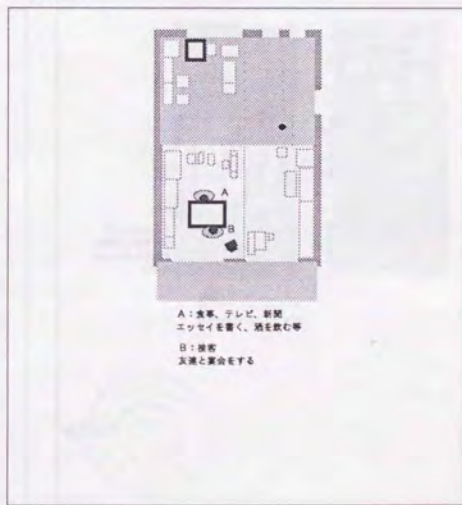
行為図

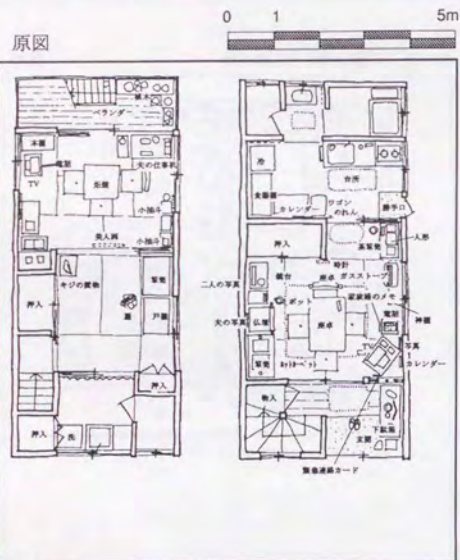


モノ図

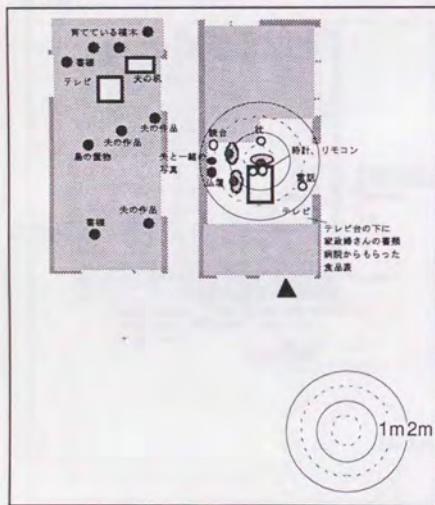


行為図

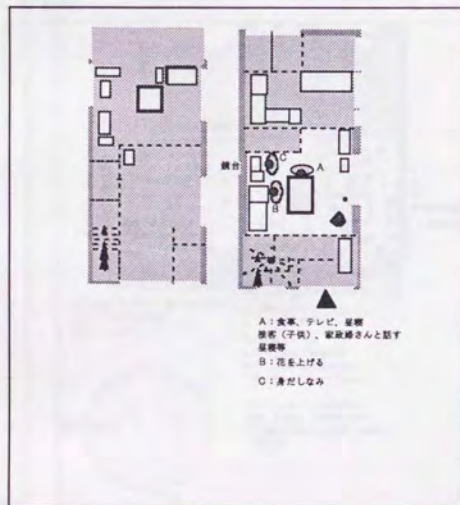




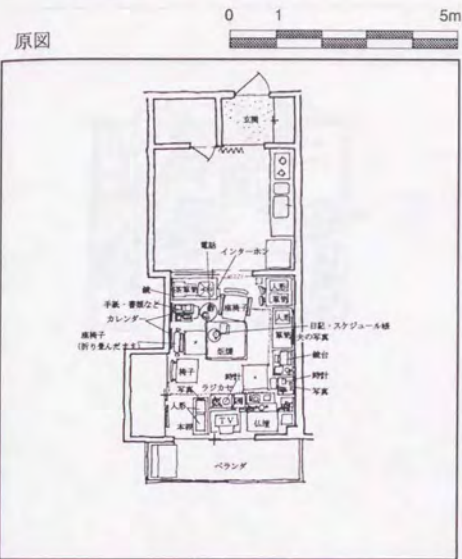
モノ図



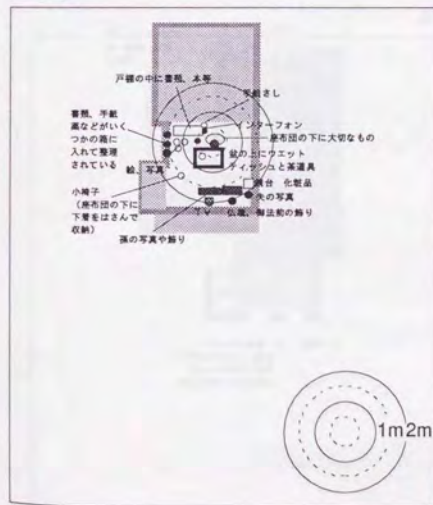
行為図



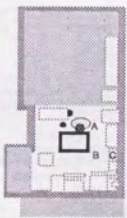
A: 食事、テレビ、昼間  
読書(子供)、家族録さんと話す  
昼寝等  
B: 花を上げる  
C: 身だしなみ



モノ図



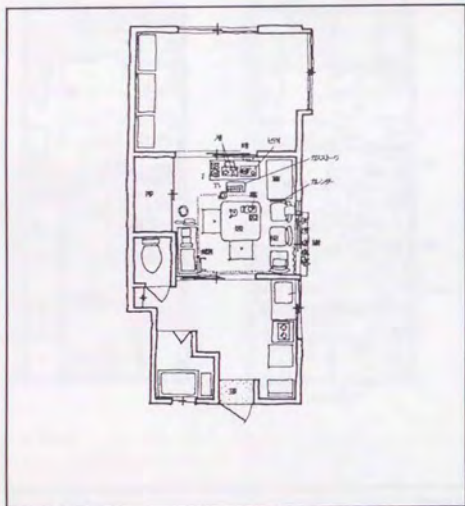
戸棚の中に書類、本等  
家族録  
書類、手紙  
裏などがいく  
つかの箱に  
入れて整理  
されている  
絵、写真  
小椅子  
(座布団の下に  
下着をはさんで  
収納)  
床の写真を飾り



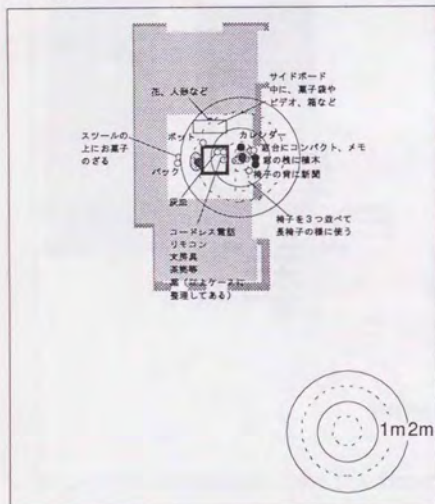
A: 食事、電話  
読書、仕事、読書  
日記つけなど  
テレビを見る  
インターフォンの対応等  
B: 郵便物の準備、片付け  
C: メイク

原図

0 1 5m



モノ図

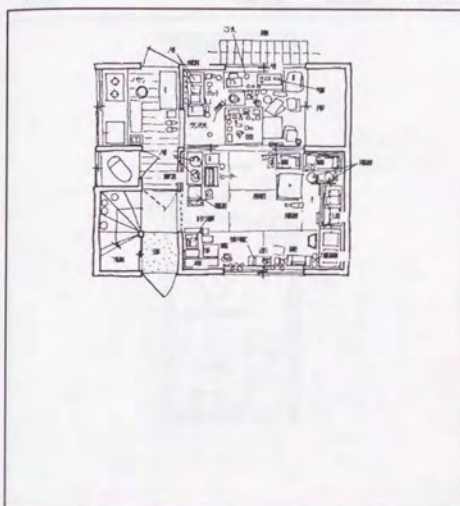


行為図

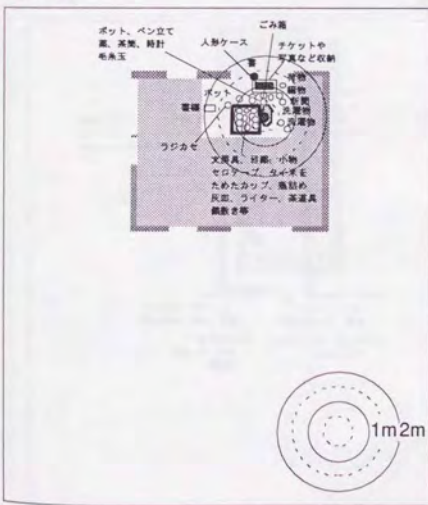


原図

0 1 5m



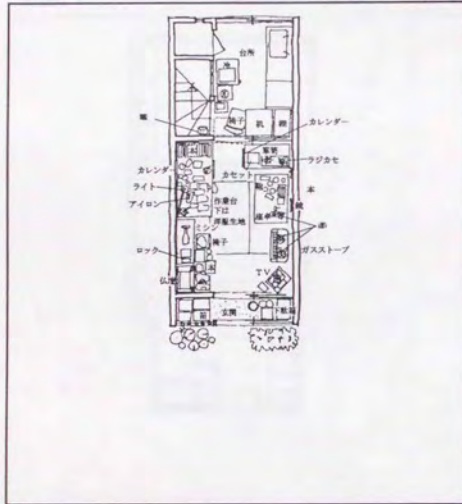
モノ図



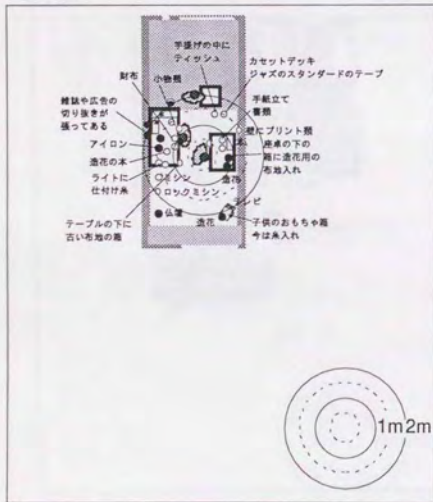
行為図



原図



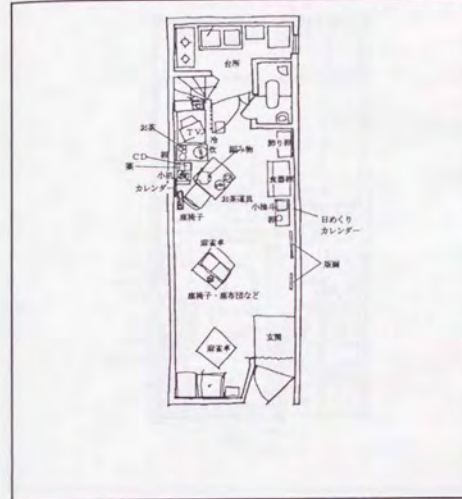
モノ図



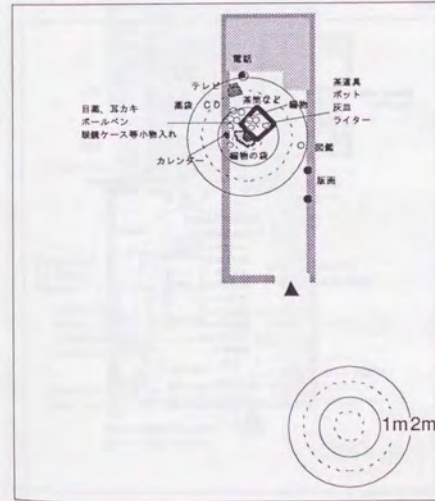
行為図



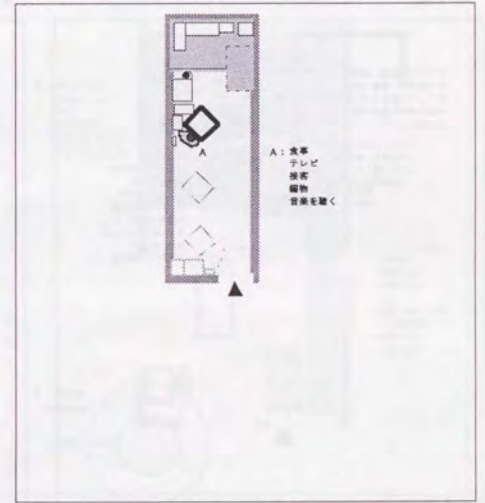
原図



モノ図

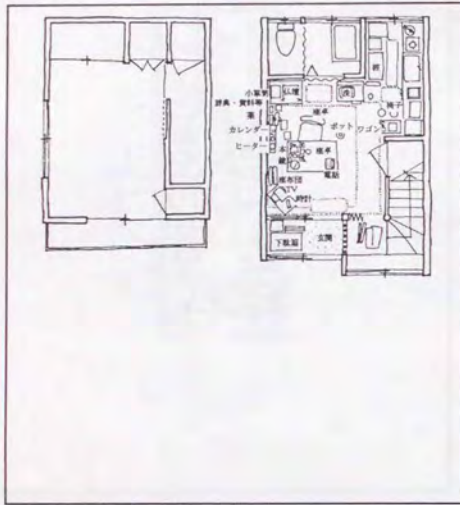


行為図



原図

0 1 5m



モノ図

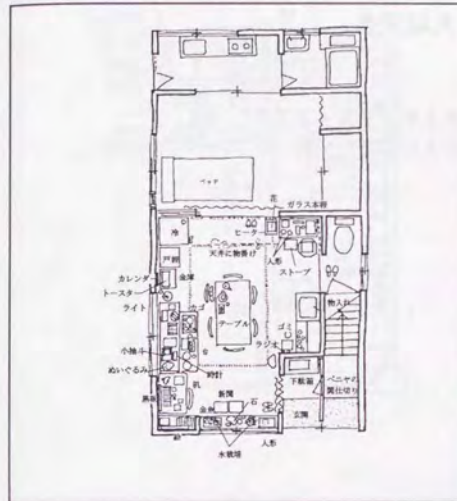


行為図

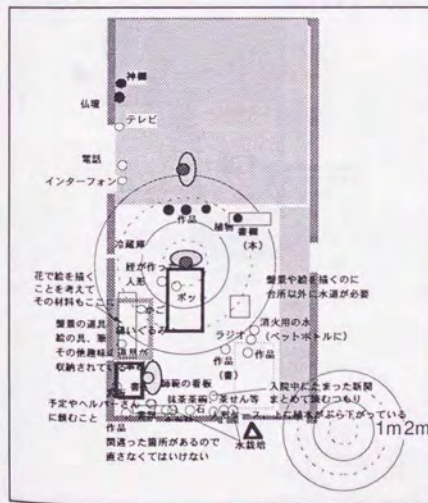


原図

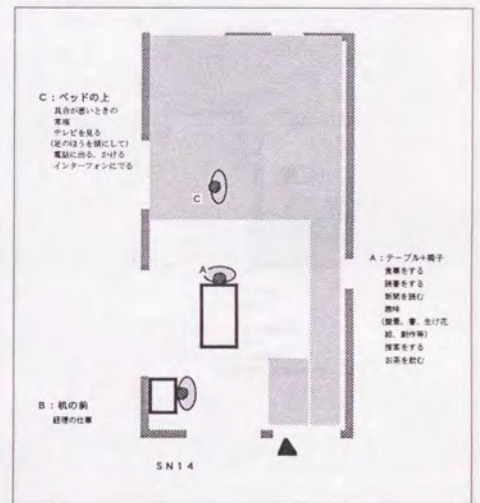
0 1 5m



モノ図



行為図



3. 高齢者夫婦世帯の住居内部・「座」、モノ、行為の状況

3・1 1992年度調査（高齢者夫婦世帯）

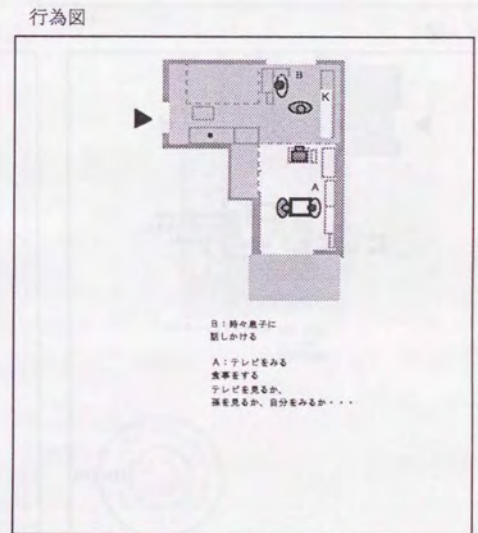
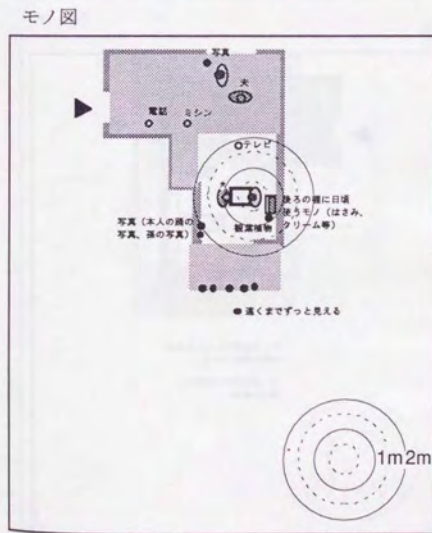
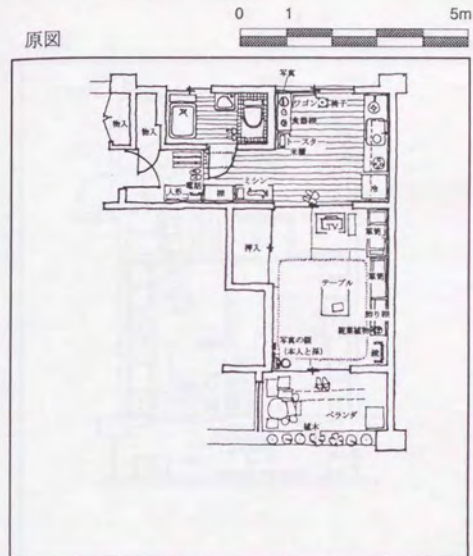
全9世帯

PA1-8 赤羽台団地地区 調査時期：1992年11月～12月

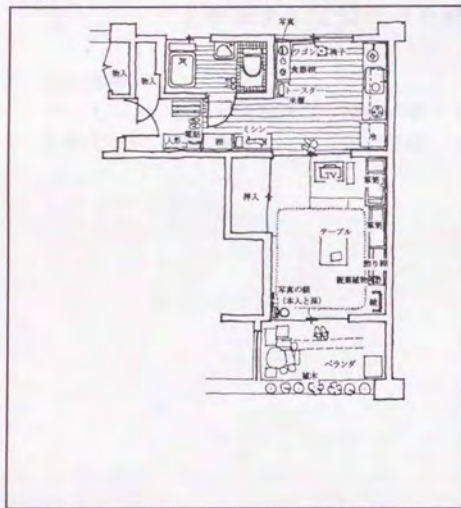
PN1 根津地区 調査時期：1994年6月～9月

PA01 女性 76歳 夫婦世帯

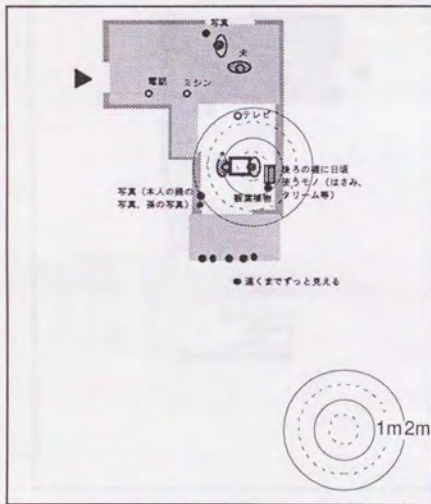
調査年 92年



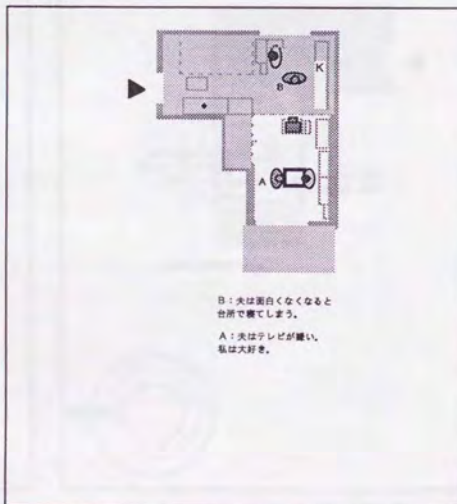
原図



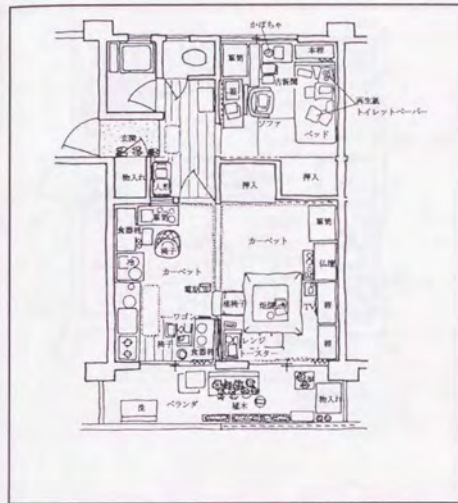
モノ図



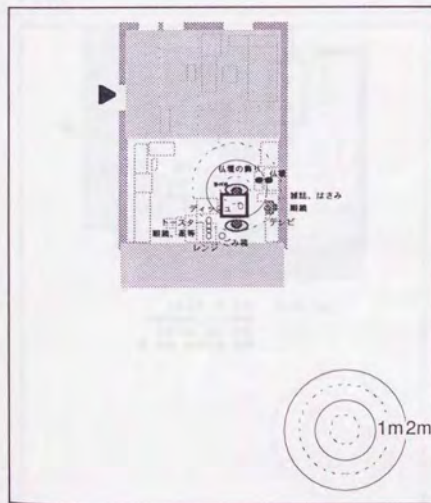
行為図



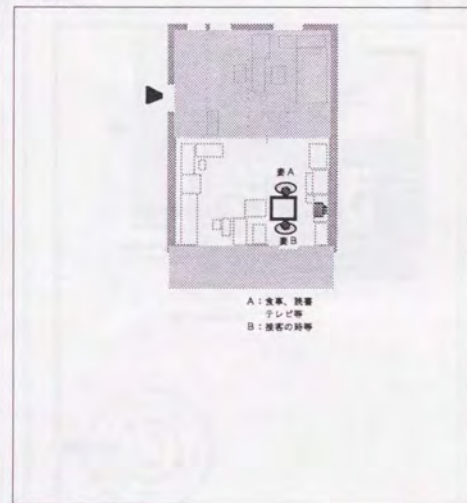
原図



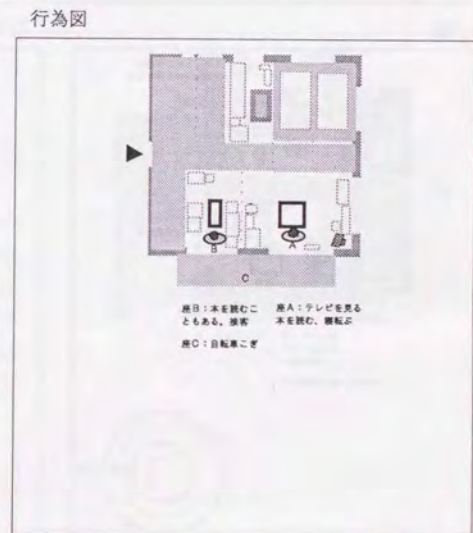
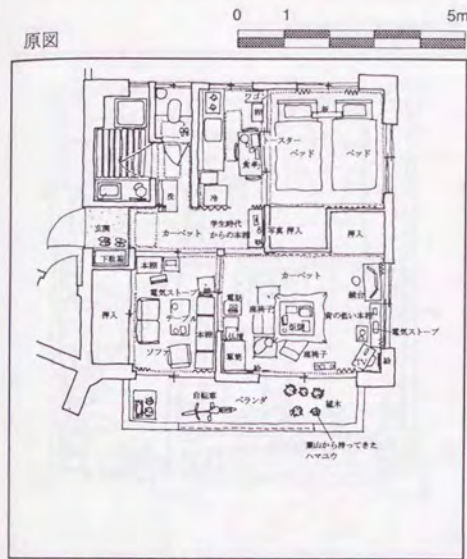
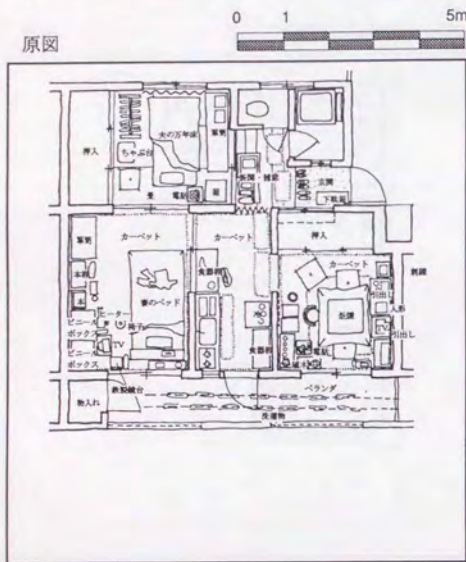
モノ図

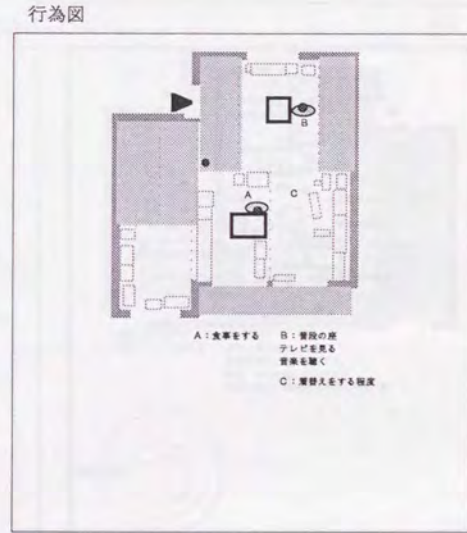
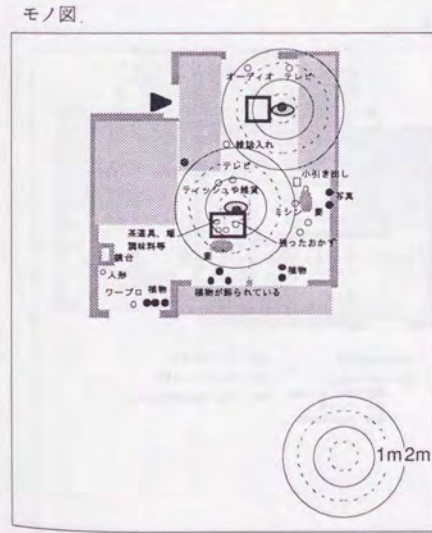
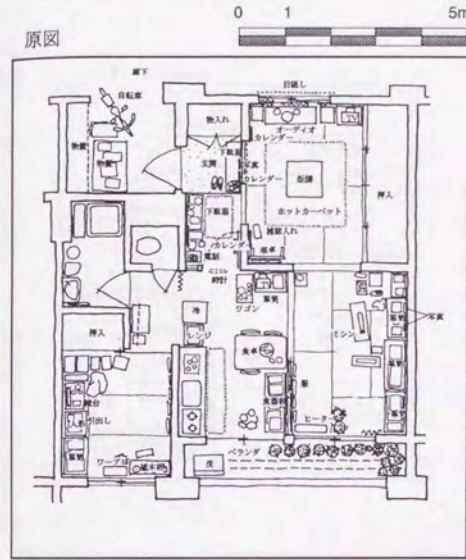
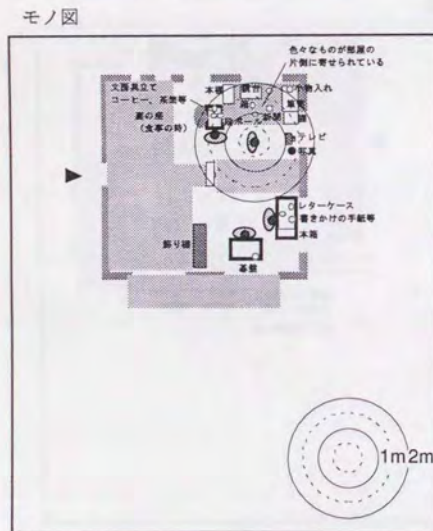
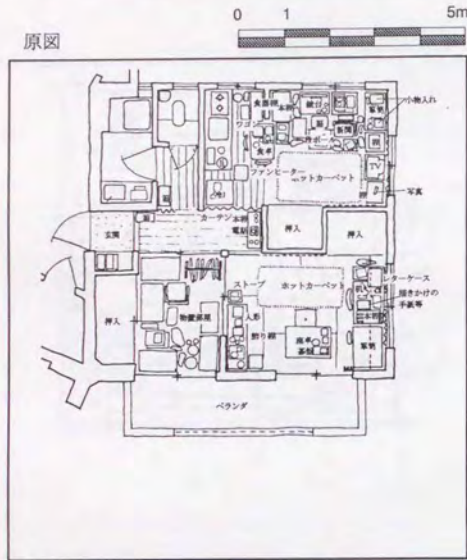


行為図





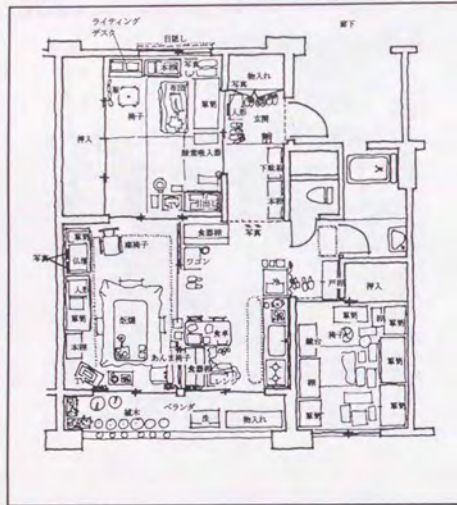




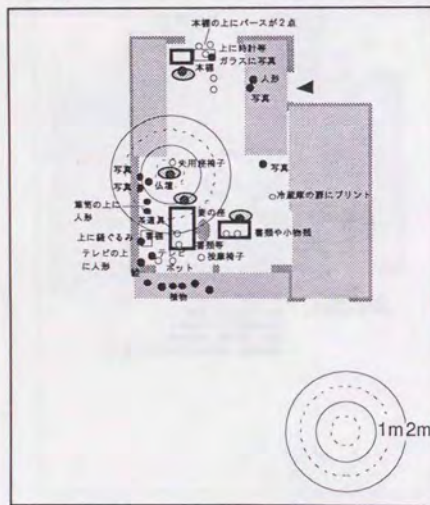




原図



モノ図



行為図



原図



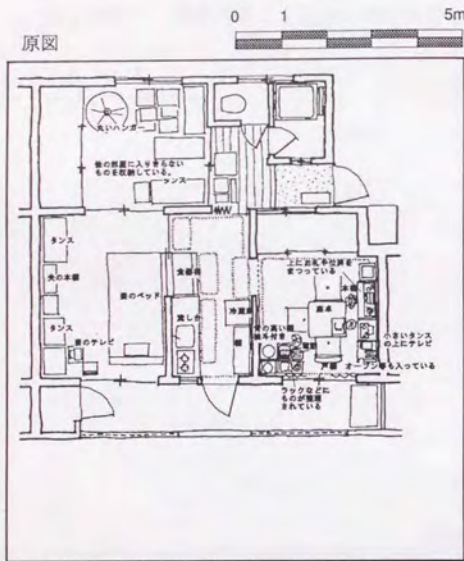
モノ図



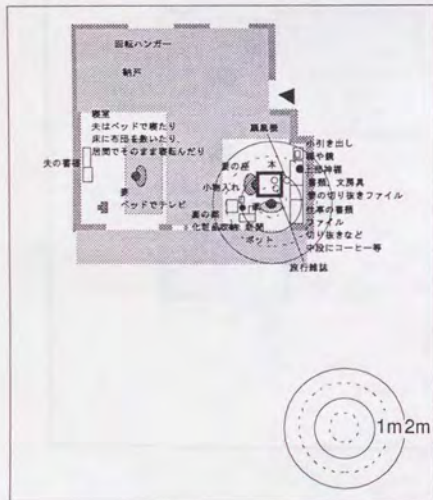
行為図



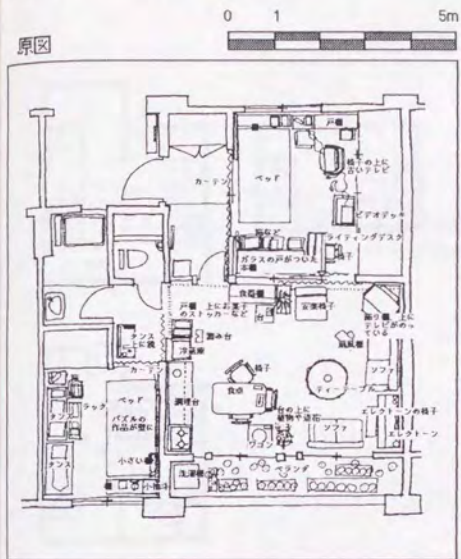
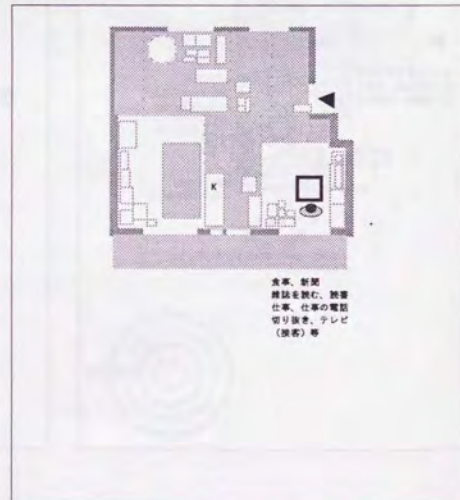




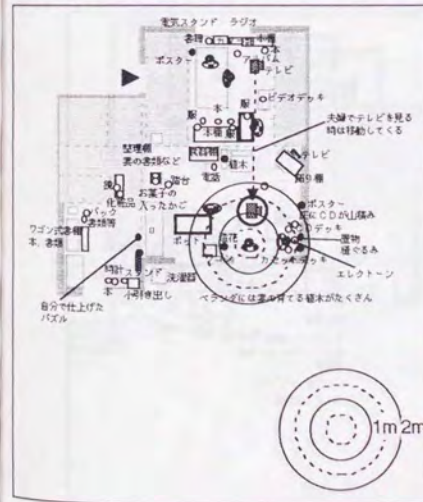
モノ図



行為図

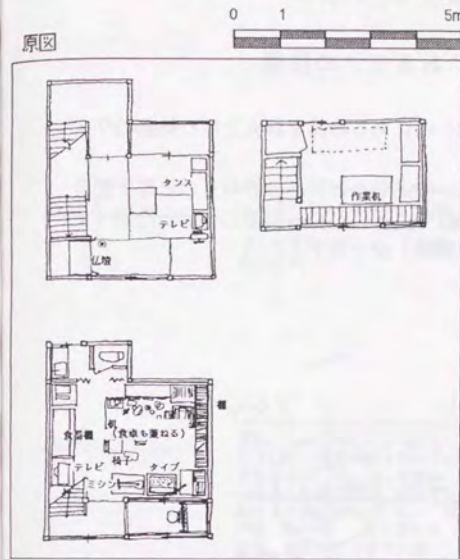
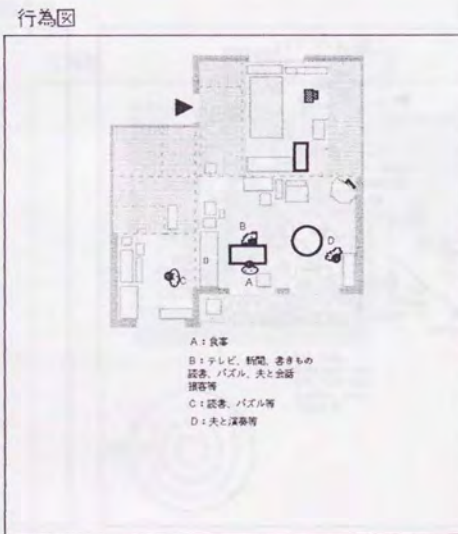
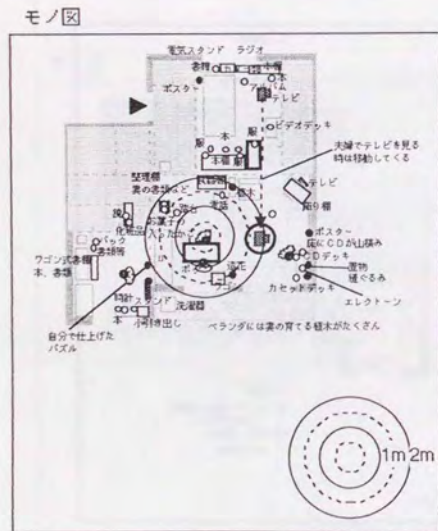
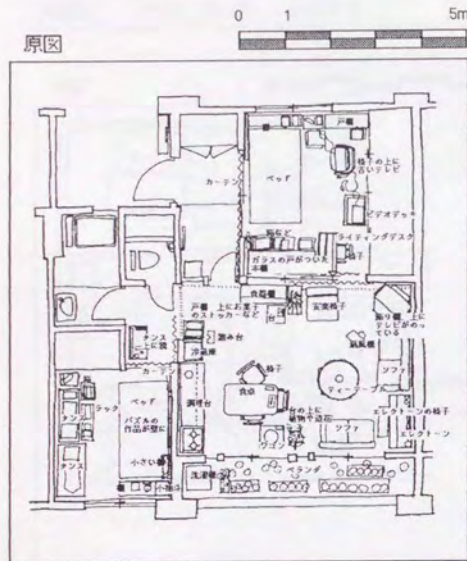


モノ図



行為図





## 4. 一人暮らし高齢者の「常座」の周辺のモノの分布

## 4・1 「コレ」領域、「ソレ」領域にあるモノの種類

西出 (1990) の示した「コレ領域」「ソレ領域」内にある物品を数え上げた結果のリストである。

これは、分析に当たった試案的な作業であり、物品名などに本分析のもの若干整合性を欠く箇所があるが、参考のため資料編の形で付すことにした。本編にも示したが「使うモノ」と「コレ領域」、「見るモノ」と「ソレ領域」が一致する。

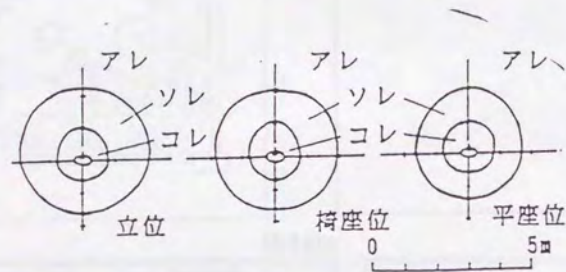


図-2-3-1 個人型指示領域 (平均)

図 I・1 「コレ」「ソレ」の指示領域 (西出 (1990) による)

## データ番号

## 「コレ」領域にあるモノ

## 「ソレ」領域にあるモノ

SN 1

茶道具 (夫はお茶が好きだったので入れ方は自分よりもうまかった。) リモコン 新聞

ポット 亡夫の座椅子 (夫は、訪問の約2カ月前亡くなっている) 鏡台 (毎朝、身だしなみを整える。夫がきちっとしているのが好きな人だったので。) 神棚 電話 テレビ (新聞を見て何を見ようかチェックして決める) 花 衝立 (玄関からこちらが見えないように注文してつくってもらった)

SN 2

(座卓の上に) 湯のみ、電話、ティッシュ (座卓脇の柱に) 電話帳 (座卓の真横に) 黒板: 覚書等 ポット ごみ箱 財布や菜袋の入った袋

コレ領域との境目あたりに、新聞やリモコン 小物 書類や小物が収納整理されている戸棚 「座」の後ろの鴨居に、クリーニングの通い櫃柱に通い櫃やタオル テレビ

SN 5

電話 テレビ付インターフォン (玄関に背を向けていて、玄関の鍵を閉めていてもだれが来たか分かる) ポット 茶道具 仕事の書類など (座のすぐ隣の戸棚に収納されている、また、座のすぐ側の棚などにも) 筆記用具 (書類の戸棚、座の側) 良く読む本 (戸棚) 重要な書類、お金など (自分が座っている座椅子の座布団の下) 夫の写真 孫の写真 リモコン

夫や孫、子供たちの写真 飾りもの 鏡台 (毎朝、必ずメークしてから外へ: 人に不安を与えないため、信用のため。きれいにしなくっちゃ) <ソレの次> 仏壇 (結婚と同時に宗教を信仰、以後社会的なネットワークを広げる要因ともなっている様子) 飾りもの テレビ

SN 6

ポット 茶道具

カレンダー 花 (花瓶にさしてある) 書類の入ったラック 時計 置物 テレビ

SN 7

花 (座卓にあじさいの花が生けてある) 茶道具、ペン・はさみ等 (ペンたてに) リモコン: 以上座卓の上 座卓の周囲に: スキムミルク 新聞 乳液 クリーム 化粧水

冊子 人形 小物 袋 (中に何か入っている) テレビ 人形ケース 所 (昔習字を習っていたころの作品) 自分で作った飾り (寿会館で習った造花など 今はやめてしまった)



データ番号	「コレ」領域にあるモノ	「ソレ」領域にあるモノ
SN 8	造花やパッチワークの道具・材料 (造花は寿会館などで教えている) やりかけの作品、作品の造花 読みさしの本 (読書が好き) 造花や手芸の本 (造花は自分で本を読んでもできるよになった)	造花やパッチワークの道具や材料 ミシン (もともと家で洋裁の仕立ての仕事をしていた) テレビ 仏壇 ラジカセ カセットテープ (ジャズのスタンダードが好き) 造花 (自分の作品が飾ってある) ペン立て カレンダー 本 雑誌 <ソレの外> 外の様子 外の緑
SN 9	布団	テレビ 卓上カレンダー 服 趣味のスクラップの道具の入った押入引き出しのケース ケースの周辺の床の上に; 薬 眼鏡 時計 のり等
SN 10	灰皿 たばこ リモコン 書類	ポット 電話 カレンダー 仏壇 写真 湯のみ (仏壇の前の写真の前に供えてある) テレビ 置物 書類の入った箱 時計 釣友会番付 (釣が趣味で根津釣友会に入っている) ティッシュ
SN 11	ポット 茶道具 灰皿 コンパクトCD 本 眼鏡 (本を読むのが好き) 時計 炊飯器 ジャー	テレビ 電話 <ソレの外> 版画 (普着ていたお客さんにもらった。いいものらしい。; 最近までジャン荘)
SN 12	卓の上に; 茶筒 コーヒー リモコン 眼鏡 はさみ ペン たばこ 周囲に; ポット 買った本 (袋に入ったまま) 毛布	テレビ 時計 飾り キーホルダーの飾りもの 仏壇 カレンダー 袋に入ったもの <ソレの外> 電話 (使うときは座まで引っぱってくる。ロングコードにしてある。電話は多く、長話し)

データ番号	「コレ」領域にあるモノ	「ソレ」領域にあるモノ
SN 13	姪が作った人形 ポット	趣味の道具と材料 (盤景、造花、書、絵画、生け花等); すべて周囲の戸棚に収納されている本; 本棚に収納されている 作品 (絵、書等) 植物 <ソレの外> 仕事机 黒板 作品 かけ時計 植物 金魚 (動くものが部屋の中にいるのはいい)
SN 14		飾り棚 鏡台 写真
SA 1	卓上に; 茶道具 CDが山積み リモコン 周囲に; 薬 ポット ビデオ カセットテープレコーダー (操作板がコレ領域の縁にある=座ってて手が届く)	ビデオテープ 新聞 テレビの上に飾り
SA 2	卓の上に; トースター スプーン 調味料 茶筒 茶道具 トイレットペーパー 買い物をしてきた買い物袋 略語辞典の用紙 (新聞を見て新しい略語が見つかる、意味を書いていく。「どんどん新しい言葉が出てくるので」作業は続く。) 新聞 ペン 書類 手紙 卓の隣; 新聞の山	ポット テレビ 書類
SA 3	卓上に; 茶道具 ポット 薬等 周囲に; 編物 書類 編物の本	編物や手芸の本 ラジオ カセットテープ 編物 電話 テレビ <ソレの外> 時計 カレンダー 人形の飾ってある棚 孫の写真 「外の景色」

## データ番号

## 「コレ」領域にあるモノ

SA 4

卓の上に；ノート 眼鏡 セロテープ はさみ  
ペン皿 ジャム 調味料トレイ（卓上にある  
モノの位置は決まっている）  
座のすぐ隣に；鏡台 強打（鏡台の上に）化粧品  
（メイクするのが好き）

SA 5

そろばん 電話

SA 6

ラジカセ ウエットティッシュ ビデオ カ  
セットテープ 電話 小物 おつまみのような  
もの 食べさし 火鉢 書  
テーブルの下にも品物

SA 7

辞書 新聞 虫眼鏡

SA 8

眼鏡 茶道具 梅干 りんご 目覚まし時計  
薬 クリーム ポット 電話 仏壇

## 「ソレ」領域にあるモノ

絵（自分で描いた、今は描いていない） 観葉植  
物（部屋のあちこち、また家の他の部屋にも  
ある） 飾りだな（飾り棚には、息子の写真、団  
地内で拾った人形） テレビ 飾り  
卓上のコレの外側；新聞 電熱器 電熱器の上に  
やかん 鉢植えの花 ざるの中に紅茶、薬、煎餅

ざる（中に小物） 調味料 人形 飾りだな  
ファックス 鏡台 テレビ みかん 新聞 茶道  
具  
その他：台所にあるためキッチンコーナー、電子  
レンジ、冷蔵庫

茶釜 筆 作品（油絵） クッション 絵（飾っ  
てある） クッション 写真（旅行などに行った  
ときの主に自分の写真） 人形 カレンダー 飾  
りだな テレビ

花 茶道具  
＜ソレの外＞テレビ こけし ピアノ  
（妻が死んでから家の中に生活のにおいがしな  
くなった）

小物 鏡台 絵  
＜ソレの次＞テレビ 外の景色

## データ番号

## 「コレ」領域にあるモノ

## 「ソレ」領域にあるモノ

SA 9

眼鏡領収書のノート（現役のタクシードライ  
バー） 薬 ティッシュ

＜コレの縁＞電話 薬の袋 写真 人形  
＜ソレ＞  
ファイル テレビ 絵

SA 10

本 新聞 カレンダー 踏台（窓際にあり、こ  
れに腰掛けて外の植木や景色を見る）

ペンざら カレンダー 電話 ラジカセ（大正琴  
のメロディーを覚えるのに使う） 飾りだな  
＜それの外＞テレビ 仏壇 写真（亡くなった息  
子や両親。また孫の写真や自分自身の写真なども  
飾ってある）大正琴  
＜ソレの外＞  
外の縁

SA 11

両親の写真（亡くなるまで一緒に暮らしてい  
た。訪問の数カ月前に母親も亡くなる）

手紙 書類入れ 本 書類 ティッシュ  
テレビ写真 絵（友達にもらったり、息子が子供  
のころ描いたり） 運動の機具（体を動かすのが  
好きで、区の体育館などにも通っている）人形  
目覚まし時計 煽時計 ポット



## 5. 日常生活状況のまとめ - 1992年、1994年度の比較 -

## (1) ヒアリング内容の概要

住環境と個人の生活自体の関わりを考察するために、ヒアリングの結果から健康状態 > <日常生活> <対人環境> に関する言葉を抽出しデータとした。本研究では特に、健康状態と対人環境に注目して整理した。

## (2) 人との関わり方の類型化、対人環境の変化の様子、「一人暮らしの体力」とその経年変化

(1) で得た対人環境の状況を、

## ① 誰と交流があるのか。

(家族か、友人か、自分が所属する団体か、または地域の施設の人、病院の医師、等)

## ② どの様な交流か。

(住居内での交流のみか、それに加えて相手のサポートがあるか。住居の外での交流か、交流に加えて相手のサポートがあるか。)

の2つの軸によるマトリックスの中で示した。

また、健康の不安に関する言葉と対人環境を、論文中で示した手順により得点化し、その合計を「一人暮らしの体力」とした結果を面積グラフで表わした。

データ番号 SA3

性別 F 年齢: 92年時 79歳

健康状態

ADL 12  
バセドー氏病。2週間毎に診療所。2ヵ月毎に築地の癌センター。日常生活には特に差し障りはない様子。

健康状態 94

バセドー氏病。呼吸器が圧迫されて咳が出る。癌センターに行っていたが赤羽駅の階段が多く(負担になり)、行くと半日かかってしまうので、癌センターから診療所へカルテを移して貰う。腰痛、昔から。膝と腰が痛み、診療所で電気をあててもらおう。この10年来。

日常生活

午前中、パンと牛乳の朝食後テレビを見たり、布団のなかで本を読んだり。本を読むのが好き。10日毎に赤羽西図書館へ。午後は編物をしたり、推理小説を読んだり。9時ごろ就寝。

日常生活 94

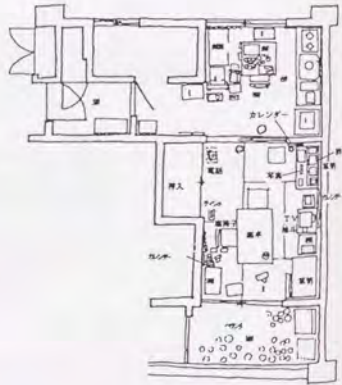
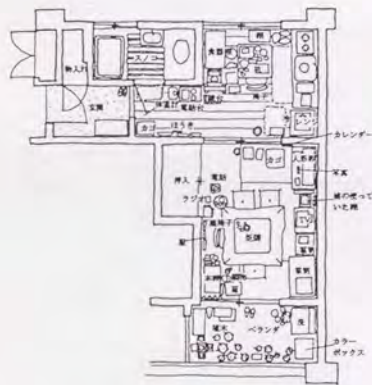
朝はテレビ。9時ごろから編物、手芸をしていることが多い。材料は半年に一回位、池袋へ買いに行く。テレビはあまり面白くない。時代劇や野球。手芸をやっていると時間がつぶれる。それからひっくり返って本でも読んでいる。10日毎に図書館。

人環境

娘：月1回くらい来る。孫も。弟、妹：月1回くらい来る。弟のところへは時々行く。  
築地の友達(仕事時代の友人)：癌センターに行った時遊びに行ったり図書館の人：本を紹介してくれる。同じ階段の下の奥さん：お茶、お喋り。

人環境 94

娘：時々来る。孫の幼稚園のバザーのために手芸で小物を作った。弟、妹：電話や行き来。皆近くに。遊びに行っていた築地の友人：死んでしまって。いつも松竹のカレンダーを買っていたが去年は買えなくて、寂しい。毎月、本を送ってくれる友人がいる。電話だけ。結構長話。もと職場の顔見知りか団地に住んでいて声をかけてくれる。診療所の人とも仲良くしている。いとこ：昔は読む本を教えてください。今は葉書だけ。



SA3

性別/年齢  
F 79

2年後の様子

具体的な病気の有無	△△
体力の低下に関する言葉	

具体的な病気の有無	△△
体力の低下に関する言葉	▲

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表す指標とした。

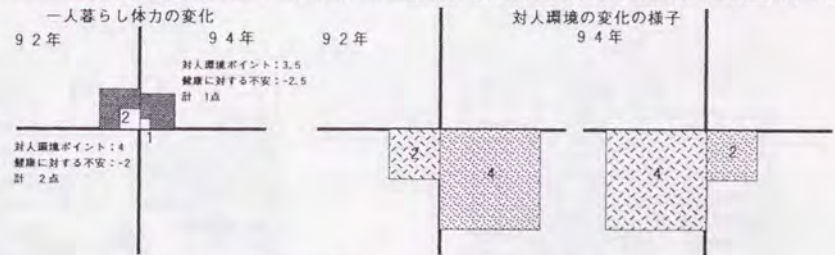
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	娘	弟や妹
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
仕事をしてきた頃の友人		下の奥さん
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人、医師など	ヘルパーさん
	図書館の人	

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	娘	弟や妹 いとこ
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
本を送ってくれる友人		昔の職場の顔見知り
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人、医師など	ヘルパーさん
	診療所の人	

<人との関わり方の類型>

家に上がる 手助けをしてくれる 2点  
 家に上がる 1点  
 家の外で交流 0.5点  
 家の外で交流 手助けがある 0.5点

\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



データ番号 SA4

性別 F 年齢:92年時 68歳

健康状態

ADL11  
膝を痛めて接骨院へ通院（毎日）。  
田町の漢方医の所へ。

健康状態94

特に問題はない。「健康体」  
毎日接骨院へは通いつけている。  
田町の漢方医：更年期障害の時、ホル  
モン注射をしてもらい始める。以  
来続けている。それと、漢方薬を出  
してもらおう。

日常生活

7時に起床。掃除、メイクなどの後  
接骨院。月1回田町の医者。  
月1回、足立区の友人と誘い合わせ  
て浅草や鎌倉などを歩き回る。

日常生活94

4時30分に新聞が来たら寝床へ  
持ってきてざっと見る。毎日時間で  
出かける。（接骨院へ）友達とお  
しゃべり、買い物をして11時頃に  
帰宅。午後は洗濯や片付け。月1回  
京浜東北線で田町の漢方医へ。決め  
たらずっと続けるタイプ。（好きな  
色の口紅を買いだめしたり）  
夜、テレビ。11時30分頃就寝。  
年金生活なので「倹約」している。

人環境

息子：ダム関係の仕事で転々として  
いて殆どあわない。  
足立区の友人：月1回誘いあわせて  
浅草や鎌倉などへ。  
仕事をしてたときの友達：二人い  
て誘いあって外であう。  
同じ棟の人：挨拶はするが誰だかよ  
くわからない。

人環境94

息子：時々来る。自分の兄弟：交  
流ある様子。姪：この家はもと姪  
の家。  
接骨院の先生：院長は口が悪いが若  
先生はいい人。漢方の先生：信頼  
している。先生の離婚の相談にも。  
接骨院で知り合った友達：毎日同じ  
時間に行って話す。買い物をして別  
れる。友人：3人いる。何かあつ  
たら言ってくれ。何かあつたら  
夜、電話で長話しも。  
勤め時代の恩人：来たときは何か  
とって、酒も。しかし、最近没。



SA4

性別/年齢  
F 60

2年後の様子

具体的な病気の有無 △  
体力の低下に関する言葉

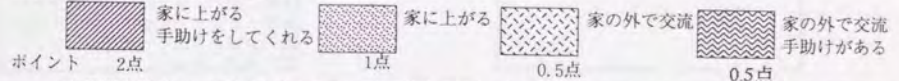
具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表わす指標とした。

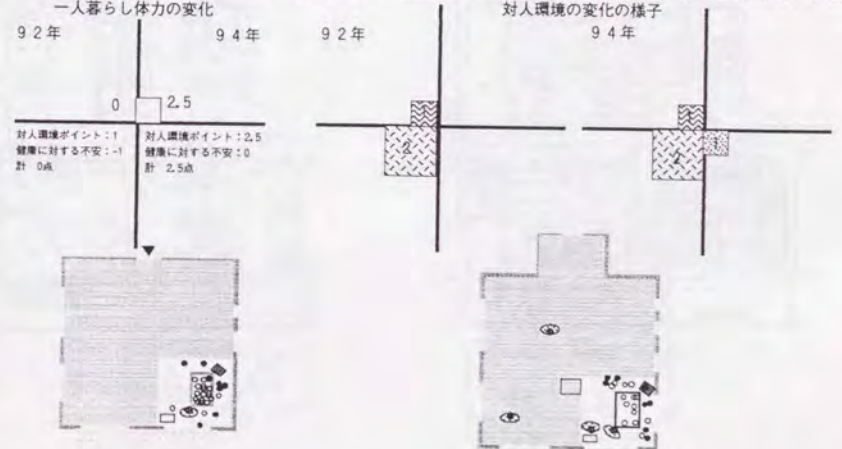
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
足立区の友人、仕事時代の友人		
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人、医師など、漢方医の先生	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	息子	姉、妹
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
仕事時代の友人、接骨院で知り合った友人		
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人、医師など	ヘルパーさん
	接骨院の先生、漢方医の先生	

<人との関わり方の類型>



\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



データ番号 SA10

性別 F 年齢:92年時 85歳

健康状態

ADL13  
腰を痛めて午前中接骨院。  
特に問題はない。

健康状態94

問題なし。  
接骨院通いは続いている。

日常生活

7時に起床。午前中接骨院。週2回仲の良い人と待ち合わせてディホームに行く。半分世話係り。隣のおばあさんと巣鴨に行ったり、友達と浅草、日比谷新宿に行ったり。バス路線に詳しいので案内役。王子で大正琴を習う。ベランダで園芸。7時ごろ子供たちに電話。夜はテレビや新聞。

日常生活94

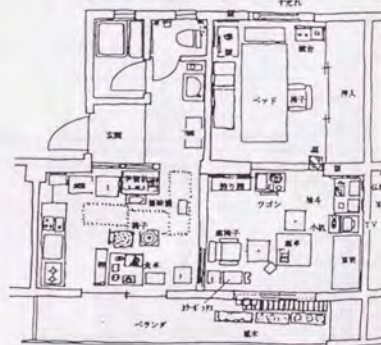
月、木はディホーム曲を（人の世話をしたりする）、水曜日は6:00から8:00まで俳句の会。接骨院:週2、3回。帰りに買物。ディホームで大正琴を教える。ホームにあって誰も弾けないので半年間基本だけ習って来た。今でもその時の友達とつきあう。日中退屈すると弾く。後は、くすたまづくり、テレビなど。夜1時ころまで起きている

人環境

子供:二人の子供が交替で泊に来る長男の嫁:買い物をしてもらったり隣のおばあさん:行ったりきたり。一緒に巣鴨に行く。大正琴の友達:遊びにも来る。近所の人:遊びに来る。植木のやり取りをする友達もいる。ディホーム:色々なことを教えてもらえる。

人環境94

息子:訪問中に電話。出張で東京へ来ている。水戸への誘い。泊に来ることも。孫:あまり来ない。嫁さん:3人いるけど誰も呼んだことはない。友人、ディホームの友人:旅行、遊びに行く。大正琴の時の友人:新しい曲のメロディーをテープにとってもらったり今年100歳の弁護士のおじさん:お祝いのパーティに行く。煙草をやめて100まで生きると言われた。隣のおばあさん:(自分が)忙しいのであまり来ない。



SA10

性別/年齢

2年後の様子

具体的な病気の有無 △  
体力の低下に関する言葉

具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表わす指標とした。

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	二人の子供が交替で泊まりに来る	
友人	仕事、サークル等への参加	近所の友人
大正琴の稽古の友達		隣のおばあさん 植木のやり取りをする友人
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん
	ディホームの友達	

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	息子	おじさん、その家族
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
ディホームの友人 大正琴の稽古の時の友達		
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん
	ディホームの友達	

<人との関わり方の類型>

家にかかる 2点  
 家にかかる 1点  
 家の外で交流 0.5点  
 家の外で交流 0.5点  
 ポイント 2点 1点 0.5点 0.5点

\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



SA10

データ番号 SA11

性別 F 年齢:92年時 67歳

**健康状態**  
ADL 13  
問題なし。

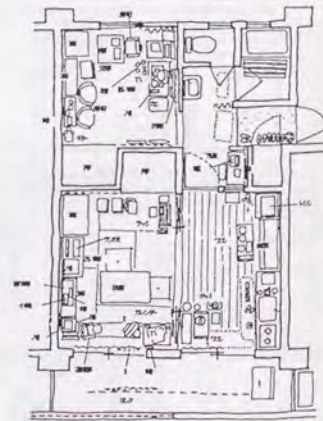
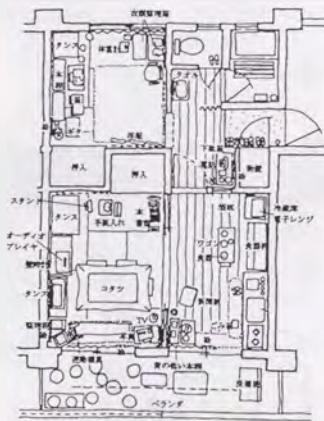
**健康状態94**  
極めて健康。  
医者嫌い。歯だけは1年前に(歯医者へ)。風邪をひいたら風邪薬で治す。  
「健康なんです」  
暦の中に予定を書いておく。「それでも忘れたり」  
脚立を2つ。一気に降ろすと腰をやられたりするので、一度中継地点を作るために2つにした。

**日常生活**  
運動が好きで、毎日散歩や運動のサークル等。(体操、卓球)  
家にも運動の用具がある。  
エッセイを書くのが趣味。区のエッセイクラブ、朝日カルチャー、NHK文化センターなどで習う。  
区のボランティア。おばあさんと、ダウン症の娘のいる家庭のサポート。毎日予定がたっている。元小学校教員。勤労の会にも所属。

**日常生活94**  
エッセイは月に回の締切。運動は体操のサークル、家で。体操のサークルの後、友達と家で宴会をすることも。家での運動は「機具を見かけるとすぐやっちゃう。」歩くのが好き。ソーデーマーチなどにも参加。10分間ドリルを色々買ってきてやってみる。ボランティアも続けている。  
芝居や、買い物したり、旅行したり

**人環境**  
息子、兄弟：  
隣の人：ベランダ越しに物のやり取りをするようにつきあひ。  
友人：エッセイなどでの友人。遊びに来ることも。時々、駒込の店まで飲みに行く友人も。  
ボランティア：ケアしている人やその家族との交流。

**人環境94**  
息子：正月に来た。孫：3.3歳と1.2歳。年に1度か2度泊に来る。弟の妻：妻の母親が具合が悪くなったとき泊に来ていた。  
ボランティア先 おばあさん：今は必要ないのだが「何かあったら」と思わしく切れない。家族：娘の送り迎えの手伝い。  
ボランティア交流会：出ない。その様な交流は求めているない。  
旅行：旅行会社に申し込んで、一人でも。学校の職員仲間：年1回OB会。エッセイや体操の友人：良く来る。家で宴会なども。



SA11

性別/年齢  
F 67

2年後の様子

具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

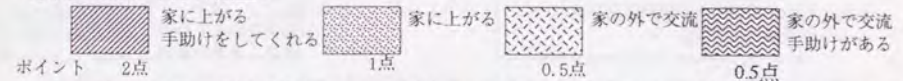
具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表わす指標とした。

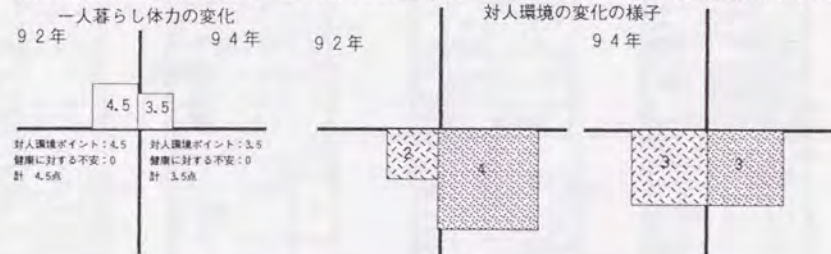
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	息子	兄弟
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
エッセイの友人等	カルチャークラブ、体操クラブの友人	隣の人
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	息子、息子の家族	弟の孫
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
エッセイ、体操クラブの友人	カルチャークラブ、体操クラブ、ボランティア、教職時代のOB会	
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

<人との関わり方の類型>



\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。





データ番号 **SN1**

性別 **F** 年齢:92年時 **80歳**

健康状態

ADL/12  
時々眼科へ行く。  
他は特に問題なし。

健康状態94

夫の没後2度入退院。訪問時、3週間ほどの入院の直後。老人性の脚気。  
布団の上げ下ろし自分で。  
昼寝をして体を休める様に医師から指導された。

日常生活

訪問時の3カ月ほど前に夫没。(ヒアリング前のアンケート調査には夫と回答を寄せる)  
彫金師だった夫の遺品や形見の整理  
毎日の生活は夫が存命中と変わらない。汚れてなくても掃除。  
夫の仕事中心の生活だったので趣味もない。これからやろうかとも思う。  
テレビを見て過ごす。

日常生活94

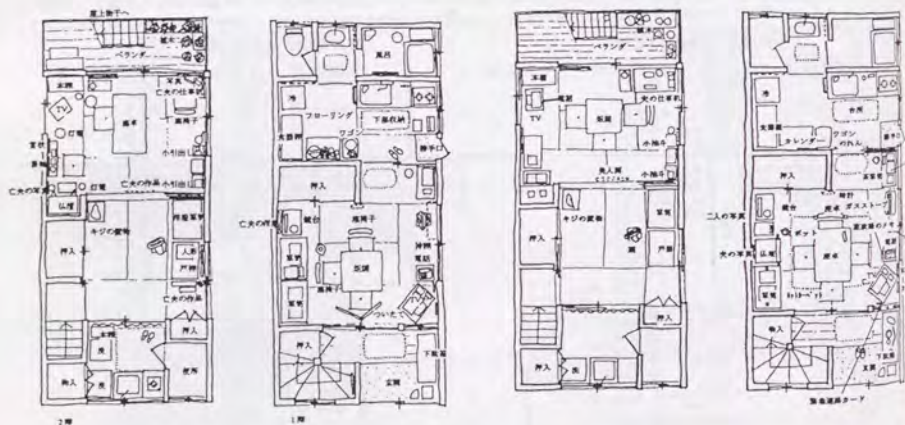
朝は6時に起きて掃除。きちっとしていないと気が済まない。掃除をしながら朝食の支度。身だしなみ、頭をゆって。(夫が好んでいたから) 昼間は昼寝をして体を休める。  
テレビを見たり。  
ヘルパーさんとおしゃべり、散歩。  
小さい惣菜を使うようになる。

人環境

松戸の長男、千葉の次男が良く来る。およめさんが良い人です。谷中の次男は来ない。およめさんも悪い。  
夫の弟子が、お参りに来る。(新盆)  
夫の作品を博物館に出そうと行ってくれる元お得意さんが来てくれる。お隣とは古いつきあい。(夫がお不動様を彫ってあげてから喜んでくれている)  
前の家の人との関係は悪い。友達はありません。

人環境94

長男、次男、長女、良く顔を出す。(仏壇を一階に降ろしてくれて住みやすく整えてくれた。) 子「子供がいつ来るかと思うと家は開けられない」  
3男滅多に来ない。  
ヘルパーさんを頼むようになる。しかし、自分でする癖が抜けず、おしゃべりの相手など。  
夫の弟子は来なくなった。  
病院の先生や看護婦さんを頼る。  
隣の人、退院してすぐ風呂の火のつけ方を忘れて教わったり世話に夫の姉妹、見舞や電話。



SN 1

性別/年齢  
F 80

2年後の様子

具体的な病気の有無

具体的な病気の有無  $\triangle$

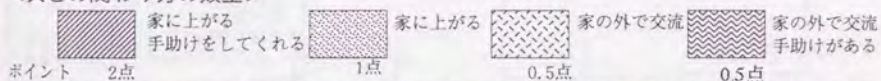
体力の低下に関する言葉

体力の低下に関する言葉  $\blacktriangle\blacktriangle$

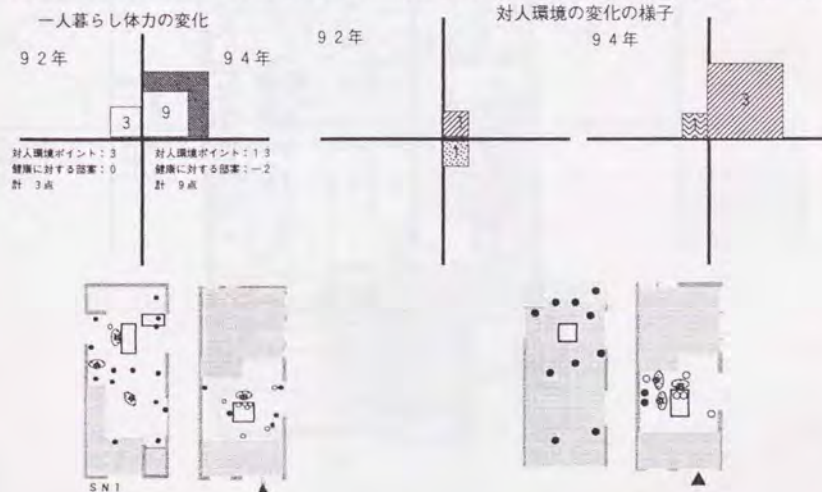
\* $\triangle$ は1点、 $\blacktriangle$ は0.5点として体力の低下を表す指標とした。

同居家族等	子供	兄弟姉妹他	同居家族等	子供	兄弟姉妹他
夫没直後	長男 次男 お嫁さん			長男 長女 次男等	夫の姉妹
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち	友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
	夫の弟子 夫の得意先	隣の人			隣の人
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん	行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん
				診療所の医師 看護婦さん	ホームヘルパーさん

＜人との関わり方の類型＞



\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



データ番号 SN3

性別 F 年齢:92年時 80

**健康状態**  
ADL/13  
糖尿だが、特に問題はない。

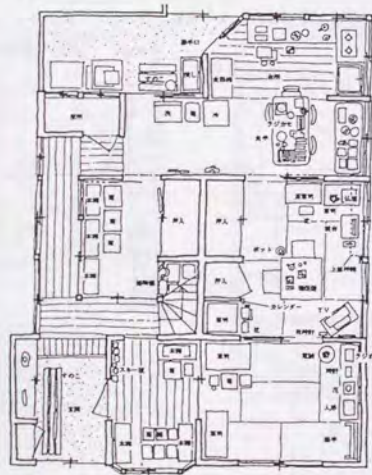
**健康状態94**  
糖尿病だが良好。妹も糖尿と一緒に病院へ通う。

**日常生活**  
戦後、部屋賃をしていた頃からの同居人と暮らす。その賄い、掃除等変わらずに続く。  
朝食を隣に住む妹と、夕食は同居人とする。  
友達や妹、近所の人の出入りが多い。

**日常生活94**  
同居人の世話。一緒に食事をしたり、テレビを見たり。  
隣の妹と朝食、外出など。  
  
趣味のサークルなし。老人会は一切行ったことがない。若い頃は編物など。本を読むのも疲れる。テレビを見てごろごろ。たまにお芝居。近所の古い友達のところへお茶を飲みに行く。

**人環境**  
同居人：食事の世話、夕食は自分の居間で一緒に。  
妹：隣に住んでいて頻繁に行き来。朝食と一緒に。良く二人で出かける。  
友人：良く家に集まる。遊びに行ったり旅行に行ったり。  
近所の人：良く集まってお茶を飲んだり。

**人環境94**  
同居人：前と変わらず。  
妹：変化なし。  
友人：今でも4、5人は来てしゃべったり。(吉祥寺の友人に電話をすると皆集まる)  
近所の古い友達：2、3日に一回お茶を飲みに行かないと「どうした?」  
皆、裏から「いるー?」と言って自分の家のようにして入ってくる。  
(裏は開けばなし)  
妹の娘を養女に。その娘や、孫なども。正月などは妹の子供も全員集まる。



SN3

性別/年齢  
F80

2年後の様子

具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

具体的な病気の有無 △  
体力の低下に関する言葉

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表す指標とした。

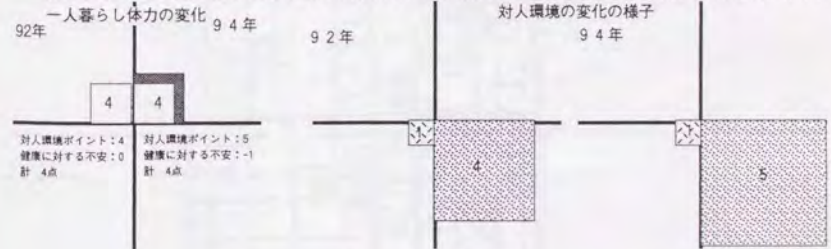
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
下宿人		妹
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
集まる旅行も		集まってお茶等
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
下宿人	養女	妹 妹の子供たち等
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
昔の勉強会の仲間		自分の家のように出入り
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

<人との関わり方の類型>

家上がる 手助けしてくれる 2点  
 家上がる 1点  
 家の外で交流 0.5点  
 家の外で交流 手助けがある 0.5点

\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



データ番号 SN 4

性別 M 年齢:92年時 72歳

健康状態

ADL11  
健康に問題はない。(糖尿ざみ、食事コントロール)  
毎日午前中は運動。

健康状態94

特に問題はない。  
年をとると変化がとろくなってくる。  
ジョギングのとき信号で調子が狂ってしまう。

日常生活

毎日語学の勉強と体を鍛えるためのトレーニング。  
午後は、本を読んだり散歩。一番風呂で銭湯へ。テレビを見たり、本を読んだりして就寝。  
昭和22年以来現在の所に下宿。  
毎年冬にヨーロッパへ。

日常生活94

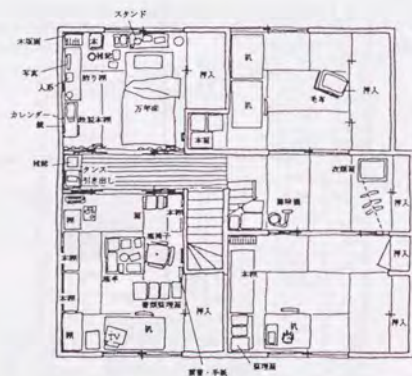
「生活上の変化は殆どない」  
毎朝語学の勉強。(ヨーロッパに行く限りは独仏伊。スペイン語には手を出せないでいる) 毎日の運動。遊びたいばかりに鍛えている。冬のアルプス旅行など。「だめになったらかえって幸せ。よたよたになるよりいい」長期の旅行、いきなり行ってしまう。

人環境

兄弟：北海道に。ほとんど会わない。  
下宿のおばあさん(80歳)：ずっと跡や掃除などの世話をしてくれる。今はただ一人の下宿人。一緒に食事をしたり、テレビを見たり、昼寝をしたりもする。  
友人：大学時代や学会(かつての勤め先)時代のつきあい。  
山へ行った仲間。

人環境94

下宿のおばあさん：変わらない関係。おばあさんの妹やその子供とも交流あり。  
昔の仲間：一番会うのは葬式の時。銭湯：なじみの顔はある。話はしない。  
近所：つきあいはあまりない。  
泉マコのパーティに先月行く。カナダの国際探検家の家の関係。(趣味の旅行からの発展)  
物理学会関係の人との交流も健在の模様。「有馬さん、この前も会いましたよ」



SN 4

性別/年齢  
M 72

2年後の様子

具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉 ▲

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表わす指標とした。

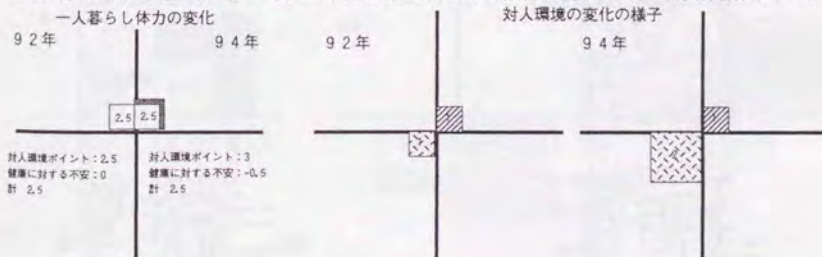
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
下宿屋のおばあさん		
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
大学時代等のつきあい出での仲間		
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
下宿屋のおばあさん		
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
昔の仲間 旅先でできた友人	国際探検家の家、物理学会の人	
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

<人との関わり方の類型>

家に上がる 手助けをしてくれる 2点  
 家に上がる 1点  
 家の外で交流 0.5点  
 家の外で交流 手助けがある 0.5点

\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



2年後調査は図面を見ながらの聞き取り調査のみ。ほとんど変化していないと判断。

データ番号 **SN5**

性別 **F** 年齢:92年時 **79**

**健康状態**  
ADL: / 13  
背から首にかけて変形。「見られるのが嫌なので表通りを歩かない」

**健康状態94**  
首筋、さらに悪化。姿勢が変形し、座卓の高さが合わず、自分の寝具を天板の下に置き、高さを上げている。一人で歩くのがこわい。コインランドリーに手が届かず、友人と一緒に歩いてもらう。乗り物が怖い。原因不明の腹痛にしばらく悩まされる。病院で検査、針でなおす。近々、娘のところへ移る予定。

**日常生活**  
宗教活動。仏壇前を整えるのが大切な日課。マンションの駐車場の管理。集金から経理まで全てやる。仕事で銀行へ。マンションの管理も。必ずメイク。人に不安を与えないように。日記を兼ねた金銭出納帳を必ずつける。

**日常生活94**  
仕事、宗教など基本的に2年前と変わりはない。「休む時間はない」「自分で忙しかけている」「仕事などで、娘のところへ行くのも今年いっぱいには動けない」人の文章で良いと思ったのは書きとめる。悩み、結婚の相談、体が動かないから今はやめている。ドアを開ける前に必ずメイク。

**人環境**  
子供達：良く来る。現在も子供達の指導をする立場。  
孫：恋人を連れてきたりもする。人の相談に乗ったりする。  
宗教関係の人の出入り。

**人環境94**  
子供達：2年前と同じ。  
3女：自宅へ本人を引き取る様に3世帯住宅を建てている。  
友人（吉田さん）：良く来ておしゃべりなど。一緒に出かけたり。（宗教の友人）コインランドリーと一緒にしてくれる。  
お手伝いさん：具合の悪いとき、1月からついこの間まで。  
マンションの住人などの出入り：管理の仕事をしているため。  
親戚の子：具合の悪いとき病院へ一緒に行ってもらう。



SN5

性別/年齢  
F79

2年後の様子

具体的な病気の有無  $\triangle$   
体力の低下に関する言葉  $\blacktriangle$

具体的な病気の有無  $\triangle\triangle$   
体力の低下に関する言葉  $\blacktriangle\blacktriangle\blacktriangle\blacktriangle$

\* $\triangle$ は1点、 $\blacktriangle$ は0.5点として体力の低下を表わす指標とした。

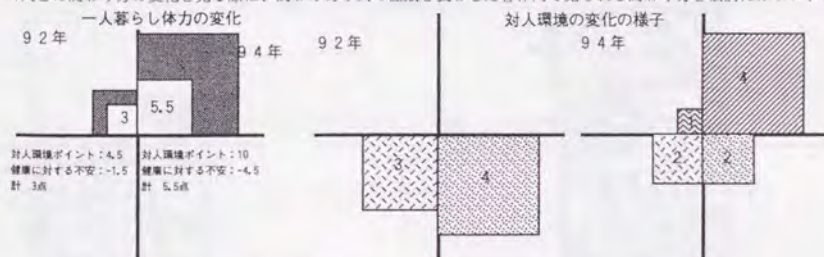
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	娘たち 息子	孫娘たち
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
宗教関係 女学校時代の友人	宗教 仕事	管理人をする 関係上よく来る
行き着け、 顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	娘たち 息子	孫娘 「親戚の子」
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
宗教関係の友人	宗教 仕事	管理人の 仕事上出入り
行き着け、 顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん
	根津診療所の 先生	体の悪いとき 頼んだ

＜人との関わり方の類型＞

家に上がる 2点  
 家に上がる 手助けをしてくれる 1点  
 家の外で交流 0.5点  
 家の外で交流 手助けがある 0.5点

\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたものを。



データ番号 SN 6

性別 F 年齢:92年時 77

**健康状態**  
ADL/13  
良好。

**健康状態94**  
血圧が高い。(週1回医者に)一人暮らし、病気の時は心細い。以前無熱性肺炎に。耳が遠くなる。電話をコードレスにして手元に置くようにして快適。物忘れがひどくて。

**日常生活**  
午前中、上野を一回り(松坂屋や吉池など)昼寝後、日本舞踊を教える。(週4回)民謡も教える。詩吟、ダンスなどを習う。月1回「八千代会」の旅学会。ほかの時間はテレビ。テレビが好き。

**日常生活94**  
午前中、上野を一回り。昨日は友達と一緒に広小路を遊び歩いていた。踊り、民謡の師匠を続ける。詩吟は喉を痛めて、ダンスは人が集まらなくてやめる。昼食、「思いきりテレビ」、昼寝。それから稽古。夜、テレビ。夢中で見てしまう。マッチが好き。毎月旅行。(今日も3時から来月の旅行の下準備。自分の家に集まる)

**人環境**  
近所に住む娘：頻繁に行き来。連絡せずに行く。  
近所：茶のみ友達、踊りの仲間。町会の役員をする。  
用があると昼寝をしても黙って入ってきてしまう人もいる。

**人環境94**  
娘：食事中などに来て、用だけ済ませてすぐに帰ってしまう。先日も「お金貸して！」(訪問日は、二人で昼食の約束)話し相手。  
孫娘：家の鍵があいていないときなど来ている。  
踊りの友達、舞クラブの人がやってくる。(「連中」)  
近所の86、7歳のおばあさんの所へ週1、2回行って笑わせてくる。  
近所の94歳のおばあさんが鰻や海老フライをくれる。(嫌いだから)



SN 6

性別/年齢  
F 77

2年後の様子

具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

具体的な病気の有無 △  
体力の低下に関する言葉 ▲▲▲

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表す指標とした。

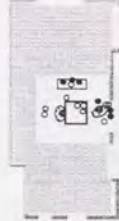
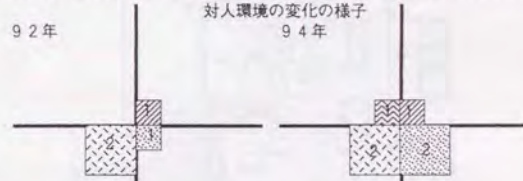
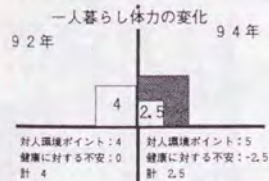
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	娘	
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
茶飲み友達、踊りの仲間	踊りの師匠、町会の役員	黙って入って来ってしまう人も
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人、医師など	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	娘	孫娘
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
踊りの友達、クラブの仲間	踊り関係の団体、町会	近所のおばあさん達と交流
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人、医師など	ヘルパーさん

<人との関わり方の類型>

家へ上がる  
 家へ上がる  
 家の外で交流  
 家の外で交流  
 ポイント 2点                      1点                      0.5点                      0.5点  
 手助けをしてくれる                      手助けがある

\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



データ番号 **SN7**

性別 **F** 年齢:92年時 **75歳**

健康状態

ADL 10  
良好。

健康状態94

良好。「悪いところはないが、医者がかたまには来なさい。と言って」カルシウムとビタミン剤を貰う。骨がかたかただが、(骨粗しょう症ということか) 血圧は安定している。

「だんだん、横着になってやになってきた」夜の階段は錯覚を起こしてなんか変。

日常生活

5時ごろ隣のマンションの外明りを消しに行き、8時まで寝る。「宵っ張りの朝寝坊」テレビはつけっぱなし。一人娘が嫁いで以来一人。娘は難病(多発性筋硬化症)昔は書道、造花、人形造りなど。今はやっていない。老人会の役員もやめた。行き当たりばったりに生きる。「八千代会」で定期的に旅行。

日常生活94

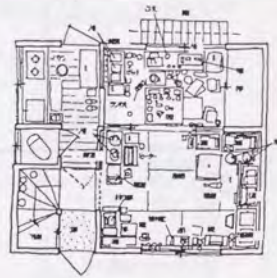
マンションの明り消し。簡単な朝食:娘のお勤め時代からの習慣。テレビをつけっぱなしの日中。「自分勝手にやる」テレビが一番好き。気が向くと展覧会や美術展。11月23日の早朝は文京一葉会。

人環境

娘:最近行っていない。隣の弟:あまりつきあわない。兄を頼る。友人:すぐ近くの友人が勝手に入ってきてお茶を飲んだり。時々食事に行ったり。近所の人:おかずを持ってきてくれる人。名前は知らないのだが玄関先のつつじの写真をとってくれた人。下宿人:二階に夫婦者が下宿。

人環境94

娘:病気を得てから17年。孫娘:月一回くらい来る。泊らない勝手に入ってくる友人:阿佐ヶ谷に越してから行き来はない。近所の人:「前の奥さんがコーヒーの宅配といって、週一回くらい。越してきたときからの昔なじみとの交流。4、5年前に越してきた現在80歳のおばあさんと深い交流。家に上がったりはしない。銭湯仲間:銭湯だけではなく、温泉旅行に。「きれいなおじいさん」と知り合う。



SN7

性別/年齢  
F 75

2年後の様子

具体的な病気の有無

体力の低下に関する言葉

具体的な病気の有無

体力の低下に関する言葉 ▲▲

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表す指標とした。

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
間借りの方 夫婦者	娘	兄
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
近くの友人 黙って入って来る	旅行会	おかずをくれる人も その他知り合い
行き着け、 顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

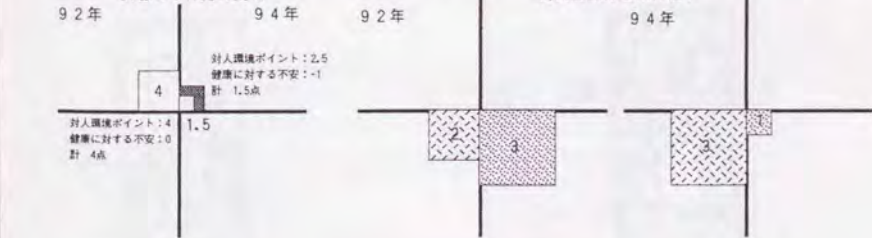
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
間借りの方 女性	娘	孫娘
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
80の女性 銭湯仲間	旅行会	コーヒーを くれる人 昔なじみ
行き着け、 顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

<人との関わり方の類型>

家にかかる  
 家にかかる 手助けをしてくれる  
 1点  
 0.5点  
 家の外で交流 手助けがある  
 0.5点

\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。

\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



データ番号 SN 8

性別 F 年齢:92年時 76歳

**健康状態**  
ADL/11  
特に問題はない。

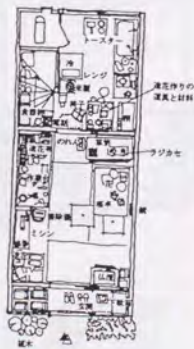
**健康状態94**  
血圧が高いので2週間に1回医者。年1回、東大で検査。だんだんと体力がなくなる。足の力がない。座って立つときの力がない。上げた足が上がっていない。まっすぐ歩こうとも歩けない。

**日常生活**  
毎朝、散歩とラジオ体操。朝食後はサークル、クラブ、ゲートボール。昼食後もクラブの集まりなど出かけることが多い。造花やパッチワーク、ペーパーフラワー等の趣味。老人クラブで習い、家でも制作。

**日常生活94**  
朝はラジオ体操、散歩。老人クラブの役員。造花の趣味。ゲートボールは去年の夏風邪をひいて以来やっていない。寿会館の役員の仕事も多い。造花の材料は2週間に1回くらい浅草橋まで買いに行く。読書が好き。子供達と話し読み。ジャズを聴くことも。昼間は疲れて寝ていることも。夕方銭湯。お風呂の友達と。夜、友達が来ることもある。

**人環境**  
6人の子供：別居。交替で見に来てくれる。  
隣近所：挨拶程度、出かけるときに声をかける。  
老人クラブの友達が来勢。遊びに来ることも。  
老人クラブの役員。

**人環境94**  
娘：時々様子を見に来る。  
子供：お正月やお盆に来る。  
隣の人：民生委員をしていて、息子の電話番号を教えてある。  
朝の散歩友達：5、6人で。  
銭湯友達：万一のことがあると誰も知らない人の中じゃ。  
クラブの友人：造花がわからない時、電話をかけてきて夜来ることも。10時くらいまでいる。  
寿会館：造花を教える。老人クラブの役員。



SN 8

性別/年齢  
F 76

2年後の様子

具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

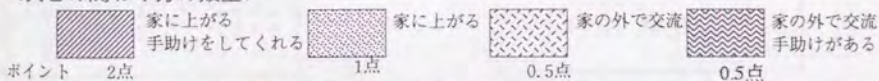
具体的な病気の有無 △  
体力の低下に関する言葉 ▲▲▲▲

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表わす指標とした。

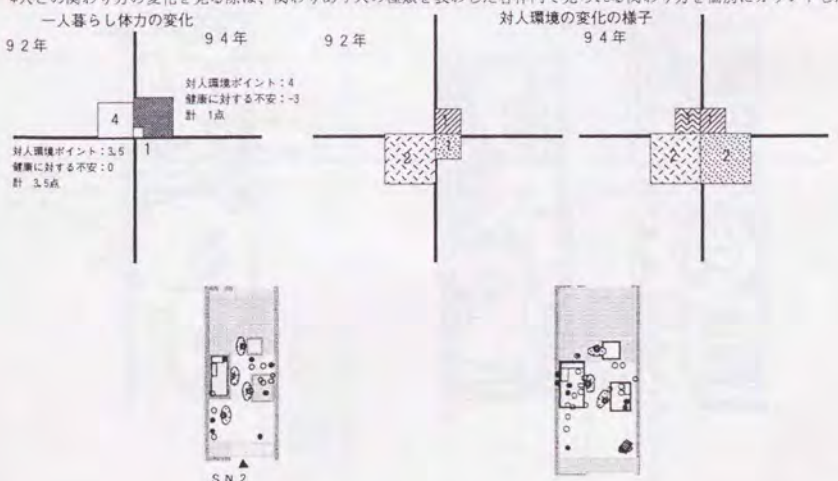
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	6人の子供	
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
老人クラブの友人	老人クラブの役員	挨拶程度出かける時声をかける
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	娘 その他の子供	
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
クラブの友人	造花を教える老人クラブの役員	隣の人 銭湯友達
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

＜人との関わり方の類型＞



\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



データ番号 **SN11**

性別 **F** 年齢:92年時 **65歳**

**健康状態**  
ADL:11  
良好。

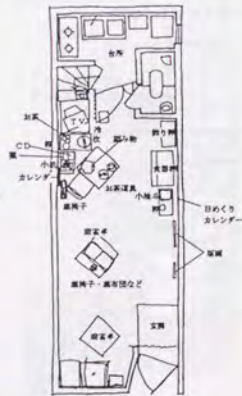
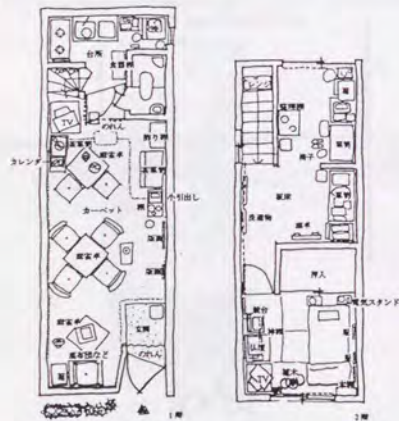
**健康状態94**  
バイト中に足を階段を上がりかけて足をねじる。昨年2月にやめて医者がよく。一時杖をつく。外歩きはしばらく控える。最近週2回くらい歩く。座りきりで太ってしまう。血圧高め。高コレステロール。

**日常生活**  
最近までマージャン屋。現在は町会の人で週2回程度来る。午前中、パートでビル清掃。午後は外出することが多い。思いつくとリュックを背負ってどこへでも出かける。毎日3時半に銭湯。常連がいる。趣味は読書と外出。

**日常生活94**  
編物を習い始める。昼間、CDを聴きながら編物。テレビは見ない。足を怪我して、銭湯に行けず、寿会館の風呂を利用するように。行った時、図書コーナーで本を借り、CDも借りる。年4、5回くらいコンサートへ、友達と。文化会館、芸術劇場。夕方は、客が来るかもしれないので部屋で本を読んだり、CD、テレビ

**人環境**  
千葉の息子：年6、6回来る。本駒込の娘：月3回くらい行く。町会の人：週2回くらいマージャンをしに。(なじみ) 両隣の人：親しいが上がり込んだりしない。外から声をかけてくれる。

**人環境94**  
千葉の息子：三田のNTT、泊まりの明けに寄る。1時間くらい。娘：時々1時間くらい来る。商店街の人：マージャンをしに。コンサートと一緒に友達：電話して行き来。お茶のみは嫌い。町の役員：立ち話をして色々な情報。店：良く知っているので小さな情報が入る。根津診療所：月2回、なじみの人としゃべる。



SN11

性別/年齢  
F 65

2年後の様子

具体的な病気の有無  
体力の低下に関する言葉

具体的な病気の有無  $\triangle\triangle$   
体力の低下に関する言葉  $\blacktriangle$

\* $\triangle$ は1点、 $\blacktriangle$ は0.5点として体力の低下を表す指標とした。

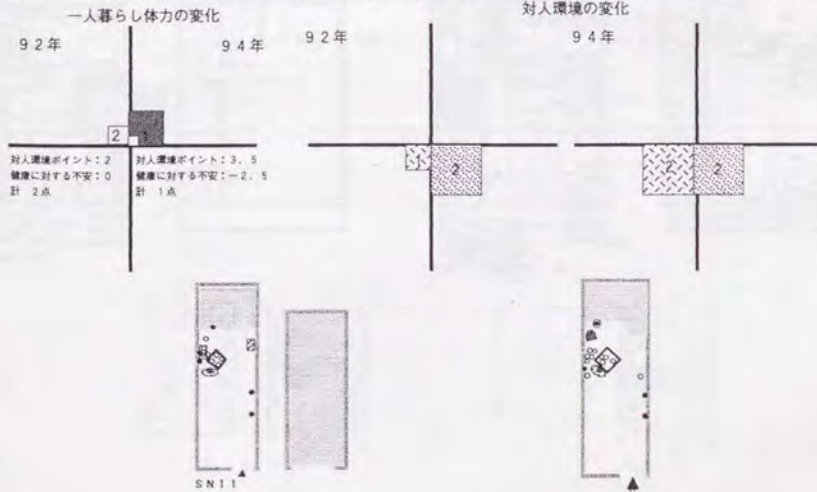
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	息子 娘	
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
	麻雀屋 町会の人がある	両隣の人
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	息子 娘	
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
コンサート 友達	編み物教室 麻雀屋	
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん
良く知っている町の役員と なじみ	診療所で なじみの人	

<人との関わり方の類型>

家へ上がる  
 家へ上がる 手助けをしてくれる  
 家の外で交流  
 家の外で交流 手助けがある  
 ポイント 2点 1点 0.5点 0.5点

\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。





データ番号 **SN12**

性別 **F** 年齢:92年時 **65歳**

健康状態

ADL/10  
腰を悪くしてしばらく動けなかった。以後、歩くようにしている。数十年来の不眠症。薬を服用しなくては眠りにつくことができない。

健康状態94

40年ほど前からメニエール氏病。心臓も悪く、5年くらい前から喘息に。不眠症。(月3回医者へ)最近、ストレス性の突発性難聴に。大塚病院に半年かかる。途中一週間入院、手術。これ以上良くならないので通院打ち切り。2年前にアキレス腱を切り、それが痛み出して神経痛に。毎朝7時に接骨院。

日常生活

早朝暗いつちから散歩。昼間は、読書をして過ごす。近所にできたマンションの住人等に対して良い感情を持っていない。一人暮らしということに気を使う様子。(外が暗くなると鍵を閉めて絶対にでない、等)

日常生活94

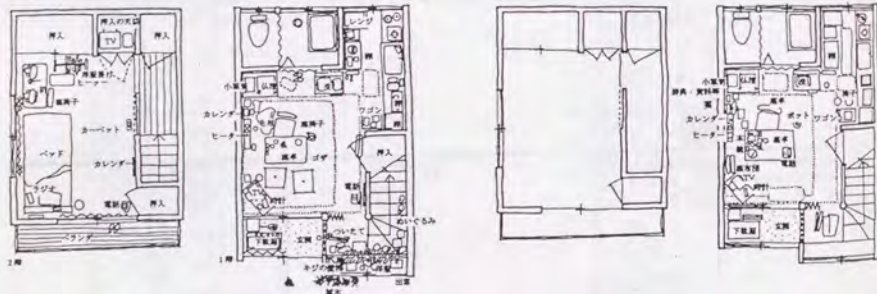
3時ごろ目が覚めて新聞が来るとうすぐ読む。早朝の散歩。そのあと接骨院。マンションの住人が挨拶をするようになり、交流が生まれる。読書(1日2冊)ともの書きが趣味。思い立つとどこまでも歩く。

人環境

次男の嫁:具合が悪くなったとき来てくれた。近所の人:腰を痛めたときご飯を運んでくれた。普段は立ち話程度。出かけるときは鍵を預ける。小学の同級生:良く来る。泊まったことも。月一度、旅行に行く。電話で長話。親戚(妹?)のところへ泊まりに行き寝薬を忘れて苦労した。

人環境94

息子:来るが1時間くらいで帰る。泊まらない。孫:来る。息子の嫁:週1回魚を届けてくれる。(実家が近くで魚屋)友人:「一人暮らしの所に何人も来て」という噂がたつて、外で会うようにした。週1回。月一回旅行。近所の人:外、玄関先。互いに迷惑をかけない。ちょっと覗いたり。裏のほう古いので深い付き合い。荷物を預かったり。おかずさんなど:一人だと楽なので利用。お客さんのおいていった本を借りたりもする。



SN12

性別/年齢  
F 65

2年後の様子

具体的な病気の有無  $\triangle\triangle$

体力の低下に関する言葉

具体的な病気の有無  $\triangle\triangle\triangle\triangle\triangle\triangle$

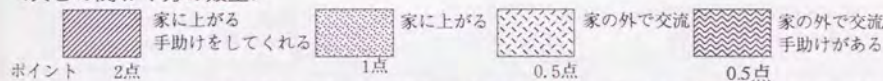
体力の低下に関する言葉

\* $\triangle$ は1点、 $\blacktriangle$ は0.5点として体力の低下を表わす指標とした。

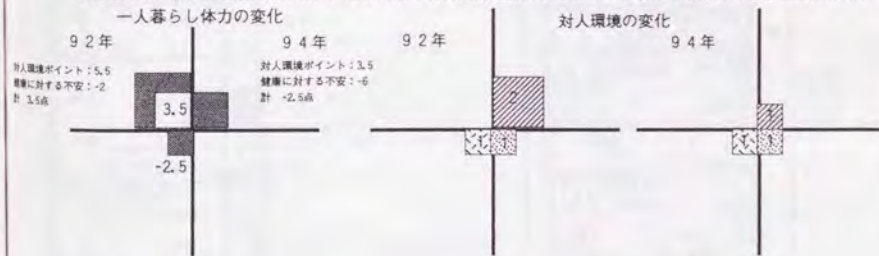
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	次男の嫁	妹
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
小学校の同級生		近所の人
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
	息子 息子の嫁	
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
小学校の同級生		声の掛け合い等 マンションの住人
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん

<人との関わり方の類型>



\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



データ番号 **SN13**

性別 **F** 年齢:92年時 **68歳**

健康状態

ADL 9  
9年ほど前に癌に。以来「痛み」に悩まされている。  
健康もすぐれない様子。  
月2回、診療所に。

日常生活

毎朝ラジオ体操に行く。かつては、花、盆景などを家で教えたりしていた。現在は殆どやらない。午前中、診療所に注射に行ったり。週2回湯島の健康センターへ送迎バスで行く。10時ごろに就寝。

人環境

未婚。  
姉：隣に住んでいるが交流はない。2階の同居人（男性）力仕事などを手伝ってくれる。  
姪：姪が小さいとき作ったという人形が座のそばの椅子にある。  
兄等：医師をしているという親類が会話の中には頻繁に出てくる。  
隣近所：つきあいはない。  
ホームヘルパー：一日おき、2時間づつ。

健康状態94

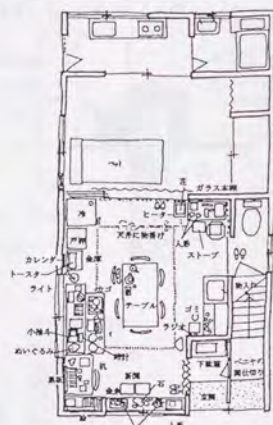
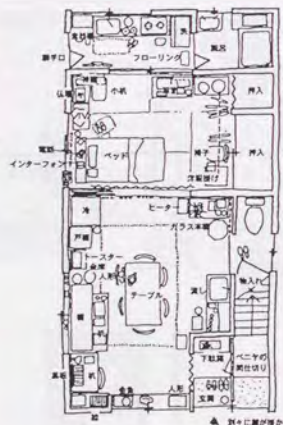
隊長を崩し70日間入院、手術。今回訪問は退院2週間後。体が痛い。2週間に1回通院。昨日痛みの薬を取りに行った。前回の手術の抜糸の失敗から痛みなどの精神的なダメージが始まったと思う。下を向いたりすると痛い。骨粗しょう症になりかかり。「年をとるといいことありますかあ」

日常生活94

花で絵を描くことを考えついでいろいろな花を集めて下絵を描いて作業を始める。富士山の絵の間違えも直そうと思う。「やる気になった。」経理の仕事（上の人の仕事）体の調子で2時間続けたり。（手のふるえがなくなってよくできる。音楽を聴きながらやることも）音楽を聴くと体の芯がすっきりとする。退院後葉がでていたサツマイモを栽培。

人環境94

2階の同居人：入院中必要なものを届けてもらった。電話する時間を決めて、連絡した。病院には甥ということにした。面倒だから。用心のためにしてもらおう。父の存命中から。お金は貰っていない。病院：洗濯はお金を出してやってもらおう。あとは完全看護。福祉社の人（ヘルパーさん）：生活のサポート。一日おきにきてもらう。  
親類：あまり来ない。  
友人：あまり来ない。



SN13 性別/年齢 F 68

2年後の様子

具体的な病気の有無	△
体力の低下に関する言葉	▲

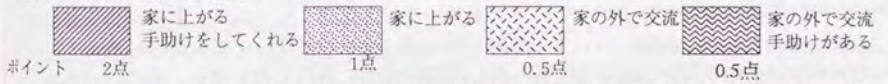
具体的な病気の有無	△△
体力の低下に関する言葉	▲▲▲

\*△は1点、▲は0.5点として体力の低下を表す指標とした。

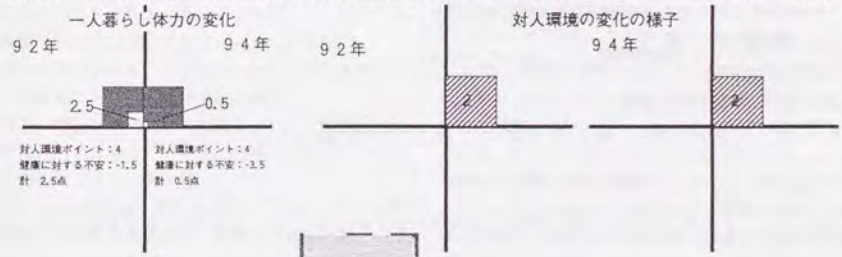
同居家族等	子供	兄弟姉妹他
2階に同居人		姪、兄
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん
	健康センターへ	一日おき

同居家族等	子供	兄弟姉妹他
2階に同居人		
友人	仕事、サークル等への参加	近所の人たち
行き着け、顔見知りの店	地域施設の人 医師など	ヘルパーさん
		一日おき

＜人との関わり方の類型＞



\*人環境ポイントは、関わりあう人のそれぞれの枠内でポイントの高い方をカウントし総合的な人環境として得点化したもの。  
\*人との関わり方の変化を見る際は、関わりあう人の種類を表わした各枠内で見られる関わり方を個別にカウントしたもの。



## II. 核家族世帯への個人空間に関するアンケート調査 (第6章以降に関係)

### 1. 調査概要

#### □調査時期

1993年11月、12月

#### □調査対象

大学生とその家族

#### □調査方法

##### 第1段階

大学生に対して自宅の平面図(家具及び家具名称を含む)

##### 第2段階

平面図をコピーしたものに家族の各成員の居場所(「座」)を一人につき1枚あてて描いてもらう。

同時に家族の各成員の行為を書き加える。

それぞれの行為を行うのに必要なモノの在処を明記する。

各自の部屋しについてはそれぞれ、詳しい家具の配置やモノの状況を表記する。

以上の様な調査を、学生に対し、趣旨の説明と細かな教示を行いその上で家族を対象としたアンケート調査を行った。アンケートは家族の状況を把握していれば、学生が書き込んでもよいものとした。家族についての資料の回収時に補足のヒアリングを学生に対して行った。調査は20の家族を対象として行った。今回の分析に使用したものは、その内「夫、妻、その子供」という家族構成の「核家族」10例について行った。

### 2. 調査データ

#### 2・1 住居内部図面

#### 2・2 住居内での「座」の分布と「座」での行為

2・1、2については、第5章中に全てのデータを示しているため、本文を参照のこと。

(参考)『場の概念による核家族の住空間の研究』

## 場の概念による核家族の住空間の研究

○ 正会員 古賀紀江  
同 高橋鷹志  
同 鈴木 毅

1. 研究の目的 本研究は、住まいの中で個人の行為が行われる「場」に注目して核家族の住空間の検討を行うことを目的とする。「場」は個人の行為が住まいのある特定の「場所」に関連して発生するとき、その行為の起こる「時」、「状況」に条件付けられた個人と環境(物的環境+対人的環境+社会文化的環境)との関連である。研究では特に物的環境との関わり方の特徴を捉え分析を行った。即ち本研究は従来の住み方調査を場の概念に基づいて行うものである。日常生活の中で発生する「場」の個々人の形成状況が分析の対象であること、有る行為に対応する空間は場所と行為に関連する「もの」の住居内での位置関係で表され、必ずしも「室」ではないことが本研究の持つ新しい視点である。

2. 研究の方法 「場」の記述にあたり、場の生起に関連する物的環境の手掛かりを本研究では「マーカー」(参考・1)と呼ぶ。「マーカー」とは、ある行為を行うときに1)住まいの中のどのような場所に居場所を定めるか。2)行為に使うものは環境の中にどのように組み込まれているか。3)それらはその行為を行うときのやり方としてどのように反映されているかを示すものである。

□分析対象と調査方法 大学生のいる核家族を対象とした場の概念に基づいた住まい方のアンケート調査を行った。(一部ヒアリングを含む。)

調査対象: 建築学科の大学生20名とその家族全員

調査実施: 1993年11月から12月

調査内容: ①自宅の家具を含む1/50の平面図

②家族の成員毎にコピーした平面図内に行為をする時、関わる環境を「マーカー」に基づき記入する。

3. 分析 今回は8家族27名分について分析を行った。図面中に記された場をマーカーのみで表現した図を場の形成の様子のマップとした。(図・②)

(1)「場」の形成の様子からの分析 ①場が形成される空間と場所: 場は基本的に共用の空間と自身の「専有の空間」内の場所に場を形成する。しかし、ある個人の専有の空間とされる空間に他の家族が場を形成する事もある。場が形成される場所: 座具やテーブルと座具の組み合わせ。作業等ができるだけの広さが確保された床面。ベッド等の固定された道具。個室ではさらにベッド等が加わる。

②個室で生起する場の属性による特徴: 大学生の個室では場が形成される場所がいくつかあり、行為の密度、道具等を整える場をたいてい持つ(10/12)。高齢者は場を形成する場所の数が少なく、かつその場所において全ての行為が行う傾向が強い\*1。(参考・2)③個人空間: 自室から共用の空間へものを持ち込む様な広がりのある場の形成がある。場には、行為の重なり方や場を形成する際の環境との関係の仕方等による軽重や広がりがあると思われる。個々人が住戸内で形成する場を中心に「個人空間」を類推する事が可能と考えるが、以上の理由から個人空間は密度的に均一なものではないと考えられる。

(2)「場」の概念に基づく行為の分類による共用の空間の分析 行為を、空間に付与された意味と物的環境との関係の仕方に注目して分類した。即ち行為の際、「もの」が必要かどうか、「もの」をセッティングする行為の有無によって捉える。この視点により、家族の共用の空間の特徴について記述された行為からの分析、検討を試みた。

□「もの」との関係に注目した行為の分類と分析:

(A)セッティング有り「もの」は同じ部屋の中にある。OK:7/F:3/S:11/12行為を行う部屋の中に必要なものがある場合、共用の空間に置かれる家族共用の機器等に由来する行為が殆どである。しかし、母親には自分の行為の道具が共用の空間にある例が多い(5/3)。父親は1/7、子供世代は20/12。

(B)セッティング有り「もの」は手元に揃っている。OK:2/7.F:1/3.S:1/9/12両親にのみ見られた。M:30.1,2NO.2の場合、共用の空間に自分の机がある。F:30.5 次の部屋をする前に道具が収納されている。

(C)セッティング有り「もの」は他の部屋にある。M:3/7.F:6/3.S:1/11

他の部屋にある様な場合の行為は勉強や読書、趣味などである。割合は母親に多い。

(D)セッティングなし。ベッド等に対応。

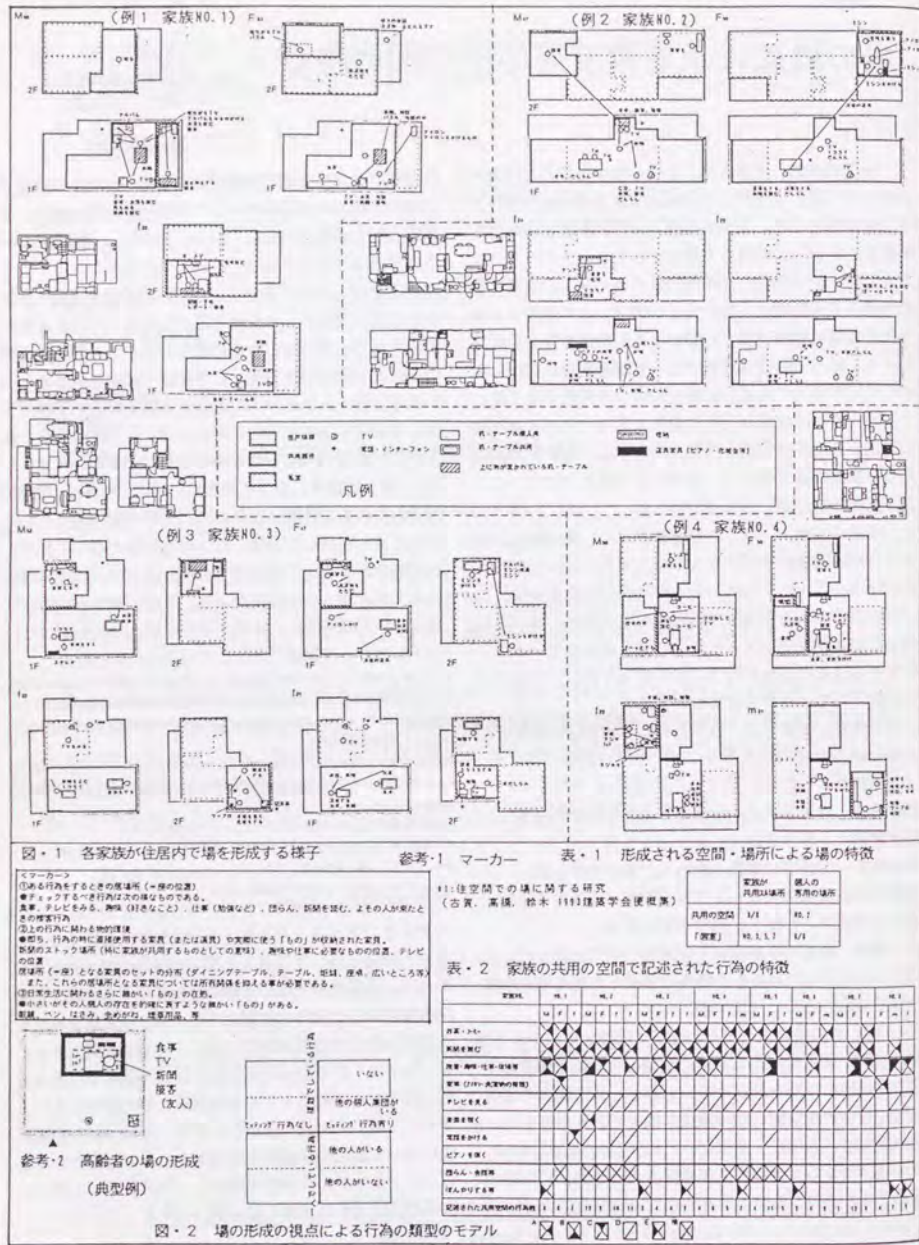
(E)セッティングなし。化粧、くつろぎ等道具は不必要。

□共用の空間の多様性はセッティング行為を伴う行為によるものであると言える。さらに、空間の性質を捉えるためには対人環境について注目した図・2の様な分類が有効と思われる。住居内の共用の空間の位置を捉えるには、行動場面調査の様な同時に複数の人の「場」が形成されている実際の状況の把握が必要であり、今後の課題である。

4. まとめ 場の形成の個人差の存在や住居での個人空間の様子から空間としての家族関係を見る事ができた。また、「場」の形成の視点から家具、什器は個人空間形成において積極的な意味を持つものとして強調された。さらに、より多くの事例を検討し、住様式として確立した視点を得る事を目標とした。

A Study on Dwelling of Nuclear Family by the Concept of Place

KOGA Toshie, TAKAHASHI Takashi and SUZUKI Takeshi



### Ⅲ. 「家族が集まる空間」での行動場面調査

#### 1. 調査概要

本章では、「人間・環境系の単位としての場」の概念により住居内での生活をとらえることを試みるものである。私たちを取り巻いている全ての環境の在り方が行為に影響を与え、その結果として個人による「私の」空間把握の仕方が変わっていくものと考えられる。

それぞれの場面は個人の場の重なりである。研究では、まず場面を構成する個々の場が形成されている条件について考察する。この考察を通してそのような場面が成り立つ空間の質について検討を加える。

研究は、住戸内で家族が共用する空間内での行動場面を集めて行った。行動場面は次に示す形式のアンケート調査によって収集した。

#### □調査の手順

- ①「家族が集まることの多い部屋（居間といえるもの）」の平面図（1/50）とその中の家具は位置を記入する。
- ②①の図をコピーした用紙に「飲食する」「テレビを見る」「客を迎える」「電話をする」「その他」の各場面について人々の位置、向き、姿勢を記入する。
- ③どのような場面であるのか、居る人の家族属性などを場面ごとに記述する。

#### □被験者

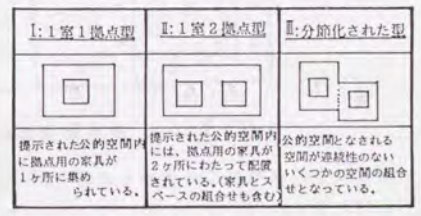
建築学科の学生78名

#### (2) 収集されたデータの概要

##### A. 空間構成の型

人が集まることができるコタツ、ダイニングテーブル、ソファのような家具、大きめの「スペース」が家族が共用する空間を構成する主な家具となっている。このような家具は、その空間での家族の集合の拠点\*となり得るものである。そこで家族が集まり、共用する空間を集合拠点のあり方で分類した。

結果を図・1に示す。



37例 30例 11例

(留学生1, 分析不能3)

図・1 家族の共用の空間の集合拠点

・1 東京大学工学部建築学科教授・工博  
 ・2 同助手  
 ・3 同大学院

・1 Prof., Dept. of Architecture, Univ. of Tokyo, Dr. Eng.  
 ・2 Research Assoc., Dept. of Architecture, Univ. of Tokyo  
 ・3 Graduate Student, Dept. of Architecture, Univ. of Tokyo

尚、分析は人が集まる拠点が2つあるタイプのものの内、ダイニングテーブルとソファセット、もしくはスペースの組み合わせのものを対象として行った。理由は、①この様なタイプが今日のスタイルの一つであること。②2つの拠点の存在から他のタイプの空間よりも多様な場を見ることができると考えたためである。

#### B. 分析する空間の物理的な環境の特徴

##### －拠点家具の組み合わせの型－

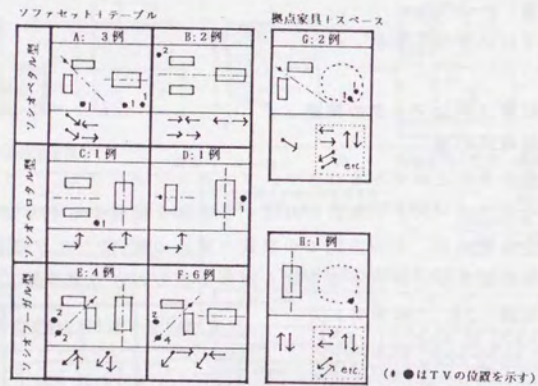
分析の対象とした「家族が集まる拠点が2つである空間は、家具が誘発する座の位置の特徴から図・2の様子に類型化できた。

その際、集合拠点の家具が誘発する座の位置の特徴を示す指標として「軸」の概念(図・2)を用いた。

ソファセット	炬燵	テーブル	ソファ
6/13	0/4	8/10	1/1

(下段は軸上にTVのある物の割合)

図・2 人が集合できる拠点となる家具の軸の設定



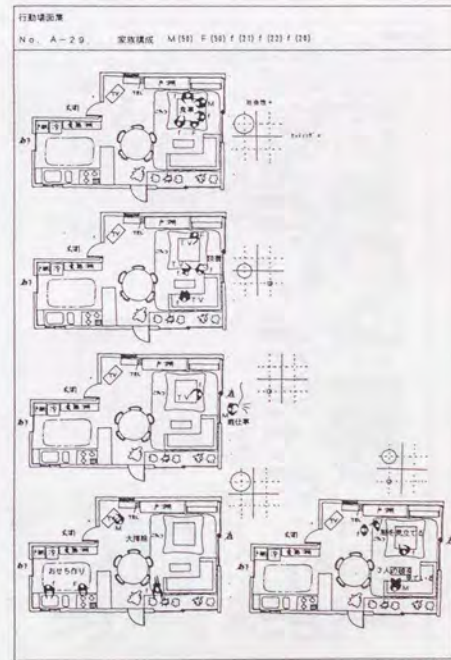
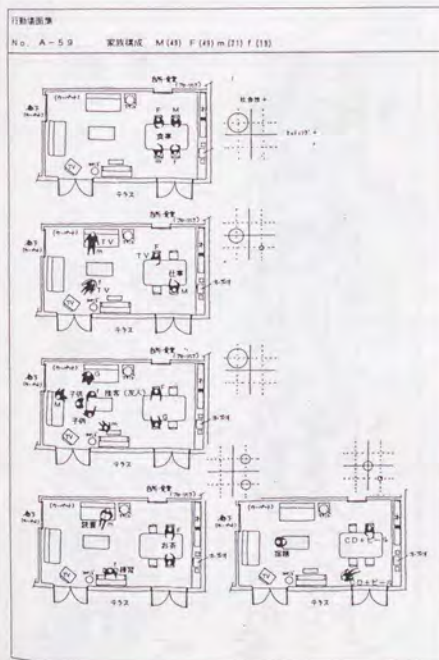
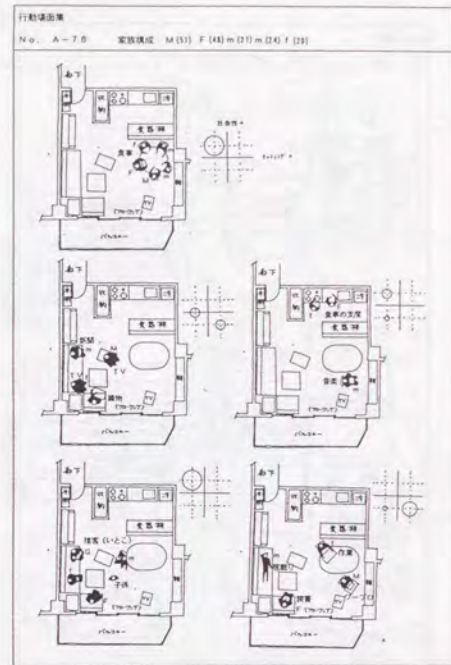
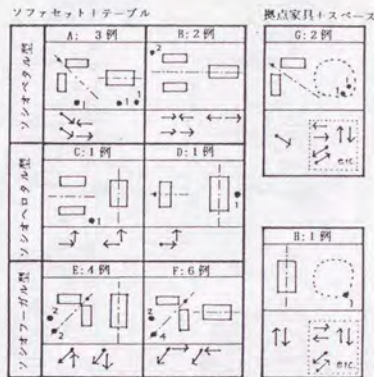
図・3 集合拠点の組み合わせの類型

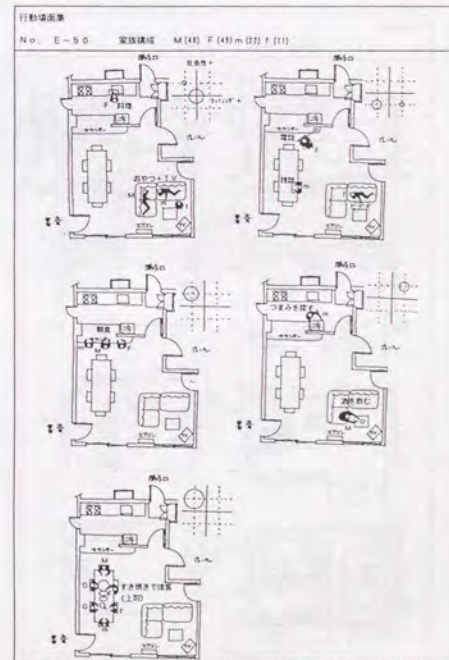
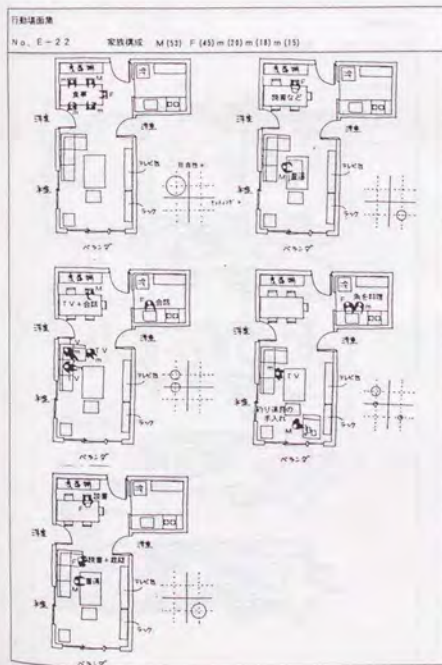
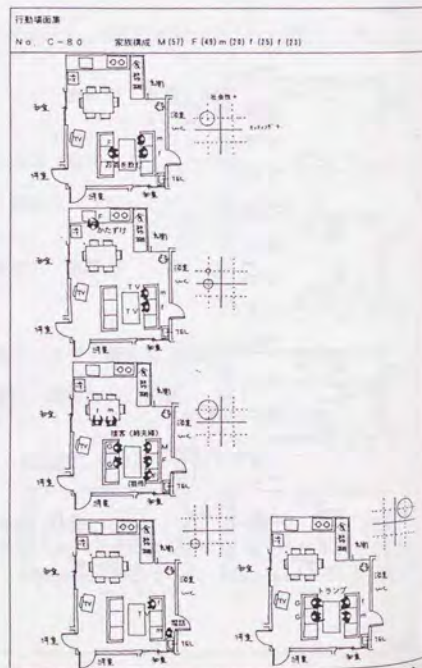
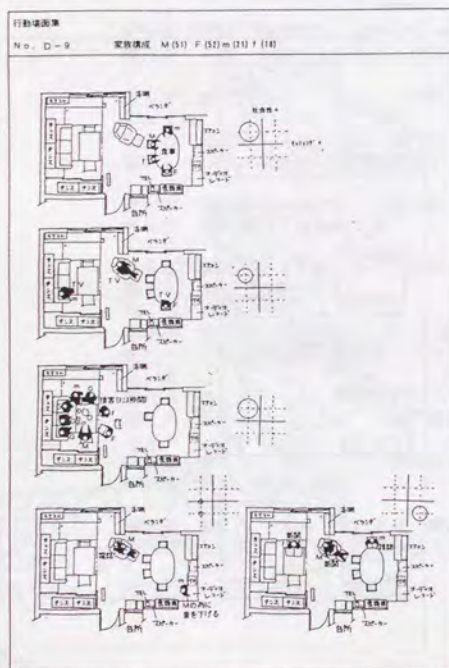
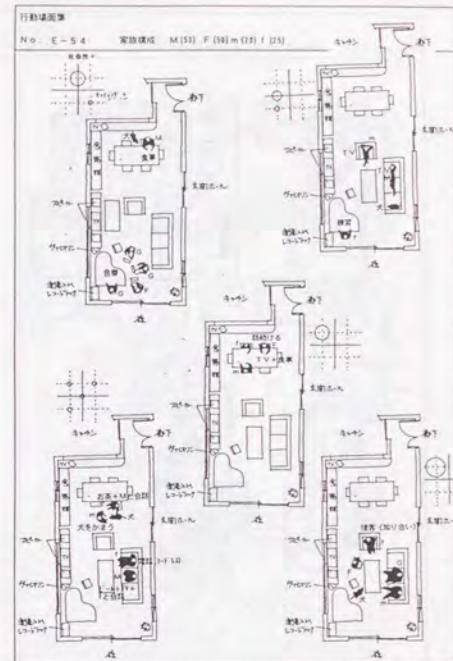
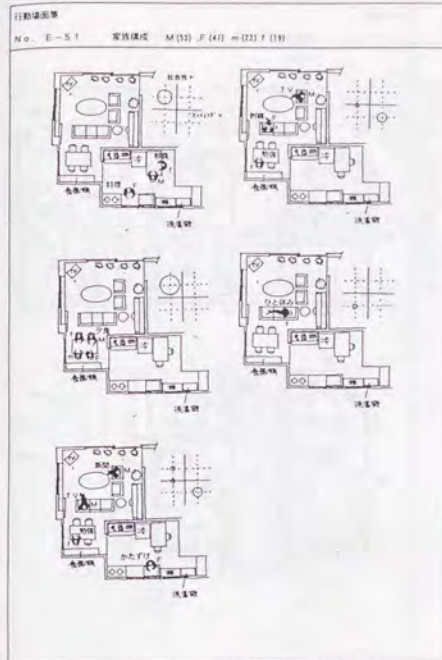
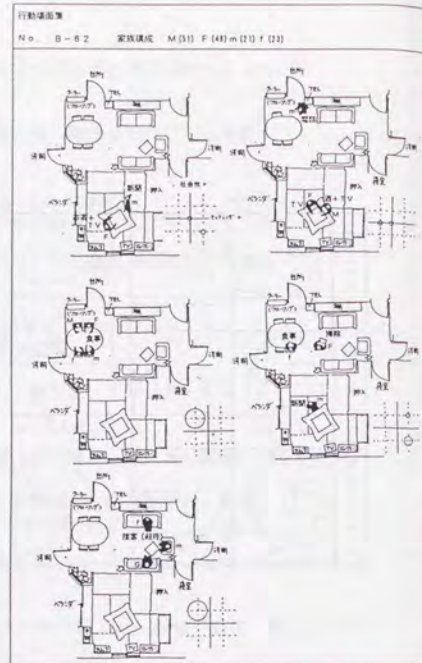
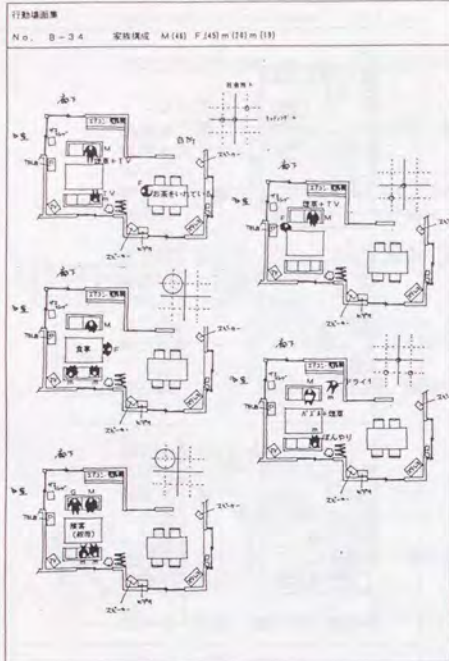
□軸の方向は概ねそのまわりに座を取った人々が平等に目をやることのできる方向である。

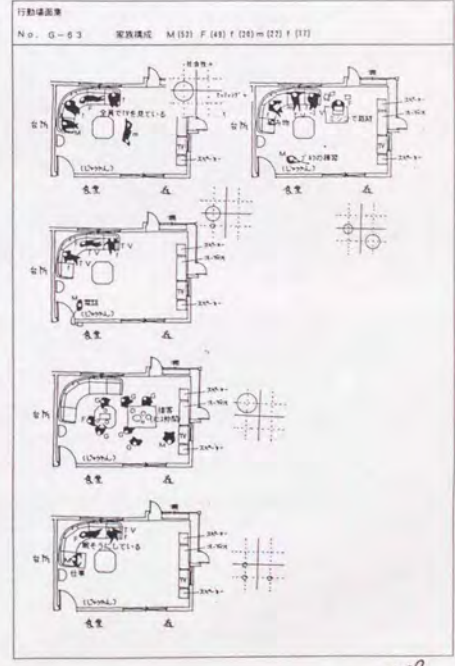
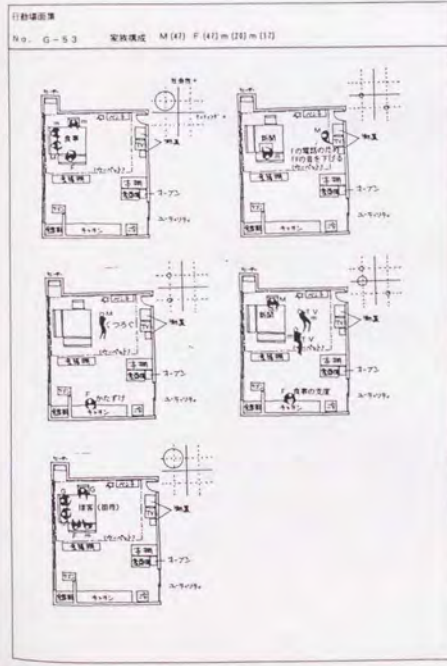
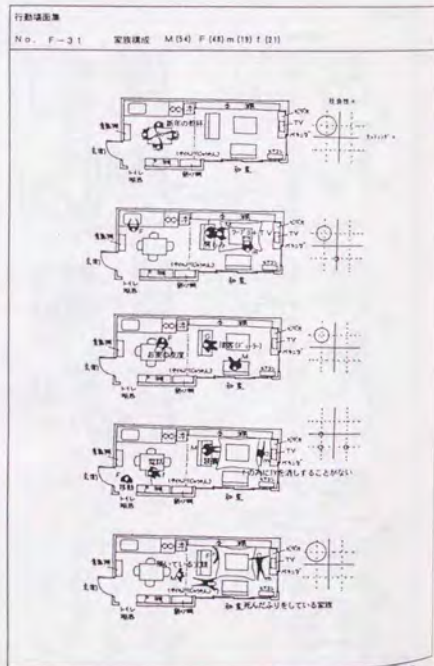
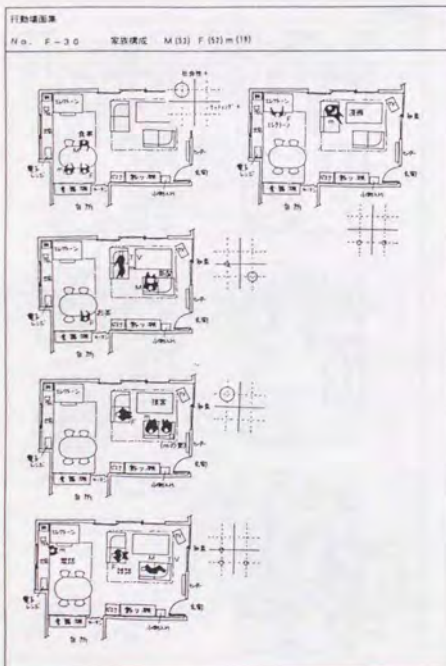
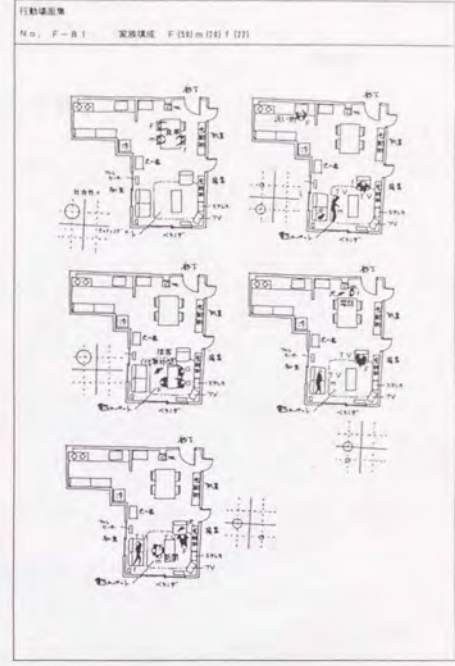
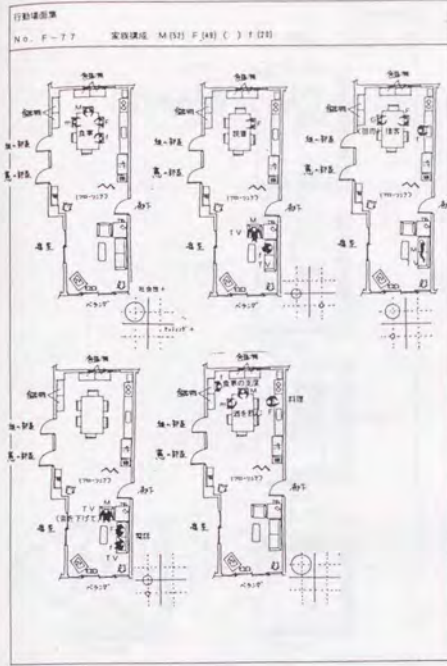
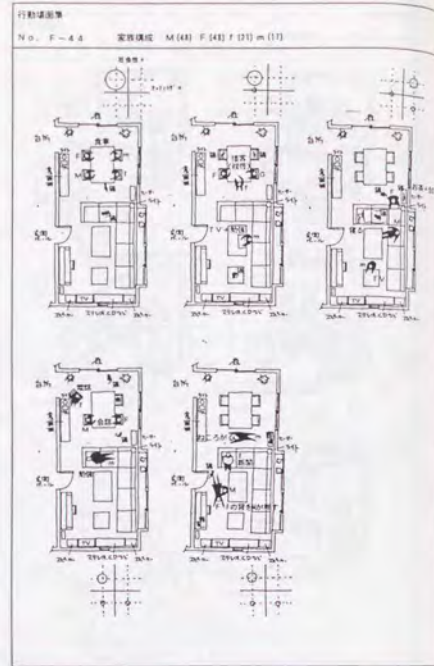
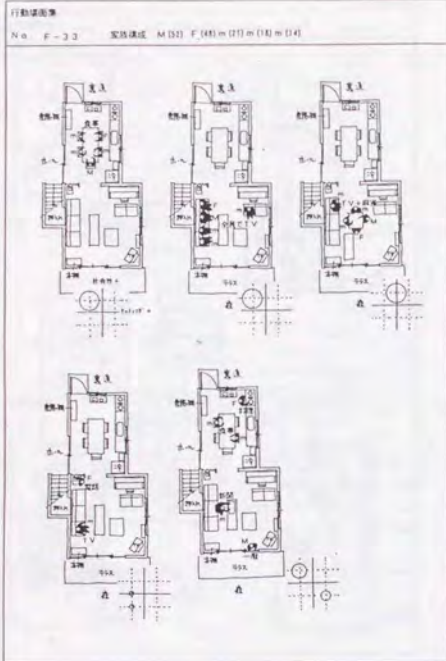
## 2. 調査データ一覧

# 家族の集まる場面で見られた全行為リスト

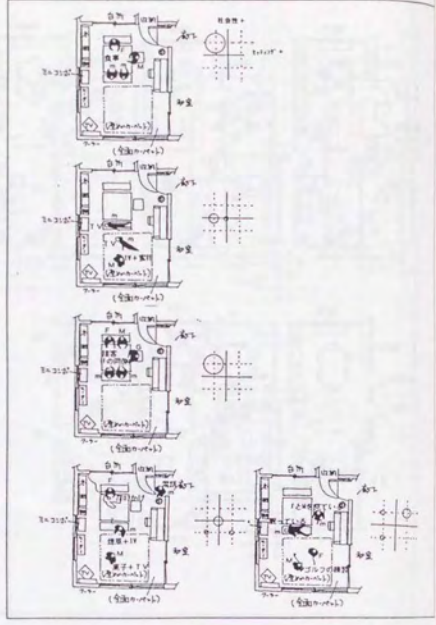
- A-29  
 ■食事 ■TV TV TV 読書 ■TV 庭仕事 ■おせち作り 大掃除  
 ■服を見立てる 3人の娘を見ている
- A-59  
 ■食事 ■TV TV TV 仕事  
 ■接客(友人) ■読書 ビアの練習 お茶 ■宿題 CD+ビール CD+ビール
- A-76  
 ■食事 ■新聞 TV TV 織物 ■接客(いとこ) ■食事の支度 音楽  
 ■居眠り 作業 読書 ワープロ
- B-34  
 ■煙草+TV TV お茶を入れている ■食事 ■煙草+TV 電話+TV  
 ■ドライヤー ハズル+煙草 ぼんやり ■接客(叔母)
- B-62  
 ■お茶+テレビ 新聞 ■食事 ■接客(叔母) ■電話 TV 酒+TV  
 ■食事 新聞 掃除
- D-80  
 ■お茶を飲む ■かたづけ TV TV ■接客(姉夫婦) ■TV 電話 ■トランプ
- E-22  
 ■食事 ■TV+会話 会話 TV TV TV ■読書 読書+裁縫 書道  
 ■読書など 書道 ■魚を料理 TV 釣り道具の手入れ
- E-50  
 ■料理 おやつ+TV ■朝食 ■すき焼きで接客(上司) ■電話 雑誌 ビデオ  
 ■つまみを探す 酒を飲む
- E-51  
 ■料理 朝食 ■夕食 ■新聞 TV 勉強 かたづけ ■TV 刺繍 勉強 ■ひと休み
- E-54  
 ■食事 合奏 ■お茶+Mと会話 犬をかまう 電話(コードレス) ビール+TV+Fと会話  
 ■TV+食事 話続ける ■TV TV ビアの練習 ■接客(知り合い)
- F-30  
 ■食事 ■TV 新聞 お茶 ■接客 ■電話 雑誌 TV ■イラスト 漫画
- F-31  
 ■新年の乾杯 ■肩もみ ワープロ+TV ■接客(ディーラー) お茶の支度  
 ■移動 電話 読書 fの為にTVを消しすることがない
- F-33  
 ■食事 ■全員でTV ■TV+麻雀 ■電話 TV ■料理 食事 新聞 一服
- F-44  
 ■食事 ■電話 会話 勉強 ■接客(叔母) TV+勉強  
 ■ねころがる 新聞 fの背をMが押す ■お茶+会話 寝る TV
- F-79  
 ■食事 ■読書 TV TV ■接客(祖母) ■電話 TV TV (音を下げて)  
 ■料理 酒を飲む 食事の支度
- F-81  
 ■食事 ■洗い物 TV TV ■接客(仕事仲間) ■電話 TV TV  
 ■TV TV 新聞
- G-53  
 ■食事 ■新聞 fの電話のためTVの音を下げる  
 ■くつろぐ かたづけ ■新聞 TV TV 食事の支度 ■接客(祖母)
- G-63  
 ■全員でTVを見ている ■TV TV TV 電話 ■接客(フェス仲間)  
 ■TV 眠そうにしている 仕事 ■編み物 TV TV ミシンで裁縫 ゴルフの練習
- H-9  
 ■食事 ■TV TV TV ■接客(フェス仲間) ■電話 Mの為に音を下げる  
 ■新聞 新聞 新聞 雑誌
- J-31  
 ■食事 ■TV TV TV+蜜柑 ■接客(fの同僚)  
 ■7/10かけ 電話 煙草+TV菓子+TV ■眠っている fとMを見ている ゴルフの練習











### 3. 「家具配置から見た住宅の公的空間の考察」

（Faint, mostly illegible text describing the analysis of public space in a residence based on furniture arrangement. The text is organized into several columns and paragraphs, with some diagrams interspersed. The diagrams appear to be floor plans or sections related to the furniture placement discussed in the text.)

家具配置からみた住宅の公的空間の考察 正会員 古賀 紀江\*1  
 今井ゆりか\*3  
 鈴木 毅\*2  
 高橋 隆志\*1

■目的:本研究は住居における公的空間\*1をとりあげ、そこでの場面の形成に影響を与えるもの一つとして家具同志の関係性に着目し、考察を加えるものである。即ち、家具配置のあり方が行動や居場所を誘発し、場面の形成に影響を与えるものと考え、実際の住宅の公的空間で収集されたデータ\*2の内、大きめの1室を対象として複数の拠点家具\*2の配置型の違いによる場面の現れ方の違いとの対応について考察する。その際に家具配置が誘発する座の位置の特徴を示す指標として「軸」の概念を用い分析を加えた。

■方法:建築学科の学生78名に自宅での公的空間の家具を含む図面とそこの家族による「団集」の行動場面\*3を5つ描かせ(表-1)、分析を行った。

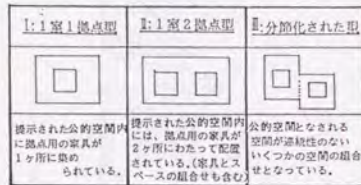
□収集されたデータの空間構成:公的空間という特質から人の集まる集合拠点を着目して分析した結果、図に示すような3つのパターンにデータを分類することができた(図-1)。ここでは、本論文の主旨に従って「軸」の1室2拠点型をとりあげて論を進める。

■分析1:「軸」と「視点」の関係

周囲の物的環境のうち「視点」を取り上げ、「軸」との関係性を考察する。「軸」は座の集合の特徴から図-2の様を設定した。「視点」を取り上げた理由は①「視点」が可動な物品であり居住者の意識がその置き場所に反映されやすい。②今回分析した135件の内、64%で「視点」が何らかの形で関与しており、「視点」は住居内の公的空間で家族が形成する場面では「視点」の道具として重要な意味を持つと考えられるからである。

□結果:L字型ソファセット及び抱擁で「軸」上に「視点」がある例が半数以上見られた(図-2)。ここで、「軸」の方向は、概ねそのまわりに座をとった人々が平等に目をやることのできる方向である。「視点」が見る対象として家族の誰もの意識的あるいは無意識的な注意を平等に集めるために、ここでの「軸」は集合拠点にいる人々の「視点」への視線の方向と対応すると推測できる。

An Analysis of Furniture Layout in the Public Area of Houses



37例 30例 11例  
 図-1 公的空間での拠点構成の型



図-2 拠点家具の軸の設定の仕方 (下段は軸上にTVのある物の割合)

表-1 行動場面の種類

場面1	飲食の場面。家族が揃っての夕食、一人で朝食をとる場面等。
場面2	テレビを見る。家族が揃って見ている。見る人と他の事をする人が並立している。
場面3	外からの人を応接する。親類の知人との食事、用父母との相談場面等。
場面4	電話をする。家族がテレビを視ている中でやりとりする、別の拠点で話す等。
場面5	その他。上記の行動以外の行動場面。様々な事が混在する場面等。

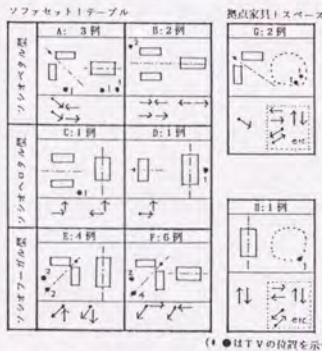


図-3 拠点家具の組み合わせの型

■分析2:次に2拠点間の関係性を「軸」により記述し、考察する。2拠点間の関係性を見るため各拠点を代表する軸を定め、2軸が向かい合えるかどうかを手がかりに、図-3の様に分類した。\*4

a. 拠点の組み合わせの型と「軸」の位置の関係 「軸」が「軸」型は「視点」が軸上にあることが多く、逆の「視点」型では、「視点」が軸上にある例はない。分析1も含めて、「軸」型は完結して拠点が「視点」を視る等の独立場面を構成するような傾向のタイプと考えることができる。

b. 拠点の組み合わせの型と空間的に見た場面の状況 2つの集合拠点の軸の向きの組み合わせが、それぞれの複数拠点型配置の居室での場面の形成に影響を与えるものと考えられる。「視点」型と「軸」型では「軸」型の方が軸の組み合わせの可能性が豊富にある。これは、「視点」型の空間でより多様な場面が存在し得ることの示唆と仮定することができる。(図-3)

これらの潜在的な特徴に対して、実際に得られた場面から検討を加えたものが図-4である。まず、分析の対象とした2拠点型の公的空間での行動を見ると、2拠点が同時に使われる場合と使われない場合があることがわかった。また、その時に形成される場面は1つの場合ばかりではなく、複数が共存する場合がある。以上では家具配置の示す座から物理的に設定された「軸」の概念を扱ったが、実際人々が居る座のみを取り上げる事によって行動的側面を示す「軸」を設定する事ができる。こうして、場面を構成する人々の行動から場面としての「軸」の向きを特定する。この「軸」を1つの場面の特徴ととらえると、「視点」型でも多くの場面の型が現れた。この型では軸の向きが変化する例も多い。逆の「軸」型はサンプル数は最も多い型だが、抽出された場面の型は少なく、どのタイプでも似た傾向の場面が出現した。行動から見た「軸」の向きには変化が乏しかった。

■考察:2集合拠点型の公的空間での場面形成には集合拠点となる家具がどのような「向き」の特性を持って配置されているかが重要な意味を持つと考えることができる。実際に形成された場面の特徴を捉える具体的な要素は①2拠点の使われ方(回廊or個別等)②拠点が使用されているときの「軸」の向きである。

■結論:「場面」の形成のあり方には空間内の「軸」の

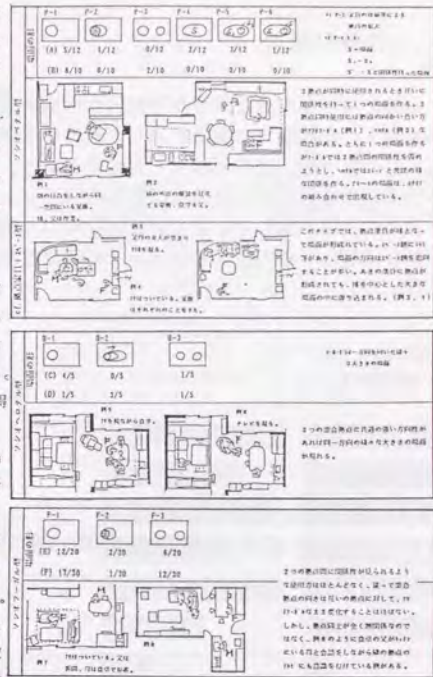


図-4 拠点の型ごとに見られた場面の形

視線の取り交わりや回避があり、家具の配置がそれらの内どの部分を可能にするかと同時に人々の座を決めている。よって家具配置には形態的な納まりの他、別の意味があると考えられる。軸と座のとり方及び物理的諸環境の検討が他の意味を明らかにする一助となると考える。

本文注

- \*1 住居内、家族が集まる空間を指し、自宅に代表される空間とする。
- \*2 公的空間内で場(場面)が形成される中心となりやすい場所として拠点を定義し、拠点を構成する主要な家具を拠点家具とする。
- \*3 ある時点に、居住者(家族と訪問者)が居るのどこにポジションをとり、どのような姿勢で、誰とどのような関係を持って何をしているかという生活の場面。
- \*4 2拠点間の組み合わせの分類では向かい合いの性質を表すために「軸」型、「視点」型(Okumura 1987)、「視点」型(高橋隆志 1990)の概念を用いた。人の向かい合いの型として「軸」型と「視点」型は異なる向きとなる。両者の中間として、相対の中を見ようとする一方の組み合わせとして「軸」型が定義されている。
- \*5 高橋隆志(1990)「空間環境」、新建築学大系3・建築環境論 巻収。
- \*6 本研究は(財)住宅総合研究所の研究助成を受けて行われた。

#### IV. 実大空間における日常の生活行為に関する実験

##### 1. 実験の概要

空間の持つ物理的な特徴が空間内で生活する人にどのような影響を具体的に与えていくのかを実験室での実験を通して検討する研究の一環として行われたものである。実際に天井の高さや、室の面積などを変化させて、空間のボリュームと人の行為動作の関係について実験を行った。実験は、空間のボリュームと行為動作のしやすさやその行為動作をするのに空間が気になる度合いなどについて動いてみた結果から評価させるものや、実験空間を体験してその空間の大きさで可能な日常の行為について評定させるものなど多角的に行った。

##### 2. 「室の中にある小さな空間における行為動作に関する研究」

#### 室の中にある小さな空間における行為動作に関する研究

古賀紀江\*\* 高橋隆志\*

A study on possible and probable actions in a small space within a large room

KOGA Toshie\*\* TAKAHASHI Takashi\*

■研究の目的 近年、天井の高さを上げることによって住空間の質を高めようとする試みがある。天井が高くなるとその部屋の中に、ロフトを組み込むなど意図的あるいは偶然に小さな空間を生む可能性を合わせ持つ。本研究はその様なある室の中の小さな空間の特性を人の日常の行為動作の実験から明らかにする試みである。小さな空間の天井の高さ、また、床面からその空間の床までの高さが人の行為動作に与える影響について、天井高が可変の実大装置における実験から考察を加えた。

■実験装置・実験空間の概要 実験装置の最大寸法(W, H, D)は、5.4m×5.4m×5.4mである。実験時、常に一定の照度となる様に調光した。動作実験を行う小さな空間は広さ1.8m×2.7m、実験室の床から+300mmと+900mm上がったところにある2空間で、天井高1200mmと1400mmについて行った。被験者は大学生で人数は7人中に示した。

■実験の結果と分析 □実験1：動作実験 実験では、課題動作を一連の動きとした次の2種類のシナリオにして提示した。①印Aまで行き、置いてある新聞を拾って、印Bに移動し、新聞を広げて読む。②印Aまで行って置いてあるセーターを着て脱ぐ。床に正座してから、投げ足になる。被験者はこの課題に対して、動作時の評価を「動き易さ」「天井の気になる度合い」について提示された尺度\*で行う。(※結果が7参照) <結果>課題①：入室、新聞を拾う、移動、新聞を読む。○天井高による傾向 天井の高さによって評価のされ方が異なった。床面から実験空間までの高さが+300mmの場合、天井の高さが1400mmの時、動きやすさについて「普通にできる」とした者が多い。これを、天井の気になる度合いの評価と比較すると「入室」「移動」で天井高が高い1400mmの時「気になる」とする者の数が多く、動きやすさと天井の気になる度合いについての評価は必ずしも一致しなかった。一方、実験空間が床面から+900mmの場合、天井の高さが低い時の方が「普通に動ける」とする者の数が多く、天井が気にならない、と答える傾向が見られた。

○床面から実験空間までの高さの違いの影響 天井高12

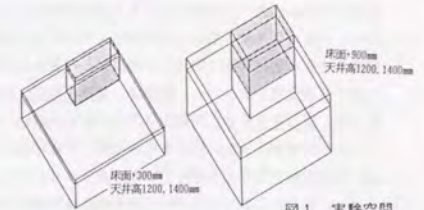
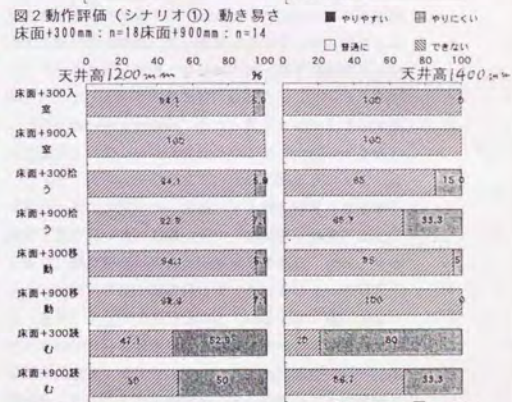


図1 実験空間



00mmでは、床面+900mmの方が「普通に」できるとする者の割合が全ての行為動作で高い。しかし、天井の気になる度合いは若干差はあるがほぼ同じで「読む」以外は「気になる」者がほとんどである。天井高1400mmでは「拾う」行為動作だけが床面から+900mmの実験空間で「普通に」できるとする者の割合が高く、後の行為は床面から+300mmの方で「普通に」とする割合が高かった。また、天井の気になる度合いで天井が「気になる」者の割合の少ない実験空間は動作が「普通に」できる者の多い方の実験空間と重なる。課題②：着衣、脱衣、正座をする、投げ足をする。課題②は天井の高さ1400mmに関してのみ実験を行った。動きやすさに関しては床面から高い方の実験空間で「普通に」できる者の割合が多い。しかし、天井の「気にならない」者の割合は床面からの高さの低い方の実験空間で多くなっている。即ち、床面から実験空間までの高さによる結果の差が明かであり、またその結果は動きやすさ、天井の気になる度合いで一致した傾向を見ない。動作自体が課題①よりも大きいという行為動作自体の特徴の影響が考えられる。

□実験2：空間の評価実験 被験者は行為リストを持って空間に入り、その空間でリスト中の行為が「可能であるか」また、「やる気になれるか」についてチェックする。全62項目中図・5の行為を抽出し分析を行った。<結果>各実験空間での実験では、それぞれの空間で、ある行為を行うことが可能であるかという判断と、その空間でその行為をしたという意向とは一致しない。「服を着替える」様に座位でも明らかに動作寸法を下回る天井高でも行為を「可能」とする者の割合自体は少なくなかった。しかし、行為をする意向を持つ者は少ない。この傾向を持つ行為\*\*には、動的な要素が多い（\*\*図中7が-イ）。図・5.6 逆の傾向の例として「考え事をする」「テレビを見る」で「可能性」が100%であり、行為をする意向を持つ者の割合も多い。これらは座位のまま大きな身体動作の無いことが特徴の行為である。

床面から実験空間までの高さ、その天井の高さの違いによる行為の「可能性」では、動きの多い行為群で差異が見られた。行為をする意向の有無は実験空間、行為によるばらつきが目立ち、同じ行為について「可能」とした者の人数より少ない。全ての行為について「可能」と答えた者の割合の高い実験空間は床面から+900mmの天井高1400mmの空間であった。しかし行為をする意向に関する評価ではこの様な一定した傾向は見られない。「勉強をする」では、床面から実験空間までの高さではなく、天井の高さに影響され、「テレビを見る」「電話をする」

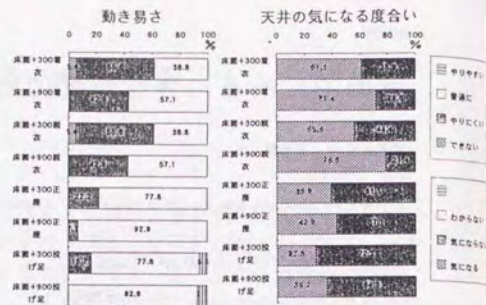


図4 動作評価(シナリオ②) 天井高1400mm

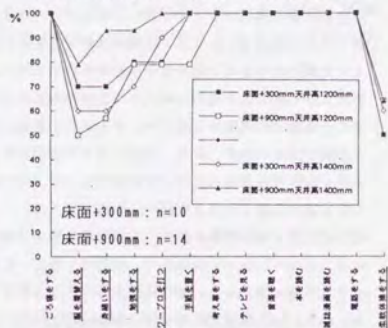


図5 各実験空間で課題行為を「可能」とした者の割合

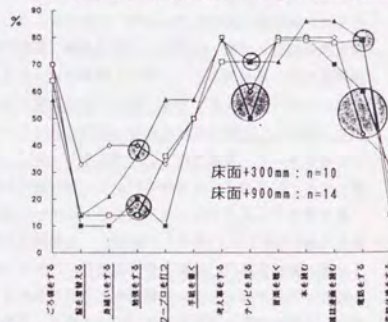


図6 各実験空間で課題行為を「やる気になる」とした者の割合

では床面から実験空間までの高さの影響が考えられる。  
■まとめ 行為動作の評価には①天井高②床面から実験空間までの高さの双方が関わる。また、一般の動作研究では限界を割っている様な小さな空間でも行為を行うこと自体は「可能」と判断されたり、条件によってはその行為を「やる気」になることも起こり得た。しかし、これらの評価は用いる「ことば」によって誘導・規定されることも考えられ、「ことば」によらない評価方法を見出し検討を加えることが今後の課題である。

\*東京大学工学部教授・工博 \*\*同大学院  
本研究は、住都公団の「M住宅開発研究」の一環であり、日本女子大学助手谷口久美子氏、同大学平成5年度卒業生、中山慶子、土師真裕子両氏との共同研究である。

## V. 学生の自室における日常生活行為に関するアンケート調査

## 1. 調査概要

専門学校でインテリアを学ぶ学生を対象にして自室での日常生活に関するアンケート調査を行った。

調査は、家具の配置や使い方に加えて、実際に人がどの様に生活行為を行うかをその時に関わる物的環境に着目して描き、分析を行った。

 調査時期

1993年6月

 調査項目

1. 自室の図面、及び家具配置（どの様な家具かなるべくよく分かるように表現することを要求した。）
2. 自室で行う行為を全て列挙し、ソレが部屋のどこで行われるかを図面中に記入する。
3. その時使用するモノの位置（収納場所や置かれている場所など）を示す。
4. 典型的な平日と休日のタイムテーブル。

 被験者数

学生108名。その内分析可能なデータは49編であった。

 結果の概要を以下に示す

<自室の中にある「座」の数>

「座」の数	0		1		2		3		4		5	
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
人数		1	2	6	5	12	4	9	6	3	2	2

自室内である行為を行うための別の「座」がある例は、49名中8名であった。自室内に取られた「座」の数は平均2.7箇所であった。分析に際して、身繕い、着替えの場所は「座」としてカウントしなかった。

## &lt;居場所の物的環境&gt;

1. テーブルの様な面を付属するもの。 31例
2. 行為に直接結びつく家具、道具等

机21例、ピアノ、化粧台等14例。

## 3. テーブルの様な面の付属が無いもの

座具があってそこが居場所となる。椅子1例、ソファ2例、クッション等11例。特に座具はないが、いつも居場所として多用されている。

本棚などの特定の家具の前、部屋の中でできたスペース、日当たりのいい場所、カーベットの上等。

ベッドが「座」として利用されることが多い。ベッドは色々な姿勢による居場所として多用されている。ベッドの形状、ベッドというものに対するこなれた使い方として受け取れる。

床座の志向が強い。

通常は室内の「アキ」の部分に必要に応じて自分でテーブルやクッション等をセットする事例がある。テーブルはたいてい座卓で、椅子とテーブルのセットは1例であった。何かをするときの姿勢は必ずしも座位ではなく「寝ころんで」と明記された事例も多い。アンケートの事例では一般に生活行為のために面を使用しない傾向がある。体を支えることのできる壁や棚、ベッド等を利用したり、愛他スペースにクッション等を置いて居場所を定める例が目立った。ウォークマン世代とでも言うものであろうか。

<自室での接客>

あまり例が見られなかったが、友達を招くものが数例見られた。たいてい「好きな場所に座ってもらう」とし、友人の「座」や自分の「座」が決まっていることはほとんどない。形式や様式の見られない「様式」があるようだ。

## 2. 調査原図集

p.120 ~





1 月のスケジュール平面図



Aの部屋 (3畳)  
- 20センチの入り口  
- 20センチの入り口  
- 20センチの入り口

Bの部屋 (6畳)  
- 1畳の入り口  
- 1畳の入り口

Cの部屋 (2畳)  
- 2人用ベッド  
- 2人用ベッド

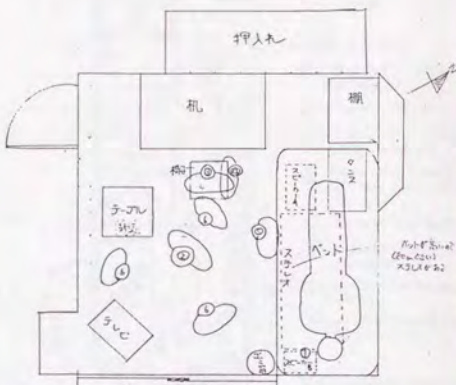
2 日常のスケジュール

- ① 起床 - 10時に起床して洗面・トイレ
- ② 洗濯 - 10時半に洗濯機を回す
- ③ 着替え - 10時半に浴衣に着替える
- ④ 夕飯の準備 - 16時半に夕飯の準備をする

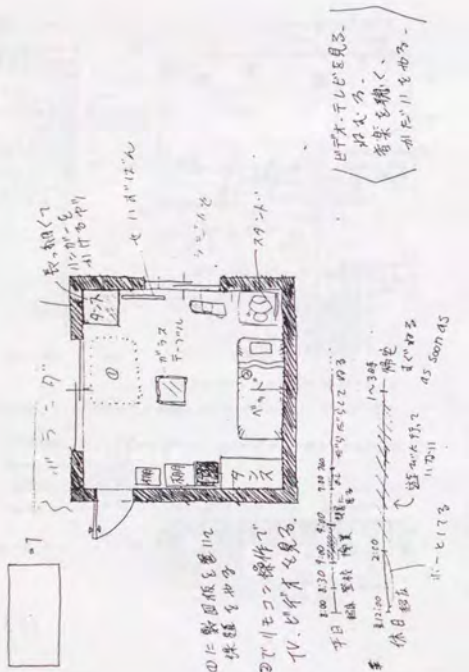
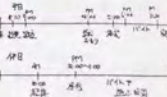
平日	学校	洗濯	掃除	食事	風呂	寝る
平日	7:00-8:00	10:30	15:00	17:00	21:00	22:00
休日	10:00	10:30	15:00	17:00	21:00	22:00

注意書き 家の床は2人用ベッドから1畳のマットレス。今までは3畳の部屋に2人用ベッドを2台置く。今は1畳の部屋に2人用ベッドを1台置く。1畳の部屋に2人用ベッドを1台置く。1畳の部屋に2人用ベッドを1台置く。

①

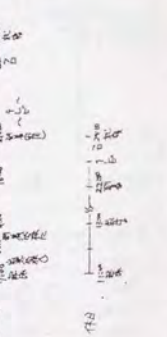
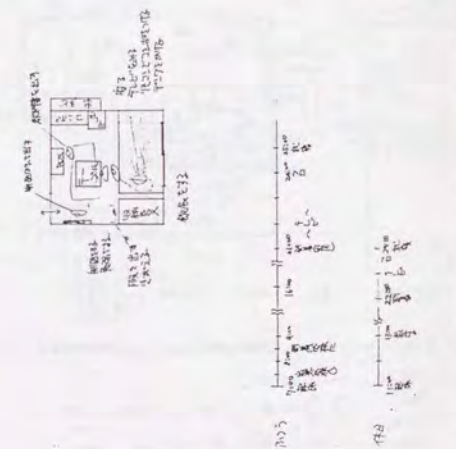


- ① 寝ている時  
- 机の上の机の上
- ② 洗濯機を動かす時  
- シェルフの上の机の上
- ③ 掃除機をかける時  
- 机の上の机の上
- ④ 電話をかける時  
- シェルフの上の机の上
- ⑤ 夕飯の準備をする時  
- シェルフの上の机の上

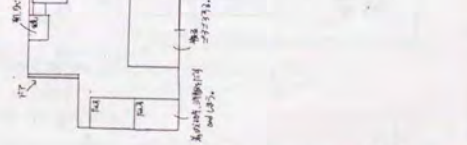
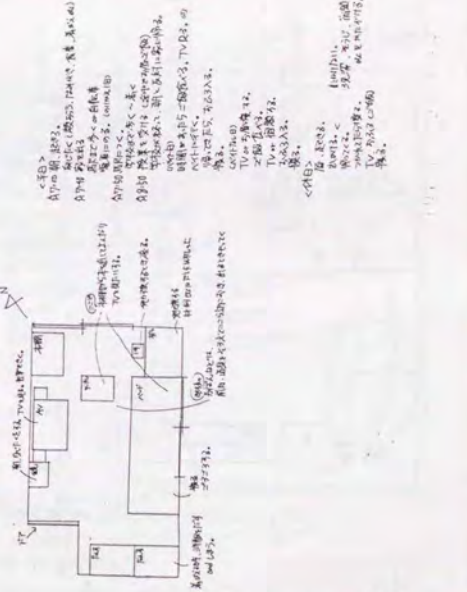
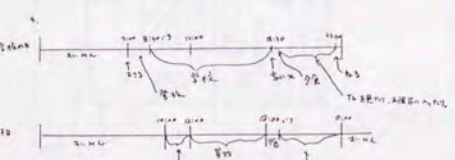


出た分、干して見ると、お茶を淹れる、お風呂を洗う

お風呂を洗う、お風呂を洗う

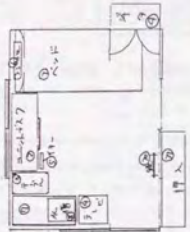


1 月のスケジュール平面図





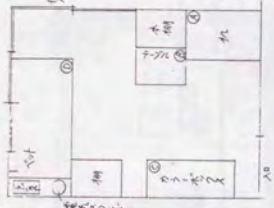
窓  
扉  
洗面  
机  
洗面  
机



- ① 中央の窓は、2.22
- ② 扉は、2.00
- ③ 洗面機は、1.50
- ④ 机は、1.50
- ⑤ 椅子は、0.50
- ⑥ 窓は、2.00
- ⑦ 扉は、2.00
- ⑧ 洗面機は、1.50
- ⑨ 机は、1.50
- ⑩ 椅子は、0.50
- ⑪ 窓は、2.00
- ⑫ 扉は、2.00
- ⑬ 洗面機は、1.50
- ⑭ 机は、1.50
- ⑮ 椅子は、0.50

机 1.50  
椅子 0.50  
洗面機 1.50  
扉 2.00  
窓 2.00

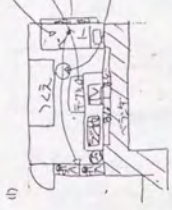
2. 扉  
机  
椅子  
洗面機  
窓



① 中央の窓は、2.22  
② 扉は、2.00  
③ 洗面機は、1.50  
④ 机は、1.50  
⑤ 椅子は、0.50  
⑥ 窓は、2.00  
⑦ 扉は、2.00  
⑧ 洗面機は、1.50  
⑨ 机は、1.50  
⑩ 椅子は、0.50  
⑪ 窓は、2.00  
⑫ 扉は、2.00  
⑬ 洗面機は、1.50  
⑭ 机は、1.50  
⑮ 椅子は、0.50

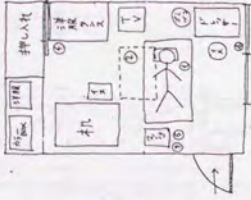
机 1.50  
椅子 0.50  
洗面機 1.50  
扉 2.00  
窓 2.00

① 自分達の部屋をどうするか、まず、使ベットの位置  
を決定する。机、椅子、洗面機、窓の位置を決定する。  
机、椅子、洗面機、窓の位置を決定する。  
机、椅子、洗面機、窓の位置を決定する。



① 1日の様子  
平日 6:30 起床 7:30 洗面 8:00 机 8:30 椅子 9:00 窓 11:00 机  
休日 10:00 起床 11:00 洗面 12:00 机 13:00 椅子 14:00 窓 15:00 机 16:00 椅子 17:00 窓 18:00 机

① 机  
② 椅子  
③ 洗面機  
④ 窓  
⑤ 扉



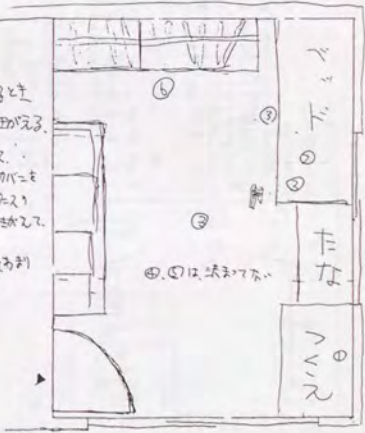
机 1.50  
椅子 0.50  
洗面機 1.50  
扉 2.00  
窓 2.00



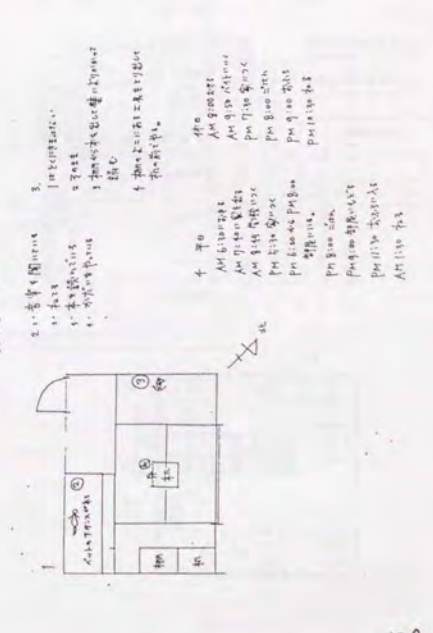
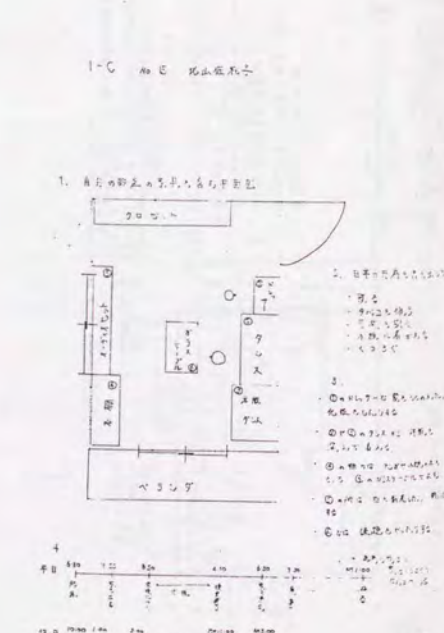
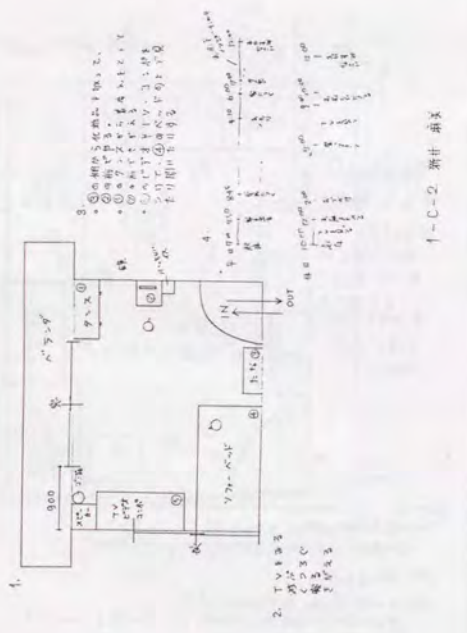
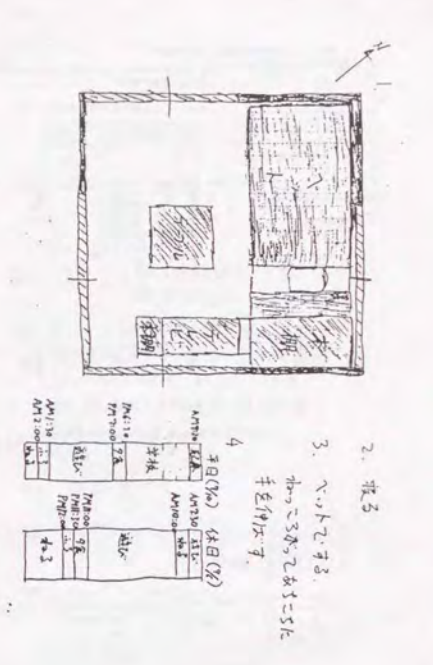
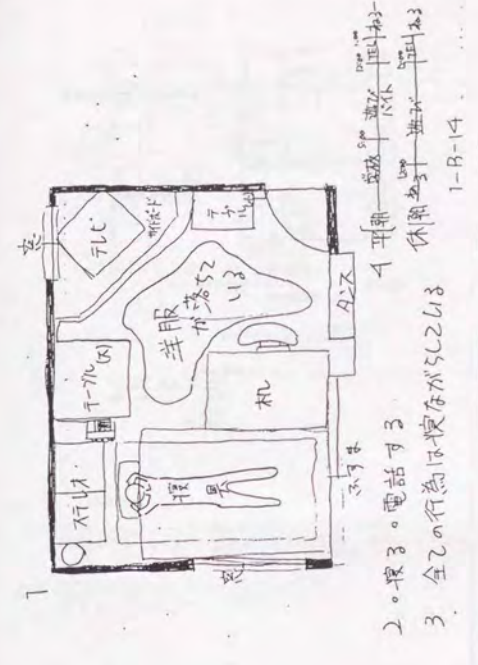
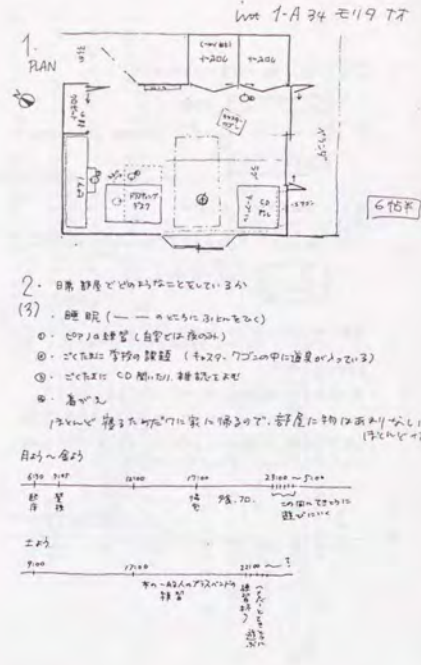
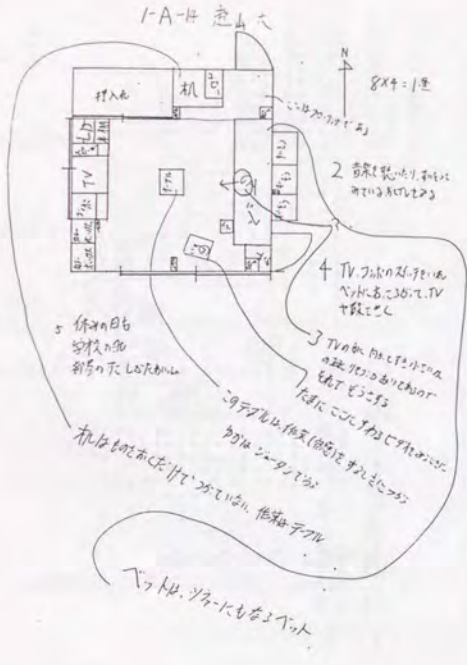
① 机  
② 椅子  
③ 洗面機  
④ 窓  
⑤ 扉

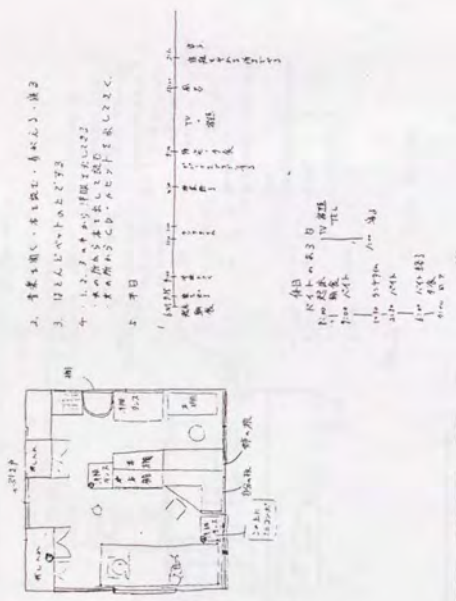
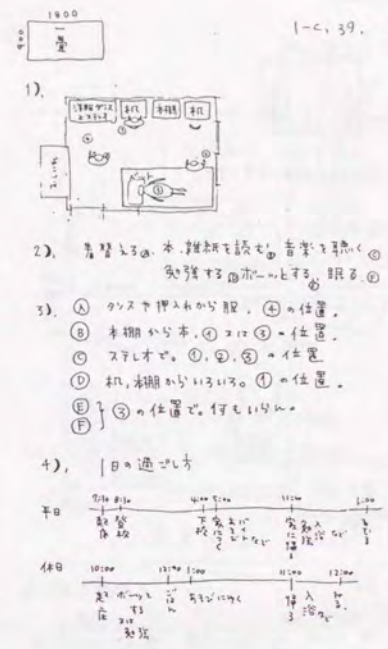
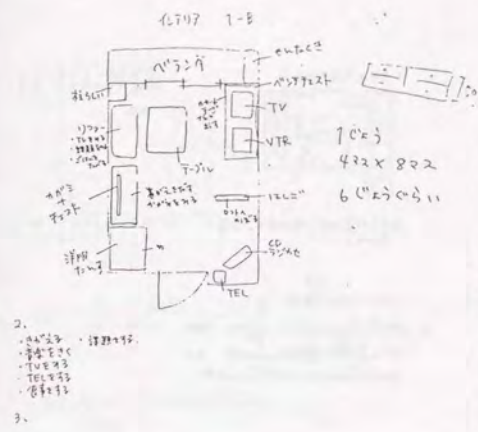
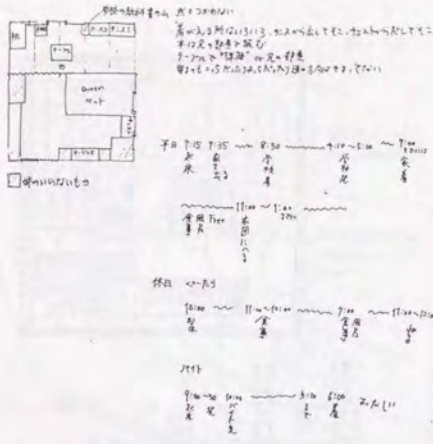
1 目的の部屋の平面図

① 机  
② 椅子  
③ 洗面機  
④ 窓  
⑤ 扉

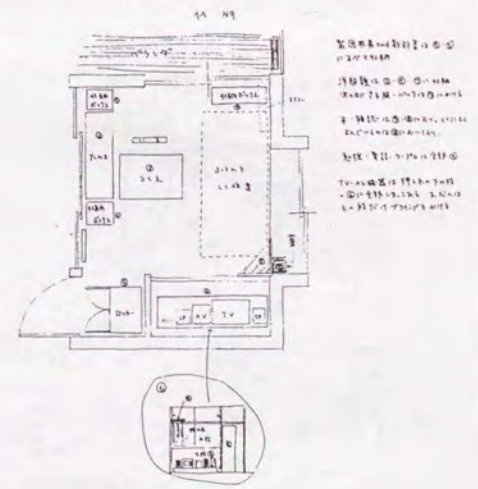
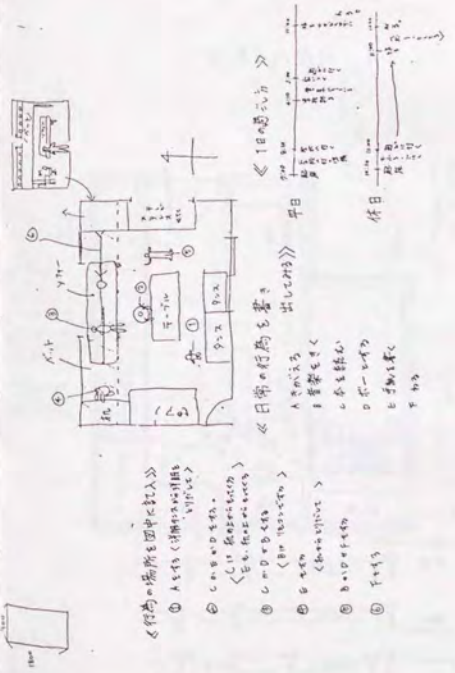
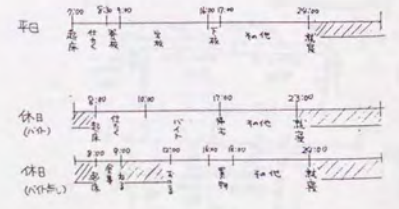
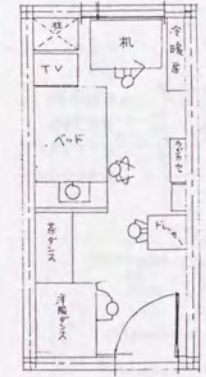


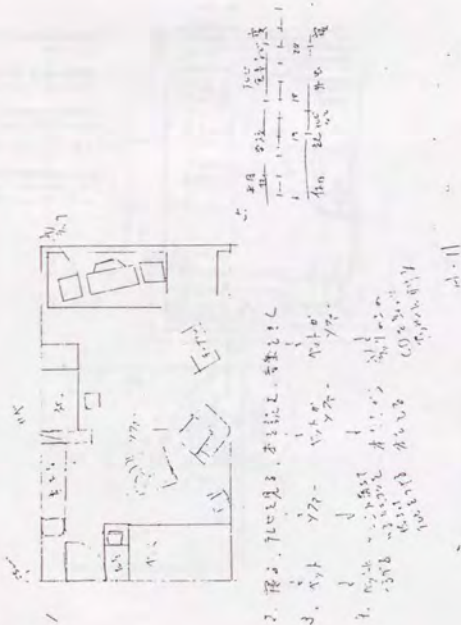
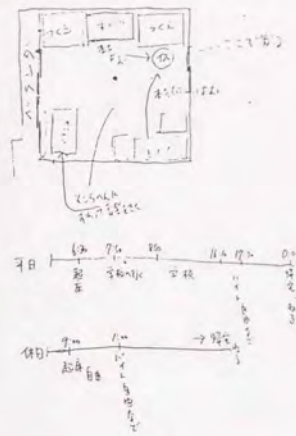
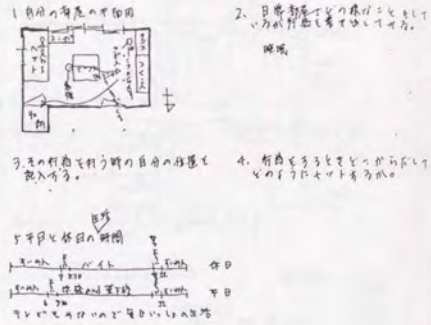
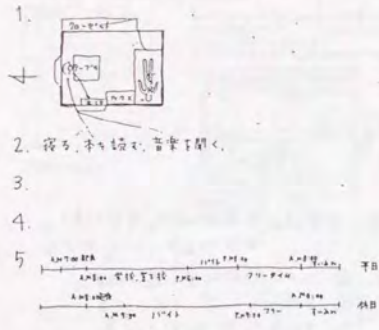
- ① 机
- ② 椅子
- ③ 洗面機
- ④ 窓
- ⑤ 扉



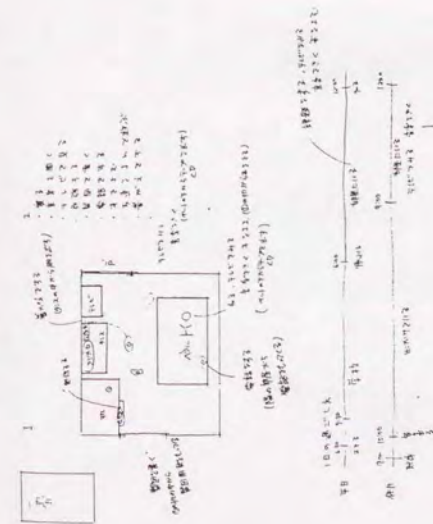
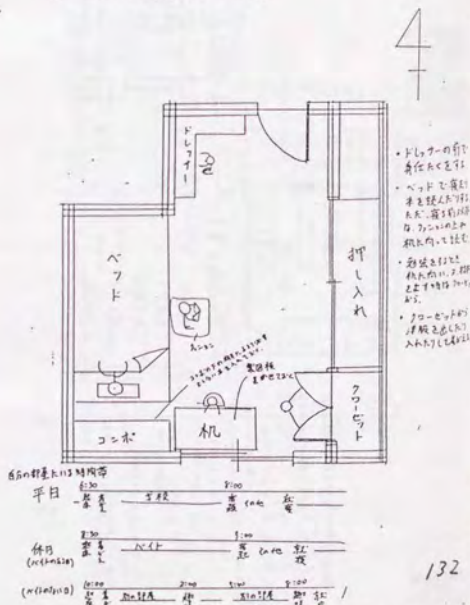


1 自分の部屋の平面図

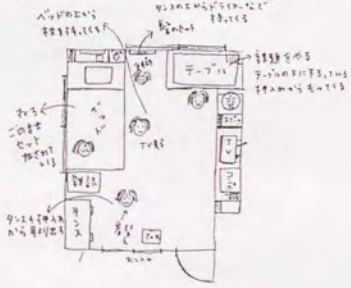




1. 自分の部屋の平面図



1. 自分の部屋の家具を含む平面図



2. 寝る, TV見る, 着替え, 読書をする, 日記を書く

